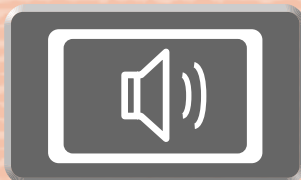
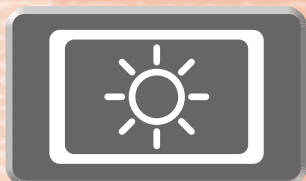
2008年 夏モデル

B5FJ-7891-01

TEO/A90D, TEO/A90N,
TEO/A70D, TEO/A70N

FMV取扱ガイド

●この本で説明している主な内容

電源の入れ方／切り方

音量調節

明るさ調節

テレビの準備

無線LAN
（無線LAN搭載機種のみ）

メモリの増設／交換

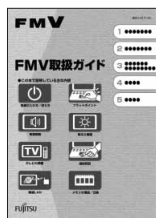
マニュアルのご案内

冊子のマニュアル

スタートガイド（1 設置編　2 セットアップ編）

使い始めるまでの準備はこれでバッチリ

●『スタートガイド1　設置編』
●『スタートガイド2　セットアップ編』

FMV取扱ガイド

●各部の名称と働き
●パソコンの取り扱い
・電源の入れ方/切り方
・音量の調節
・輝度の調節　など
●周辺機器の設置/設定/増設
●お手入れ
●仕様一覧

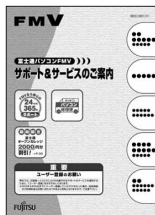
FMVテレビ操作ガイド

テレビチューナー搭載機種に添付

●テレビについて
・テレビの見かた
・録画のしかた
・保存のしかた
●テレビなどに関するQ&A

トラブル解決ガイド

●安心サポート機能
・FMVサポートナビ
・トラブル解決ナビ
●バックアップ
●パソコンを復元する（リカバリ）
●廃棄・リサイクル
●Q&A

サポート&サービスのご案内

●ユーザー登録・特典
●AzbyClubのご案内
●困ったときは
●故障かな？ と思ったときは
●お問い合わせ先
●操作指導サービス
●お問い合わせ票/修理依頼票

この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

画面で見るマニュアル

説明している主な内容

●パソコンの基本
●セキュリティ対策
●インターネット／Eメール
●FMV使いこなし事例集
●パソコン本体の取り扱い
●周辺機器の接続
●添付ソフトウェア一覧
●困ったときのQ&A

※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。

テクニカルコミュニケーター協会が定める「画面で見るマニュアル標準マーク」です。

画面で見るマニュアルの始め方

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV画面で見るマニュアル」の順にクリック

参照の探し方

冊子のマニュアルの本文内に、≫「＊＊＊＊＊＊(文書番号)」とある場合は『画面で見るマニュアル』で検索してご覧ください。

参照 Windowsの画面について

『画面で見るマニュアル』≫「920010」で検索
→「Windowsの画面と各部の名称」

文書番号（6桁の数字）を入力して「検索する」をクリック

FMV 画面で見るマニュアル

920010

検索する

検索のヒント

FMV 画面で見るマニュアル

❶ **文書番号（6桁の数字）を入力**
❷ **「検索する」をクリック** ････････▶ **文書番号の内容が表示**

「目次」、「検索」、「索引」など、他にもいろいろな探し方があります。
『画面で見るマニュアル』について詳しくは、画面右上の［使い方］をクリックしてください。

目次

第３章　周辺機器の設置／設定／増設

第４章　お手入れ

第５章　仕様一覧

索引

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、『安心してお使いいただくために』の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

このマニュアルの表記について

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⃠	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
Point	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
●●▶	参照先を記述しています。
▼参照	参照していただきたいマニュアルを記述しています。
(冊子アイコン)	冊子のマニュアルを表しています。
(画面マニュアルアイコン)	画面で見るマニュアルを表しています。 （起動方法について、このマニュアルの巻頭でご案内しています。）
(ディスクアイコン)	CD-ROM ／ DVD-ROM を表しています。

製品の呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows Vista® Ultimate with Service Pack 1	Windows または Windows Vista または Windows Vista Ultimate または Windows Vista Ultimate with SP1
Windows Vista® Home Premium with Service Pack 1	Windows または Windows Vista または Windows Vista Home Premium または Windows Vista Home Premium with SP1
情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律	省エネ法
スーパーマルチドライブ	CD/DVD ドライブ
Blu-ray Discドライブ（スーパーマルチドライブ機能対応）	
フラットポイント付ワイヤレスキーボード	キーボードまたは ワイヤレスキーボード
ワイヤレスマウス（光学式）	マウスまたはワイヤレスマウス
ＦＭＶ 画面で見るマニュアル V1.4	画面で見るマニュアル

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Aero、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
AMD、AMD Arrow ロゴ、AMD Turion、ATI、ATI Radeon、ATI Hyper Memory ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices,Inc. の商標です。
HyperTransport は、HyperTransport Technology Consortium の許諾商標です。
HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
SD ロゴおよび SDHC ロゴは、商標です。
「メモリースティック」、「メモリースティック PRO」、「メモリースティック Duo」、「メモリースティック PRO Duo」、「マジックゲート」および は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

ドルビー、DOLBY、AC-3、プロロジック及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

第1章 各部の名称と働き

パソコンの各部の名称と働きについて説明しています。
ここでは、代表的な機能を説明しています。

パソコンに添付のディスプレイの各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000500」で検索
→「液晶ディスプレイ」

1 各部の名称と働き

パソコン本体前面

（イラストはフラップを開いた状態です）

注 1 ：無線 LAN 搭載機種のみ
注 2 ：スーパーマルチドライブ搭載機種のみ
注 3 ：Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ

1394 IEEE1394（DV）端子（アイトリプルイー）
デジタルビデオカメラ（DVC）や IEEE1394 規格の周辺機器を接続します。

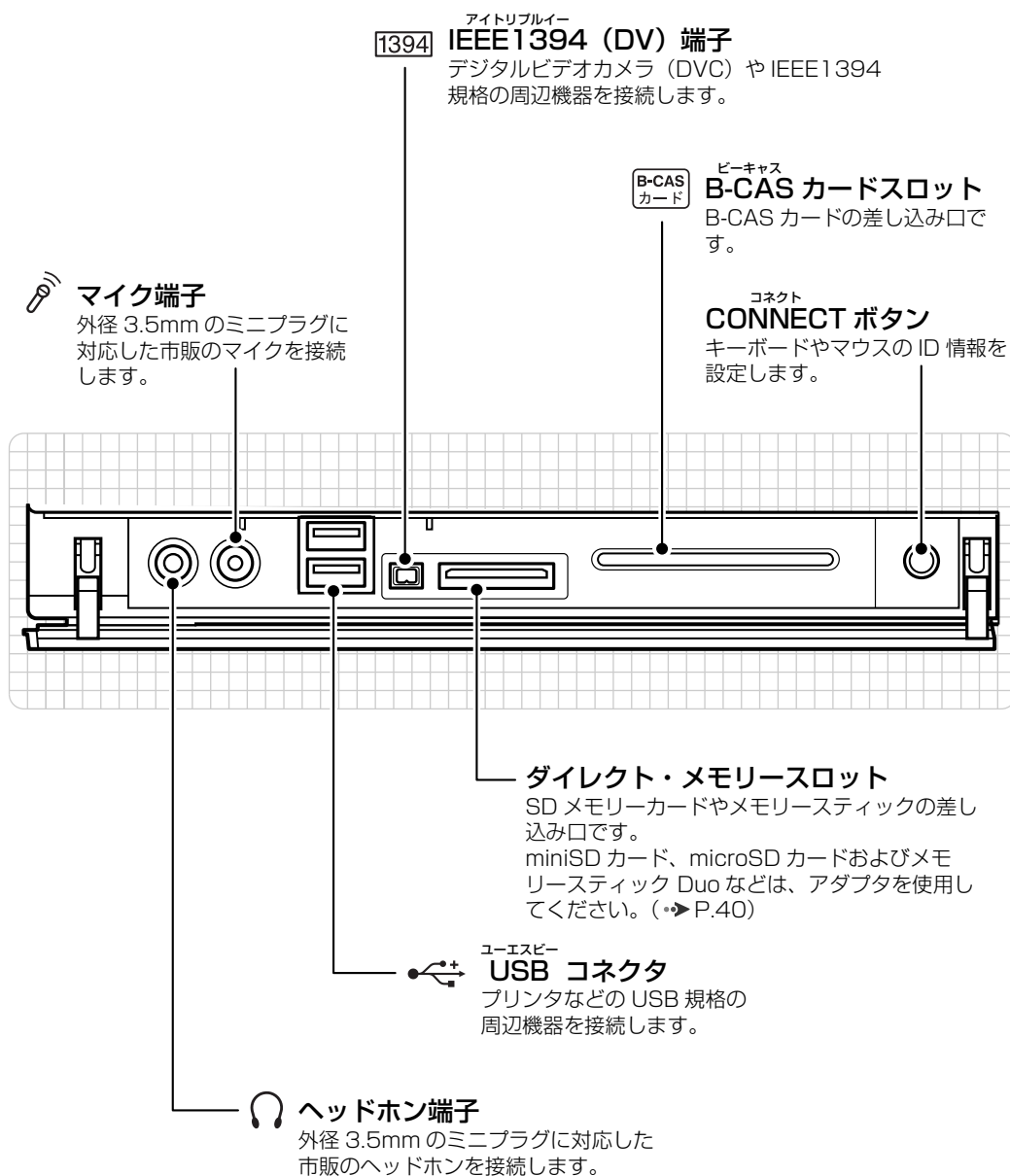
B-CAS カードスロット（ビーキャス）
B-CAS カードの差し込み口です。

マイク端子
外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のマイクを接続します。

CONNECT ボタン（コネクト）
キーボードやマウスの ID 情報を設定します。

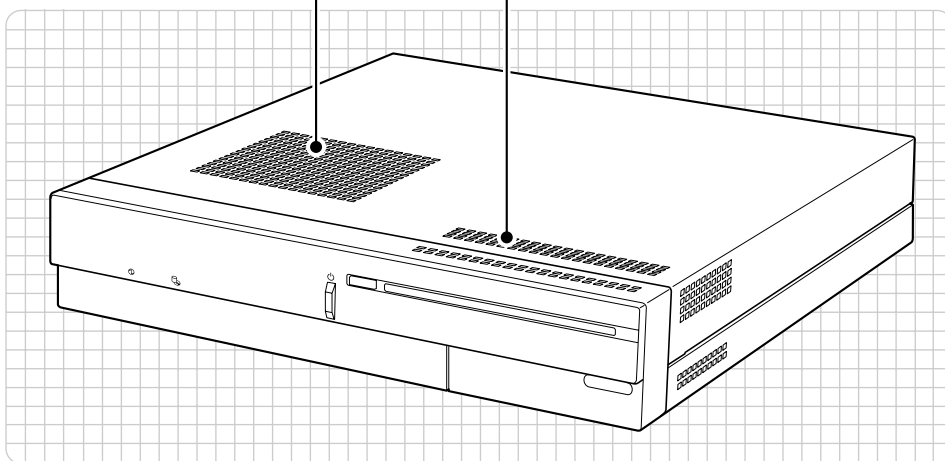
ダイレクト・メモリースロット
SD メモリーカードやメモリースティックの差し込み口です。
miniSD カード、microSD カードおよびメモリースティック Duo などは、アダプタを使用してください。（→P.40）

USB コネクタ（ユーエスビー）
プリンタなどの USB 規格の周辺機器を接続します。

ヘッドホン端子
外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホンを接続します。

パソコン本体前面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照
『画面で見るマニュアル』»「000270」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」

パソコン本体上面

通風孔
パソコン本体内部に空気を取り込むことで、パソコン本体内部を冷却するための開孔部です。キーボードや紙類などで、通風孔をふさがないよう、ご注意ください。

パソコン本体上面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000260」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体上面」

パソコン本体背面

BS･110°CS デジタル **アンテナ入力端子（BS・110 度 CS デジタル）**
BS・110 度 CS デジタル放送用のテレビアンテナと接続します。（→P.46）

地上デジタル **アンテナ入力端子（地上デジタル）**
地上デジタル放送用のテレビアンテナと接続します。（→P.46）

ラインアウト端子
テレビやディスプレイ、オーディオ機器などの音声入力端子とオーディオケーブルで接続します。

通風孔
パソコン本体外部に空気を排出して熱を逃がすための開孔部です。

盗難防止用ロック取り付け穴
盗難防止用ケーブルを接続します。

インレット
パソコン本体の電源ケーブルを接続します。

HDMI（エイチディーエムアイ）出力端子
HDMI ケーブルで市販のテレビを接続します。

LAN（ラン）コネクタ
LAN ケーブルを接続します。（→P.74）

DVI-D（ディーブイアイディー）出力端子（HDCP（エイチディーシーピー）対応）
液晶ディスプレイを接続します。

USB（ユーエスビー）コネクタ
プリンタなどのUSB 規格の周辺機器を接続します。

LINE（ライン）端子
電話回線とつながるモジュラーケーブルを接続します。

光デジタルオーディオ出力端子
MD や AV アンプなどの光デジタルオーディオ機器を接続します。

ラインイン端子
オーディオ機器などの音声出力端子と接続します。

パソコン本体背面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照
『画面で見るマニュアル』»「000300」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」

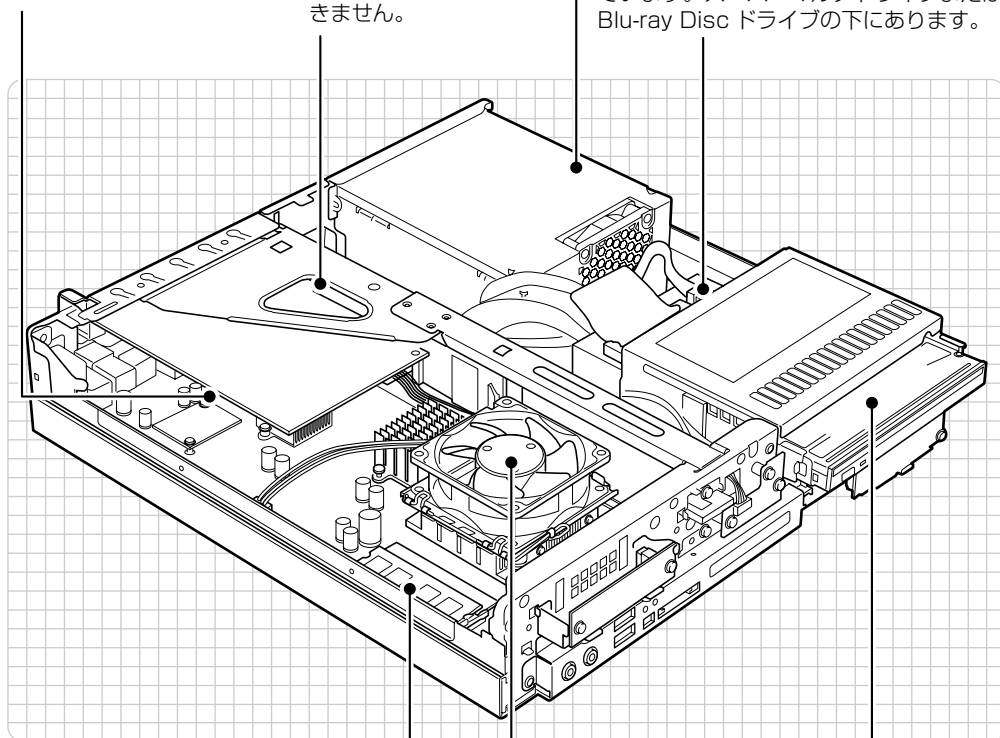
4 各部の名称と働き

パソコン本体内部

システムファン
パソコン本体内部の空気を排出して温度を下げるためのファンです。ハイビジョン・テレビチューナーカードの下にあります。

拡張スロット
拡張カードの差し込み口です。
このパソコンでは、これ以上のカードの増設はできません。

電源ユニット

内蔵ハードディスク
ここに、シリアル ATA［エーティーエー］規格のハードディスクドライブが搭載されています。スーパーマルチドライブまたは Blu-ray Disc ドライブの下にあります。

メモリスロット
このパソコンのメモリが取り付けられています。（→P.106）

CPU（シーピーユー） ファン
パソコン本体内部に空気を取り入れて温度を下げるためのファンです。

スーパーマルチドライブ〔注 1〕
ここに、ATAPI［アタピ］規格のスーパーマルチドライブが搭載されています。

Blu-ray Disc（ブルーレイディスク） ドライブ（スーパーマルチドライブ機能対応）〔注 2〕
ここに、ATAPI 規格の Blu-ray Disc ドライブ（スーパーマルチドライブ機能対応）が搭載されています。

注２ ：スーパーマルチドライブ搭載機種のみ
注３ ：Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ

パソコン本体内部の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000290」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体内部」

キーボード

半角／全角キー
半角入力／全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語入力ができます。

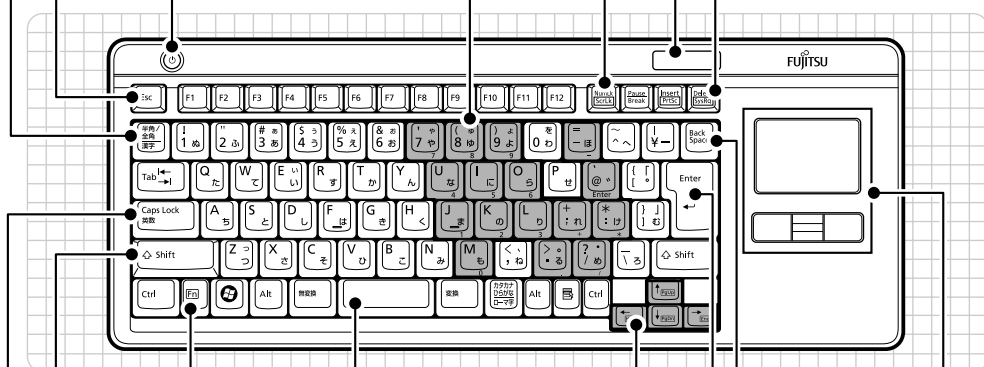
ナムロック
NumLK キー
Num Lk を押すと、テンキーモードに切り替えます。もう一度押すと解除されます。
テンキーモードでは、イラストの「テンキーになるキー」部分がテンキー（数字を入力しやすい配列のキー）として使えるようになります。テンキーモードで入力される文字は、キーの前面に刻印されています。

エスケープ
Esc キー
現在の作業を取り消します。

エルシーディー
状態表示 LCD
キーボードの電池残量や、パソコンの状態を表示します。

パソコン電源ボタン
パソコン本体の電源を入れたりスリープにしたりします。（P.18）

デリート
Delete キー
マウスポインタの右側にある 1 文字を削除します。

テンキーになるキー

スペース
空白（Space）キー
空白を入力します。

フラットポイント
マウスポインタを操作します。

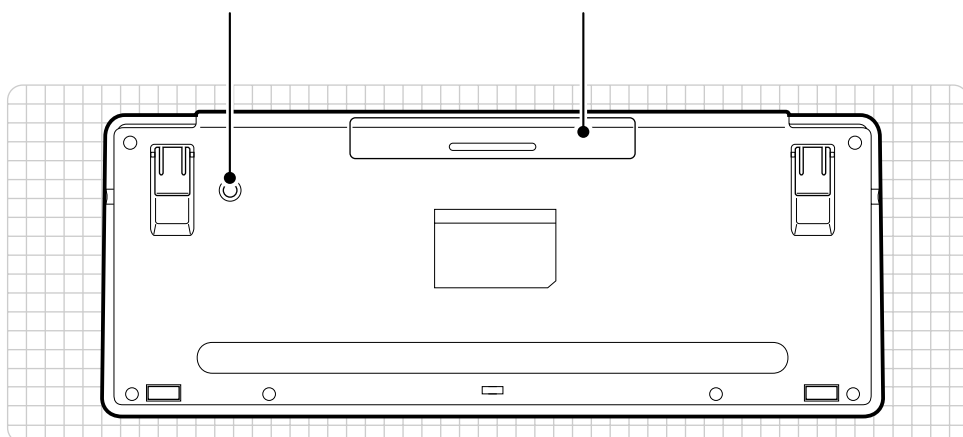
Fn キー
このキーを押しながら□で囲まれたキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

バックスペース
Back Space キー
マウスポインタの左側にある 1 文字を削除します。

シフト
Shift キー
Shift を押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている文字や記号を入力できます。

エンター
Enter キー
入力した文字を確定したり、改行したりします。

キャプスロック
Caps Lock ／英数キー
Shift を押しながら CapsLock 英数 を押して、英大文字入力／小文字入力の切り替えをします。

カーソルキー
マウスポインタを上下左右に移動します。

その他のキーや詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000220」で検索
→「各部の名称と働き：キーボード」

6 リモコン

Windows が起動しているときの主な機能について説明しています。

数字ボタン
テレビのチャンネルや DVD-VIDEO のチャプターなどを指定します。

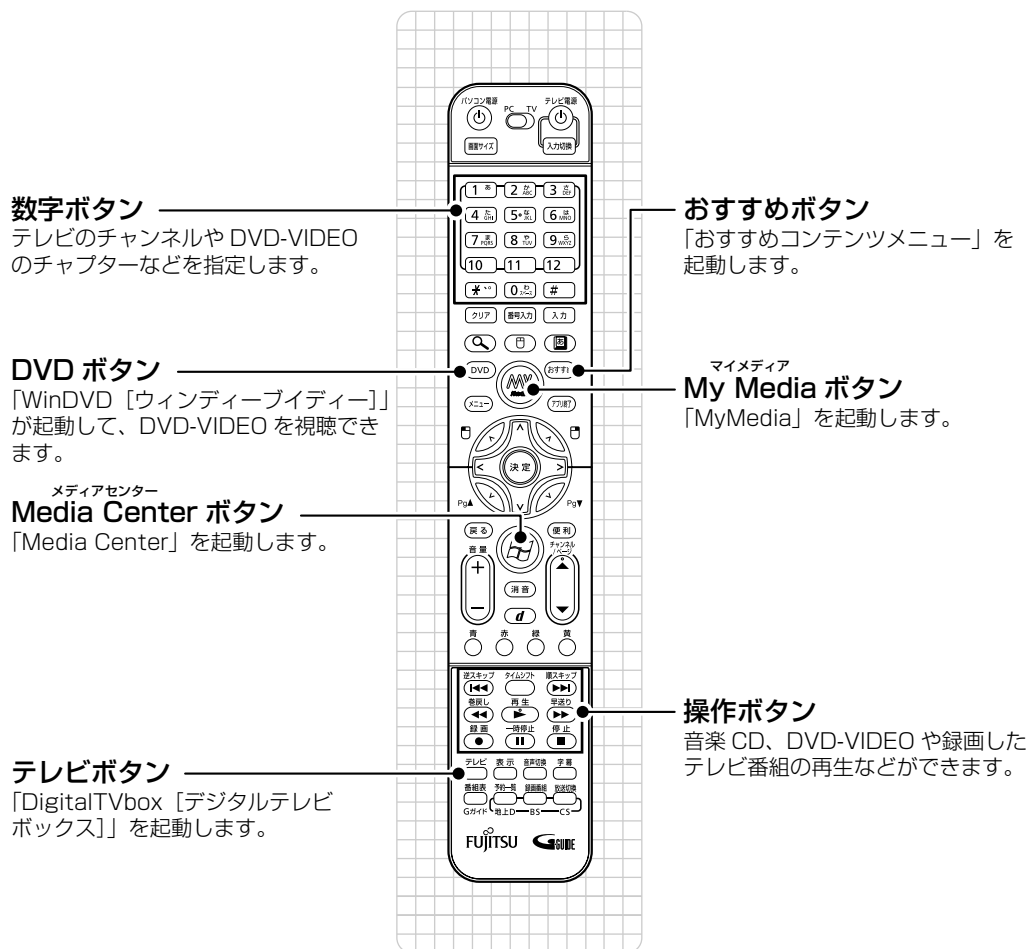
DVD ボタン
「WinDVD［ウィンディーブイディー］」が起動して、DVD-VIDEO を視聴できます。

Media Center（メディアセンター）ボタン
「Media Center」を起動します。

テレビボタン
「DigitalTVbox［デジタルテレビボックス］」を起動します。

おすすめボタン
「おすすめコンテンツメニュー」を起動します。

My Media（マイメディア）ボタン
「MyMedia」を起動します。

操作ボタン
音楽 CD、DVD-VIDEO や録画したテレビ番組の再生などができます。

その他のボタンや詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000320」で検索
→「各部の名称と働き：リモコン」
『画面で見るマニュアル』»「211340」で検索
→「「おすすめコンテンツメニュー」を活用しよう」

第2章

パソコンの取り扱い

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

2

電源を入れる／切る

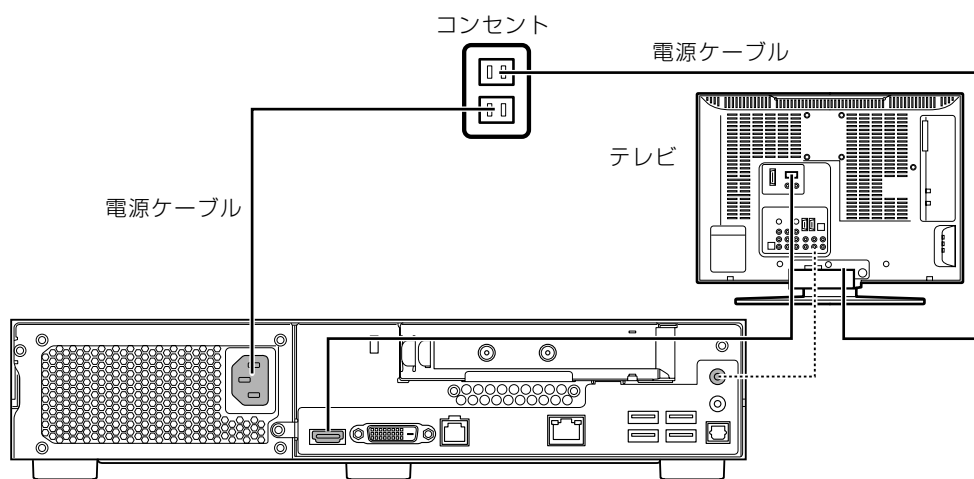
電源の入れ方と切り方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

⚠注意

・電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

接続を確認する

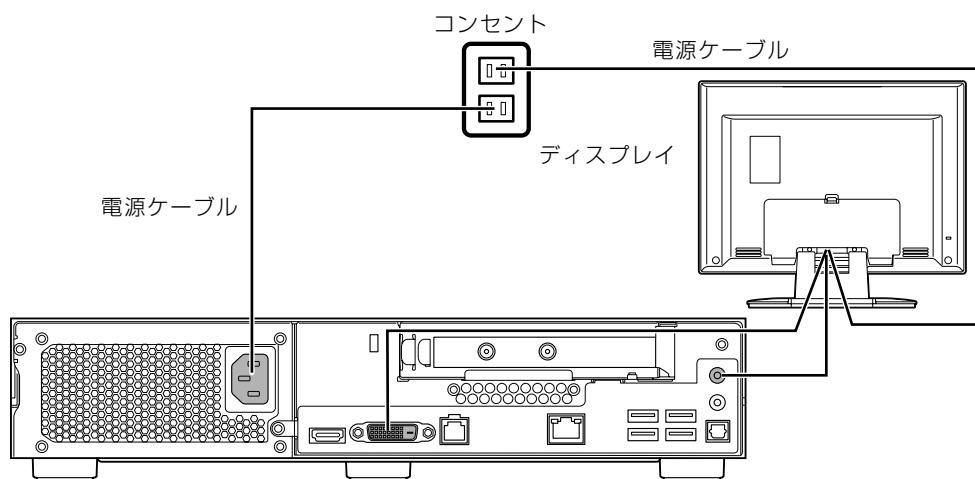
電源を入れる前に、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。

テレビと接続した場合　（HDMI ケーブル）

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

Point 接続していたテレビを変える場合

このパソコンに接続していたテレビを、別のテレビやディスプレイに接続する場合は、次の手順に従って操作してください。

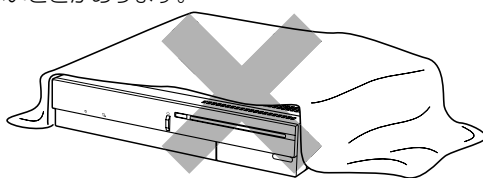
1. パソコン本体および周辺機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜きます。
電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。
2. このパソコンに接続していたテレビを、別のテレビやディスプレイに接続します。
3. 電源ケーブルをコンセントに接続します。

■ ディスプレイと接続した場合　（DVI ケーブル）

電源を入れる

ここでは電源の入れ方のうち Windows を起動する方法を説明しています。

重要 電源を入れるときの注意

・電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。
・テレビまたは液晶ディスプレイは、必ずパソコン本体の電源ケーブルをコンセントに差し込む前に接続しておいてください。パソコン本体の電源ケーブルをコンセントに差し込んだ後にテレビまたはディスプレイを接続すると、正常に動作しないことがあります。
・パソコンに布などのカバーをかけている場合は、必ずそれらを完全に取り外してから電源を入れてください。パソコンの通風孔などが布などでふさがれたまま使用すると、パソコン内部に熱がこもり、動作不良や本体カバーの変形が起きることがあります。

・電源を入れた後は、手順 6 の画面が表示されるまでは電源を切らないでください。手順 6 の画面が表示される前に電源を切ると、パソコンの動作が不安定になります。

重要 しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。
キーボードの【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。

1 パソコンに接続されている機器、およびテレビ（またはディスプレイ）などを接続します。

2 電源ケーブルがコンセントに接続されていない場合は、電源プラグをコンセントに差し込みます。

パソコンに接続されている機器の電源プラグをコンセントに差し込んだ後に、パソコン本体の電源プラグをコンセントに差し込んでください。

重要 コンセントに接続すると

パソコン本体の電源ケーブルをコンセントに接続すると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

3 パソコンに接続されている機器およびテレビ（またはディスプレイ）の電源を入れます。

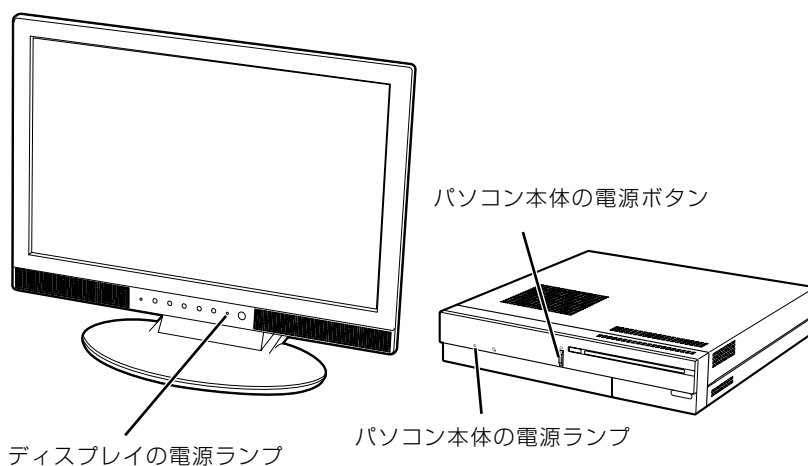
4 テレビまたはディスプレイの電源が入っていることを確認します。

■テレビを接続している場合

1. テレビの入力を、パソコンと接続されているインターフェース（HDMI[エイチディーエムアイ] など）に切り替えます。
   テレビの入力を切り替える方法は、テレビのマニュアルをご覧ください。

■ディスプレイを接続している場合

1. ディスプレイの電源ランプが点灯していることを確認します。
   ディスプレイの電源ランプが点灯していない場合は、ディスプレイの電源ボタンを押してください。

5 パソコン本体の電源ボタンの中央を押します。

（イラストは機種や状況により異なります）

パソコン本体とテレビまたはディスプレイの電源ランプが点灯し、画面にさまざまな文字などが表示されます。そのまま、しばらくお待ちください。

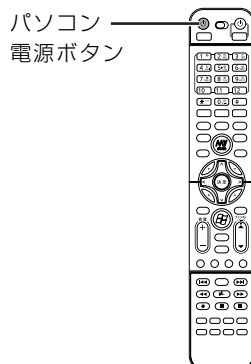
Point パソコンの電源を入れる方法はいろいろあります

ワイヤレスキーボードやリモコンのパソコン電源ボタンでもパソコンの電源を入れることができます。
「ワンタッチ画面表示」に対応したテレビを接続している場合は、リモコンを使って電源を入れると、テレビにパソコンの画面を簡単に表示できます。「ワンタッチ画面表示」については、「「ワンタッチ画面表示」について」（→P.80）をご覧ください。

■ワイヤレスキーボードの場合

パソコン電源ボタン

■リモコンの場合

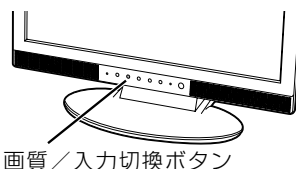
パソコン電源ボタン

6 このような画面が表示されたことを確認します。

（画面は機種や状況により異なります）

Point Windows が起動しない場合（液晶ディスプレイが添付されている機種のみ）

このパソコンに添付のディスプレイは、デジタルとアナログの 2 種類の入力に対応しています。電源を入れても Windows が起動しない場合は、入力が切り換わってしまった可能性があります。その場合は、画質／入力切換ボタンを押して、「デジタル入力」に切り換えてください。
入力を切り換えても Windows が起動しない場合は、次のマニュアルをご覧ください。

画質／入力切換ボタン

参照

『トラブル解決ガイド』
→「Q&A 集」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「起動／終了」

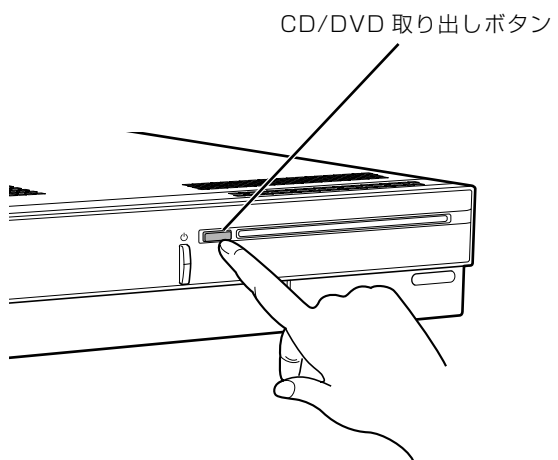
電源を切る

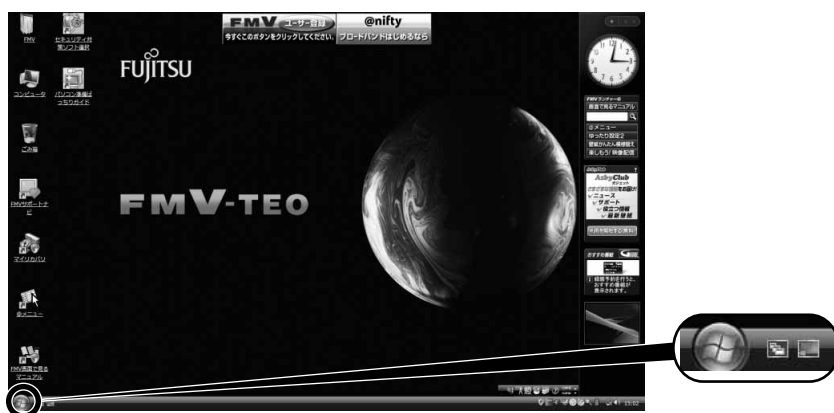
ここでは電源の切り方のうち Windows を終了する方法を説明しています。
このパソコンを使わないときは、Windows を終了せずに「待機状態（スリープ)」にしておくこともできます。スリープにする方法については、「パソコンを待機状態にする／復帰させる」（→P.26）をご覧ください。

1 作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。

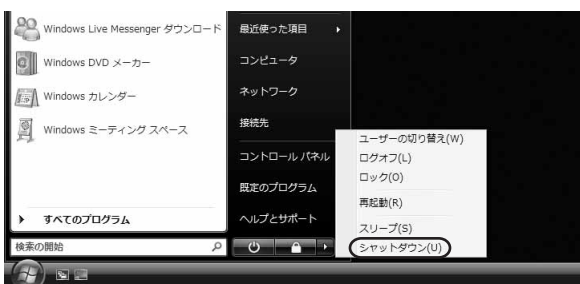
ソフトウェアを起動したままでもこれ以降の操作を進められますが、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤動作の原因となるので、あらかじめデータを保存した後、ソフトウェアを終了してください。

2 CD や DVD などがセットされていたら、パソコン本体前面の CD/DVD 取り出しボタンの中央を押して取り出します。

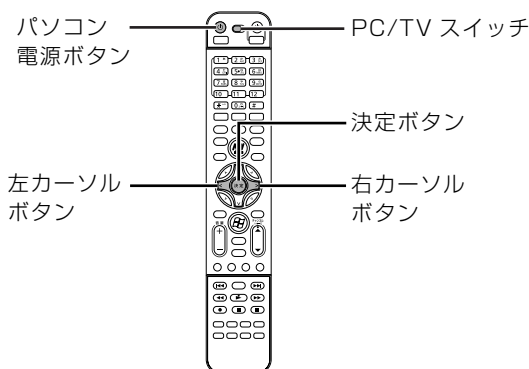
■パソコン本体前面

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

3 （スタート）をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

4 ▶をクリックします。

5 「シャットダウン」をクリックします。

しばらくすると Windows が終了し、パソコン本体の電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン本体の電源ランプが消えます）。
ディスプレイを接続している場合、ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯します。
テレビを接続している場合、お使いのテレビによっては省電力モードにならないことがあります。

Point リモコンの電源ボタンでも電源を切ることができます

1. PC/TV スイッチを PC 側にスライドします。
2. リモコンのパソコン電源ボタンを押します。
   「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。
3. リモコンの❮（左カーソル）ボタンまたは❯（右カーソル）ボタンを押して「電源を切る」を選択し、決定ボタンを押します。
   パソコン本体の電源が切れます（画面が暗くなり、パソコン本体の電源ランプが消えます）。
   ディスプレイを接続している場合、ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯します。
   テレビを接続している場合、お使いのテレビによっては省電力モードにならないことがあります。

Point テレビまたはディスプレイの電源について

パソコンの電源を切るとテレビ、またはディスプレイは省電力状態になります（ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯します）。このままでも問題ありません。テレビまたはディスプレイの電源も切りたい場合は、テレビまたはディスプレイの電源ボタンを押してください。

Point パソコンの電源が切れない場合

フラットポイントやキーボードが操作できないなど、電源を切る操作ができないときは、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『トラブル解決ガイド』
→「Q&A 集」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「起動／終了」

それでも電源が切れないときは、パソコン本体の電源ボタンの中央を 4 秒以上押し続けて、強制的に電源を切ってください。
電源を切った後、パソコン本体の電源ランプが消えている（電源が切れている）ことを確認してください。電源ランプがオレンジ色に点灯しているときは、スリープ状態になっているため電源が切れていません。もう一度電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ってください。

6 パソコンに接続されている機器の電源を切ります。

パソコンを待機状態にする／復帰させる

このパソコンを使わないときは、パソコンの電源を切らずに待機状態にしておくと、次にパソコンを使うときにすぐに使い始めることができます。
待機状態にはスリープと休止状態があります。ご購入時には、「スリープ」に設定されています。
ここでは、パソコンをスリープする方法と、スリープから復帰する方法について説明します。

Point　次の場合はパソコンの電源を切ってください

・パソコンを長期間使わないとき
・パソコンの動作が遅くなったり、正常に動作しなくなったとき
　いったんパソコンの電源を切り、再度電源を入れ直してください。
電源の切り方については、「電源を切る」（→P.23）をご覧ください。

Point　スリープとは

パソコンの電源を切らずに、作業中のデータなどをメモリに保存して、パソコンを待機状態にすることです。
スリープ中は、メモリに保存したデータなどを保持するために少しずつ電力を消費しています。

パソコンをスリープする

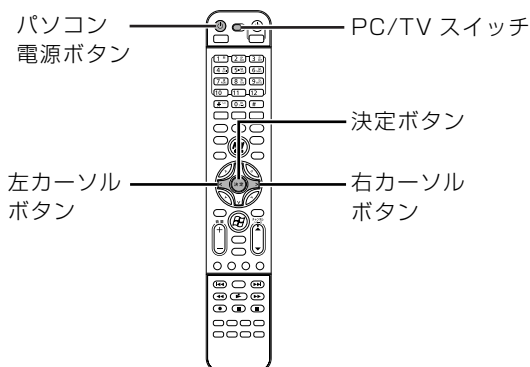
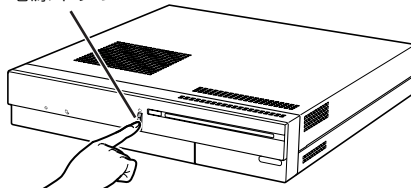
1 （スタート）→ をクリックします。

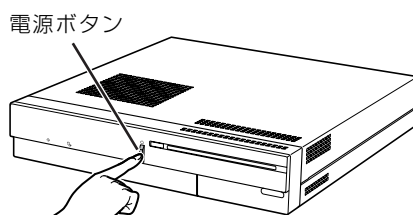
（画面は機種や状況により異なります）

パソコンがスリープします。スリープ中は、電源ランプがオレンジ色に点灯します。
なお、「ランプオフ設定」での設定によっては、スリープ時に消灯する場合があります。

Point スリープする方法はいろいろあります

・ワイヤレスキーボードでパソコンをスリープする
1. ワイヤレスキーボードのパソコン電源ボタンを押します。
   パソコンがスリープします。
   スリープ中は、電源ランプがオレンジ色に点灯します。

・リモコンでパソコンをスリープする
1. PC/TV スイッチを PC 側にスライドします。
2. リモコンのパソコン電源ボタンを押します。
   「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。
3. リモコンの❮（左カーソル）ボタンまたは❯（右カーソル）ボタンを押して「スリープ」を選択し、決定ボタンを押します。
   パソコンがスリープします。
   スリープ中は、電源ランプがオレンジ色に点灯します。

・パソコン本体でパソコンをスリープする
1. パソコン本体の電源ボタンの中央を押します。
   パソコンがスリープします。スリープ中は、電源ランプがオレンジ色に点灯します。

スリープから復帰する

1 パソコン本体の電源ボタンの中央を押します。

パソコンがスリープから復帰（レジューム）します。電源ボタンは 4 秒以上押し続けないでください。パソコンの電源が切れてしまいます。

Point 復帰するときは

スリープにした後、すぐに復帰（レジューム）しないでください。
必ず、10 秒以上たってから復帰（レジューム）するようにしてください。

Point スリープから復帰する方法はいろいろあります

ワイヤレスキーボードやリモコンのパソコン電源ボタンでもパソコンをスリープから復帰（レジューム）することができます。

■ワイヤレスキーボードの場合

■リモコンの場合

スリープや休止状態については、次のマニュアルもご覧ください。

参照 省電力機能について

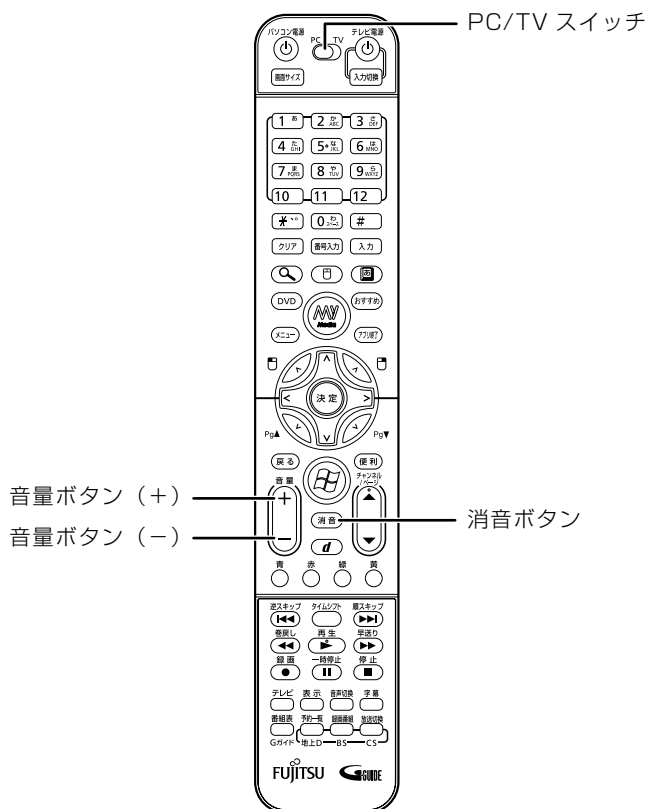
『画面で見るマニュアル』»「000410」で検索
→「省電力機能を使う」

音量を調節する

ここでは、Windows が起動している場合に、リモコンの音量調節ボタンから音量を調節する方法について説明します。

1 PC/TV スイッチを PC 側にスライドします。

2 リモコンの音量調節ボタンを押して、適切な音量に調節します。

音量ボタン（−）を押すと小さく、音量ボタン（+）を押すと大きくなります。
消音ボタンを押すと音が消え、画面右下の通知領域にある表示が🔇に変わります。もう一度押すと元の音量に戻り、表示も🔊に戻ります。

（イラストは機種や状況により異なります）

音量を調節する方法はいろいろあります　Column

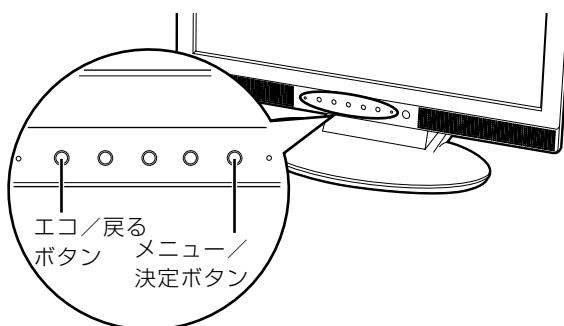
画面右下の通知領域にある🔊（音量）　など、 他の方法でも音量を調節できます。

参照 **他の方法で音量を調節する場合**

『画面で見るマニュアル』»「000190」で検索
→「音量を調節する」

画面の明るさを調節する

液晶ディスプレイで、画面の明るさを調節することができます。

ディスプレイが添付されている機種の場合は、ここの説明をお読みください。ディスプレイが添付されていない機種の場合は、お使いのディスプレイのマニュアルをご覧ください。
液晶ディスプレイの「メニュー／決定」ボタンを押すと、画面の明るさを調節するメニューが表示されます。ここのメニューでお好みの明るさに調節してください。

Point　エコ／戻るボタンについて

ディスプレイのエコ／戻るボタンで、周囲の明るさを検知して画面の明るさを調整したり、常に一定の明るさに固定したりすることができます。

詳しくは、液晶ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

参照　画面の明るさの調節について

『画面で見るマニュアル』»「000500」で検索
→「液晶ディスプレイ」

4 CD/DVD/Blu-ray Disc を使う

このパソコンでできること

このパソコンでは、CD や DVD の読み出しや書き込みをしたり、音楽 CD や DVD-VIDEO を再生したり、Blu-ray Disc（Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）の再生や読み出し、書き込みを行うことができます。

詳しくは、次のマニュアルを参照してください。

参照 CD や DVD、Blu-ray Disc で楽しむ

『画面で見るマニュアル』
→「カテゴリ別」→「CD・DVD」

このパソコンで使えるディスク／使えないディスク

使えるディスク

このパソコンでは、12cm の CD や DVD、Blu-ray Disc（Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）がお使いになれます。8cm の CD や DVD、Blu-ray Disc はお使いになれません。
なお、CD や DVD、Blu-ray Disc にはさまざまな種類があります。このパソコンでお使いになることのできる CD や DVD、Blu-ray Disc は、次のとおりです。

	種別	読みかたの例
CD	**CD-ROM**	シーディーロム
	CD-DA（音楽 CD）	シーディーディーエー
	フォト CD	フォトシーディー
	ビデオ CD	ビデオシーディー
	CD-R	シーディーアール
	CD-RW	シーディーアールダブル シーディーリライタブル
DVD	**DVD-ROM**	ディーブイディーロム
	DVD-VIDEO	ディーブイディービデオ
	DVD-R	ディーブイディーアール ディーブイディーマイナスアール
	DVD-R DL	ディーブイディーアールダブルレイヤー ディーブイディーマイナスアールダブルレイヤー
	DVD-RW	ディーブイディーアールダブル ディーブイディーマイナスアールダブル
	DVD+R	ディーブイディープラスアール
	DVD+R DL	ディーブイディープラスアールダブルレイヤー
	DVD+RW	ディーブイディープラスアールダブル
	DVD-RAM〔注〕	ディーブイディーラム
Blu-ray Disc（ブルーレイディスク）	**BD-ROM**	ビーディーロム
	BD-R〔注〕	ビーディーアール ビーディーレコーダブル
	BD-R Dual Layer（DL）〔注〕	ビーディーアールデュアルレイヤー ビーディーレコーダブルデュアルレイヤー
	BD-RE〔注〕	ビーディーアールイー ビーディーリライタブル
	BD-RE Dual Layer（DL）〔注〕	ビーディーアールイーデュアルレイヤー ビーディーリライタブルデュアルレイヤー

注：DVD-RAM および Blu-ray Disc をお使いになる場合には、フォーマットが必要です。

このパソコンのCD/DVDドライブの読み込み／書き込み／書き換え速度については、「パソコン本体の仕様」（→P.128）をご覧ください。

重要 DVD-RAMについて

・カートリッジなしタイプまたはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをご購入ください。カートリッジに入れた状態で使用するタイプ（Type1）は使用できません。また、無理に取り出して使わないでください。
・2.6GBおよび5.2GBのディスクは、使用できません。
・DVD-RAM2（12倍速／16倍速）は、使用できません。

推奨ディスク（2008年5月現在）

次のディスクの使用を推奨します。
下記以外のディスクをお使いの場合は、書き込み／書き換え速度が低下することがあります。また、正常に書き込み／書き換えができない場合や再生できない場合があります。

ディスク	メーカー	メーカー型名
CD-R	太陽誘電	CDR80WTY、CDR80WPY
CD-RW	三菱化学メディア	SW74QU1、SW80QU1、SW74EU1、SW80EU1
DVD-R	太陽誘電	DR-47WTY、DR-47TY
DVD-R DL	三菱化学メディア	DHR85YP1、DHR85H1
DVD-RW	三菱化学メディア	DHW47R1
DVD+R	太陽誘電	DR+47WTY
	三菱化学メディア	DTR47JP
DVD+R DL	三菱化学メディア	DTR85H1、DTR85NP1
DVD+RW	三菱化学メディア	DTW47U1
DVD-RAM	松下電器	LM-HC47M（4.7GB、カートリッジ無）、 LM-HB47MA（4.7GB、カートリッジ有、取り出し可）、 LM-HB94M（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）
	日立マクセル	DRM47PWC.S1P A（4.7GB、カートリッジ無）、 DRMC94C.1P（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）、 DRM120C.1P A（4.7GB、カートリッジ無）、 DRMC240C.1P A（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）
BD-R 注	松下電器	LM-BR25D（25GB）、LM-BR50D（50GB）
BD-RE 注	松下電器	LM-BE25D（25GB）、LM-BE50D（50GB）

注：Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ

使えないディスク

次のディスクはお使いにならないでください。

- 円形以外の異形ディスク（星型やカード型などの変形ディスク）
  このパソコンは円形のディスクのみお使いになれます。
  円形以外の異形ディスクをお使いになると故障する場合があります。
  異形ディスクをお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- 規格外の厚さの DVD 媒体
  DVD 規格では媒体の厚さを 1.14mm ～ 1.5mm と規定しています。
  記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。
  規格外の DVD 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- 規格外の厚さの Blu-ray 媒体（Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）
  規格では媒体の厚さを 1.15mm ～ 1.3mm と規定しています。
  記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。
  規格外の Blu-ray 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- 市販のクリーニングディスク、レンズクリーナー
  市販のクリーニングディスク、レンズクリーナーをお使いになると、逆にゴミを集めてしまい、CD/DVD ドライブのレンズが汚れてしまう場合がありますので、お使いにならないでください。
- 中心に穴のあいていないディスク
- 傷またはヒビの入ったディスク
  傷またはヒビの入ったディスクをお使いになるとドライブ内で破損する場合があります。

Point **8cm のディスクについて**

8cm のディスクはお使いにならないでください。
8cm のディスクなど、このパソコンで使えないディスクをお使いになると、パソコン本体が故障することがあります。このような場合は保証の対象外のため、有償修理となります。

参照 **このパソコンで使えるディスクや使えないディスクについて**

『画面で見るマニュアル』»「000050」で検索
→「使えるディスクと対応ソフトウェア」

2
パソコンの取り扱い

Blu-ray Disc を見る場合（Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）

- 「WinDVD［ウィンディーブイディー］」の更新について
  このパソコンには、Blu-ray Disc を再生するソフトウェア「WinDVD」が用意されています。より快適に Blu-ray Disc を見るために、「WinDVD」は常に最新の状態に更新してお使いください。
  「WinDVD」を更新するには、サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）から対応プログラム（随時提供）をダウンロードして、インストールしてください。
  ダウンロードの方法については、「ダウンロード」のページにある説明をご覧ください。インストール手順については、アップデートプログラムに添付されている「Readme.txt」をご覧ください。
- AACS［エーエーシーエス］キーの更新について
  Blu-ray Disc には、著作権保護技術（AACS）のキー（AACS キー）が働いています。
  この AACS キーは 15 〜 18ヶ月毎に更新されますが、著作権保護の状況によっては不定期に更新される場合もあります。
  更新された AACS キーが設定されている Blu-ray Disc を再生するためには、このパソコンの AACS キーも更新する必要があります。
  更新方法については、下記の URL をご覧ください。
  http://www.fmworld.net/aacs/deskpower

ディスクをパソコンにセットする／取り出す

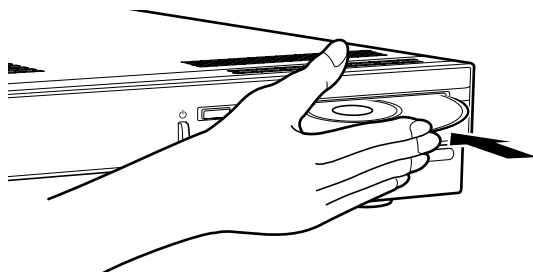
ディスクをセットする

⚠注意

・ディスクをセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのスロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

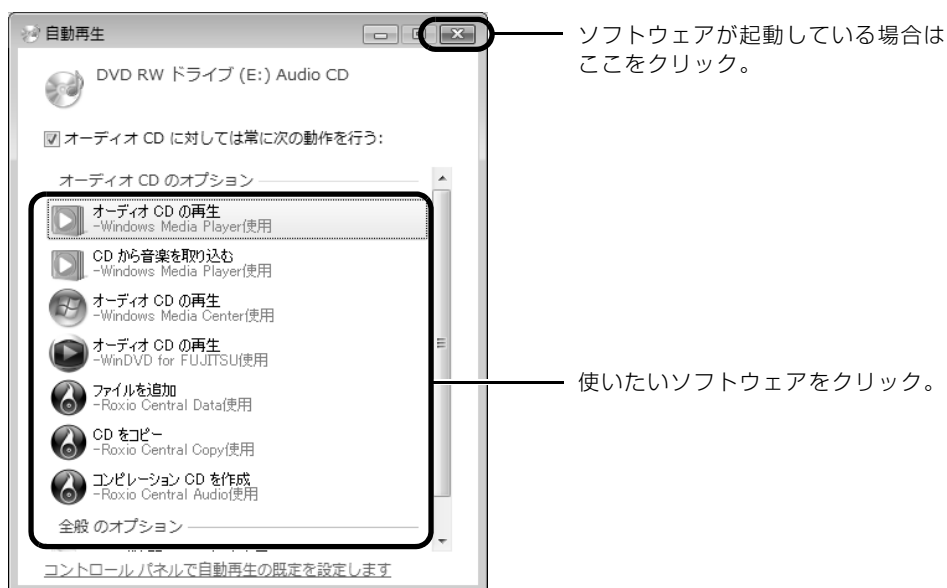
1 パソコンにディスクをセットします。

ディスクのレーベル面を上に（両面タイプの DVD-RAM の場合は、データの読み取り／書き込みを行う面を下に）して、スロットに差し込みます。

■パソコン本体前面

（イラストは機種や状況により異なります）

ディスクがセットされ、ハードディスク／ CD アクセスランプが点滅します。ハードディスク／ CD アクセスランプが消えたことを確認してから、次の操作に進んでください。
ディスクによっては、セットすると自動的に起動するものもあります。

2 「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、次のどちらかの操作をします。

・すでにソフトウェアが起動している場合は、 をクリックします。
・ソフトウェアが起動していない場合は、表示されている項目の一覧で使いたいソフトウェアをクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

Point　セットするときの注意

ディスクをセットするときは、手を揃えて水平にスロットに差し込んでください。故意に押し上げたり押し下げたりすると、ディスクに傷がついたり、パソコン本体が故障することがあります。

Point　電源が切れている場合、またはスリープの場合

パソコン本体の電源が切れていたり、スリープしていたりする場合にディスクをセットすることで、自動的にディスクを再生することもできます。ただし、パスワードの設定によっては、ディスクをセットした後にパスワードを入力する必要があります。
詳しくは、次のマニュアルをご覧ください。

参照　ディスクのセットについて

『画面で見るマニュアル』»「000052」で検索
→「ディスクをパソコンにセットする／取り出す」

ディスクを取り出す

⚠注意

- ディスクをセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのスロットに指などを入れないでください。
  けがの原因となることがあります。

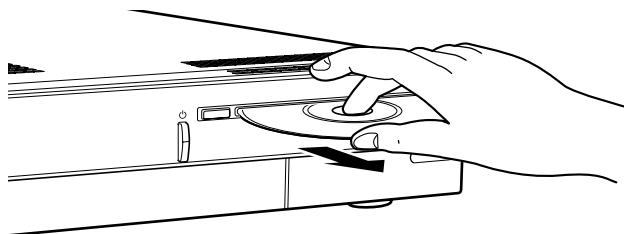
1 ディスクを使っているソフトウェアがあれば、終了します。

2 ハードディスク／ CD アクセスランプが消えていることを確認し、パソコン本体の CD/DVD 取り出しボタンの中央を押します。

ディスクが少し出てきます。

3 ディスクを取り出します。

ディスクは、ディスクの中央の穴と端を指で持って取り出すことをお勧めします。

■パソコン本体前面

（イラストは機種や状況により異なります）

Point 電源が切れている場合、またはスリープの場合

パソコン本体の電源が切れていたり、スリープしていたりする場合でもディスクを取り出すことができます。ディスクを取り出すときに、パソコンが起動して画面にメッセージが表示されます。

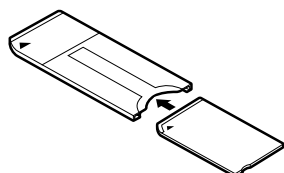
5 メモリーカードを使う

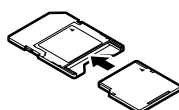
ここでは、このパソコンでお使いになれるメモリーカードの種類や、メモリーカードのセット方法、および取り出し方法について説明しています。
SD メモリーカードやメモリースティックを総称して、メモリーカードと呼んでいます。

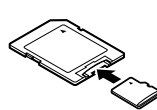
メモリーカードをお使いになるうえでの注意

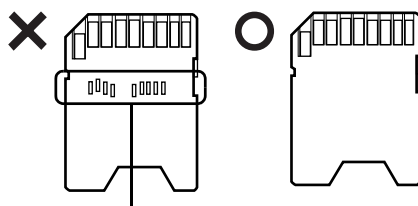
メモリーカードをお使いになるときは、次の点にご注意ください。

- メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo、miniSD カード、または microSD カードをお使いの場合は、必ずアダプタにセットしてからお使いください。そのまま挿入すると、メモリーカードが取り出せなくなります。
  また、メモリーカードを取り出す場合は、必ずアダプタにセットしたまま取り出してください。アダプタだけをダイレクト・メモリースロットに残すと、故障の原因となります。
- メモリースティック Duo アダプタは、塗装部分が剥がれた状態では使用しないでください。ダイレクト・メモリースロット内部の端子が接触し、メモリースティック Duo またはメモリースティック PRO Duo を認識しなかったり、故障の原因となります。
  また、剥がれた塗装部分などにテープなどを貼って使用することもしないでください。アダプタが取り出せなくなる場合があります。

メモリースティック Duo アダプタ

メモリースティック Duo
メモリースティック PRO Duo

miniSD カードアダプタ

miniSD カード

microSD カードアダプタ

microSD カード

- miniSD カードのアダプタには、裏面の中央部から端子が露出している製品がありますが、このタイプのアダプタは使用しないでください。ダイレクト・メモリースロット内部の端子が接触し、故障の原因となる場合があります。
  miniSD カードのアダプタは、裏面中央部から端子が露出していない製品をご利用ください。

使えるメモリーカード

ダイレクト･メモリースロットは、デジタルカメラなどに使われているメモリーカードに直接データを読み書きするためのスロットです。
ダイレクト・メモリースロットが対応しているメモリーカードは次のとおりです。
なお、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

MEMORY STICK〔注 1〕	SD SDHC〔注 2〕
・メモリースティック ・メモリースティック（メモリーセレクト機能付） ・メモリースティック Duo（デュオ） ・メモリースティック PRO（プロ） ・メモリースティック PRO Duo（プロデュオ）	・SD メモリーカード ・miniSD（ミニエスディー）カード ・microSD（マイクロエスディー）カード ・SDHC（エスディーエイチシー）カード

注 1 ： マジックゲート機能が必要なデータの記録／再生はできません。
注 2 ： マルチメディアカード、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カード、SDHC カードは、著作権保護機能（CPRM［シーピーアールエム］）に対応しています。
2GB を超える SD メモリーカードには対応していません。2GB を超える場合は、SDHC カードをお使いください。

メモリーカードをセットする／取り出す

⚠注意

・メモリーカードをセットまたは取り出す場合は、ダイレクト・メモリースロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

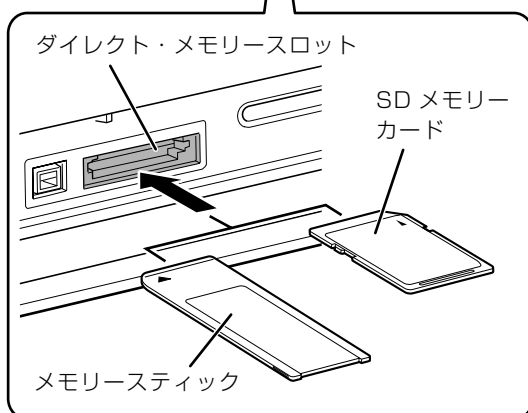
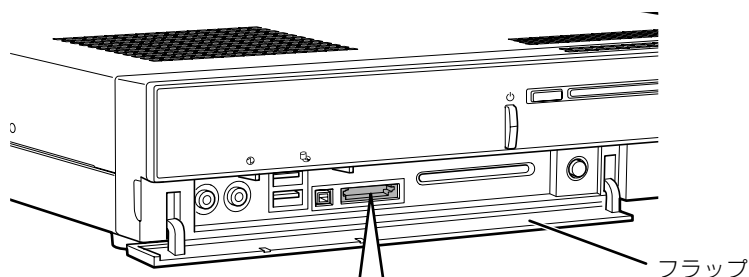
・取り外したメモリーカードは小さいお子様の手の届かないところに置いてください。
お子様が口に入れたり、誤って飲み込むとけがや窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

重要 メモリーカードをお使いになるときの注意

・メモリーカードや記録されているデータの取り扱いについては、メモリーカードや周辺機器のマニュアルをご覧ください。
・メモリーカードをデジタルカメラなどで使っている場合は、お使いの機器でフォーマットしてください。Windows でフォーマットすると、デジタルカメラなどでメモリーカードが使えなくなります。デジタルカメラなどでのフォーマットの方法については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。
・テレビ番組の視聴中や録画中または録画予約の待機中は、メモリーカードのセットや取り出しを行わないでください。

メモリーカードをセットする

1 フラップの左端部分に指を添えてフラップを開け、メモリーカードをダイレクト・メモリースロットにセットします。

■パソコン本体前面

※製品名のある面を上側にして、まっすぐにセットします。
※ SD メモリーカードとメモリースティックを同時に使用することはできません。

（イラストは機種や状況により異なります）

Point 「マイフォト」について

このパソコンには画像表示ソフトウェア「マイフォト」が添付されています。メモリーカードをパソコン本体のダイレクト・メモリースロットにセットすると、「マイフォト」が起動する場合があります。
メモリーカードをダイレクト・メモリースロットにセットした場合に「マイフォト」を起動しないようにするには、「マイフォト」のメニュー画面の「設定」ボタンをクリックして、「メモリーカード挿入時にこのソフトを自動起動する」の「しない」の ◯ を ◉ にして、「適用」ボタンをクリックします。

マイフォトについて、詳しくは次のマニュアルをご覧ください。

参照 マイフォトについて

『画面で見るマニュアル』»「210750」で検索
→「マイフォト」

メモリーカードを取り出す

1 メモリーカードにアクセスしていないことを確認します。

ファイルのコピー、移動、削除などが終了していることを確認してください。

2 画面右下の通知領域にある（ハードウェアの安全な取り外し）をクリックします。

メモリーカードによっては、（ハードウェアの安全な取り外し）が表示されないものもあります。アイコンが表示されない場合には、メモリーカードのマニュアルをご覧になり、確認してください。

3 「nnn を安全に取り外します」をクリックします。

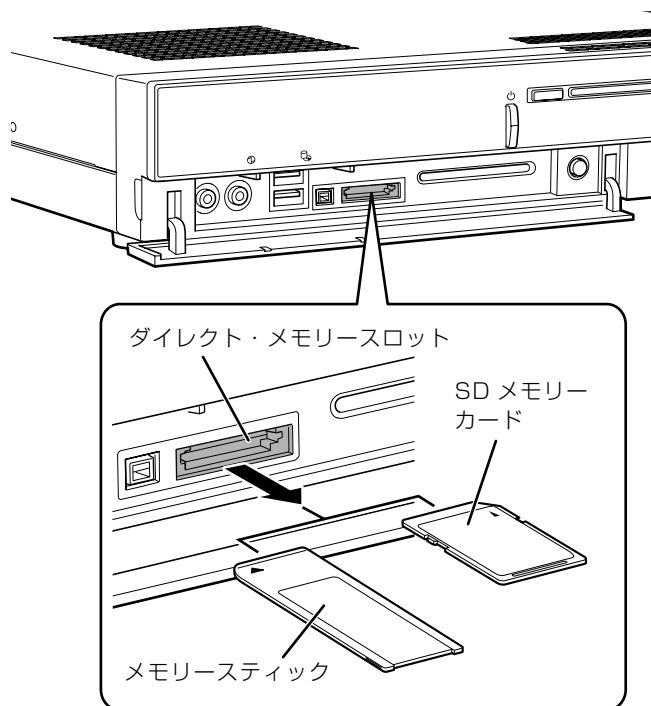
nnn にはお使いのメモリーカードの名称が表示されます。

Point メッセージが表示された場合

「デバイス'汎用ボリューム'を今停止できません。後でデバイスの停止をもう一度実行してください。」というメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックし、メモリーカードにアクセスしていないことを確認してから、もう一度手順 2 からやり直してください。

4 「ハードウェアの取り外し」というメッセージが表示されたら、メモリーカードをパソコンから取り出します。

メモリーカードを一度押すと、少し飛び出します。

■パソコン本体前面

（イラストは機種や状況により異なります）

飛び出したメモリーカードを引き抜きます。

重要 メモリーカードを取り出すときの注意

・ダイレクト・メモリースロットからメモリーカードを取り出す場合は、メモリーカードを強く押さないでください。指を離したときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。
また、メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
・メモリーカードを取り出すときは、ダイレクト・メモリースロットを人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出して、思わぬけがをするおそれがあります。

メモリーカードについては、次のマニュアルもご覧ください。

参照 メモリーカードについて

『画面で見るマニュアル』»「000700」で検索
→「メモリーカードを使う」

テレビを見るためには

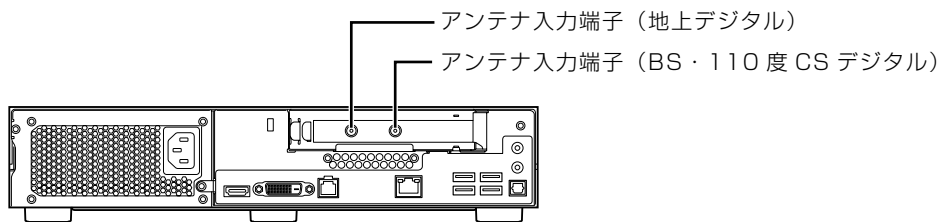
ここでは、このパソコンで視聴できる放送やアンテナとパソコンとの接続例などについて説明します。

テレビを見るために必要な準備

初めてテレビを見るときは、次の作業が必要です。

1. このパソコンで視聴できる放送を確認する（→P.46）
2. 接続方法を確認する（→P.47）
3. 必要なものを用意する（→P.49）
4. アンテナを接続する（→P.51）
5. B-CAS カードを準備する（→P.52）
6. ソフトウェアを準備する（→P.53）

このパソコンのテレビチューナーで視聴できる放送について

ここでは、このパソコンのテレビチューナーで視聴できる放送について説明します。
視聴できる放送は、アンテナケーブルを接続する端子によって異なります。お使いのパソコンに搭載されている端子については、次の図をご覧ください。
このパソコンには、アンテナ入力端子が 2 つあります。

アンテナケーブルを接続した端子と視聴できる放送との関係は、次のとおりです。

- アンテナ入力端子（BS・110 度 CS デジタル）
  BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できます。
  受信契約をすることで、e2 by スカパー！や WOWOW［ワウワウ］デジタル放送を視聴できますが、スカイパーフェク TV！や BS アナログ放送は視聴できません。
- アンテナ入力端子（地上デジタル）
  地上デジタル放送（UHF［ユーエイチエフ］放送）を視聴できます。
  地上デジタル放送を視聴する前に、お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内かどうかを、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2008 年 3 月現在）で確認してください。
  なお、お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられたり、電波が弱かったりする場合は、視聴できないことがあります。

接続例

アンテナケーブルの接続方法は、アンテナの設置形態、壁のアンテナコネクタの形、お使いになるケーブルによって異なります。次の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類を接続してください。

地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴する場合

地上デジタル放送に対応したUHFアンテナとBS・110度CSデジタル放送用アンテナが必要です。
アンテナについては、「デジタル放送用のアンテナについて」（→P.47）をご覧ください。
また、マンションなどで地上アナログ放送と各種デジタル放送用アンテナが混合の場合の接続例は、「マンションなどの共同受信の場合」（→P.48）をご覧ください。

デジタル放送用のアンテナについて

ここでは、地上・BS・110度CSデジタル放送を視聴するためのアンテナについて、説明します。

- 地上デジタル放送用のアンテナについて
  地上デジタル放送を視聴するには、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを、地上デジタル放送の電波送信塔に向けて設置する必要があります。
  地上デジタル放送に対応していないUHFアンテナをお使いの場合は、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナを設置してください。また、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナをお使いの場合でも、アンテナの向きを変更したり、ブースターが必要になったりする場合があります。アンテナの向きを変えると、今まで視聴していた地上アナログ放送が映らなくなることがありますので、そのようなときは、地上デジタル放送用と地上アナログ放送用のアンテナを、別に設置することをお勧めします。
  また、お住まいの地域によって、周波数が異なります。詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

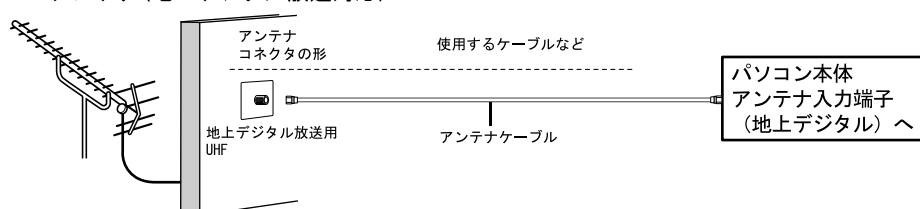
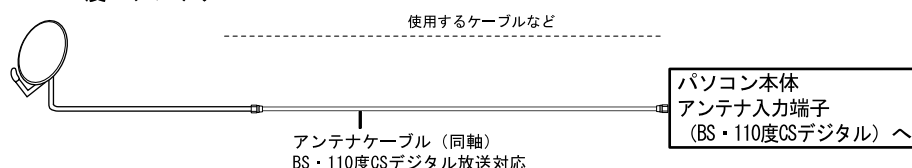
Point **ケーブルテレビをご利用になっている場合**

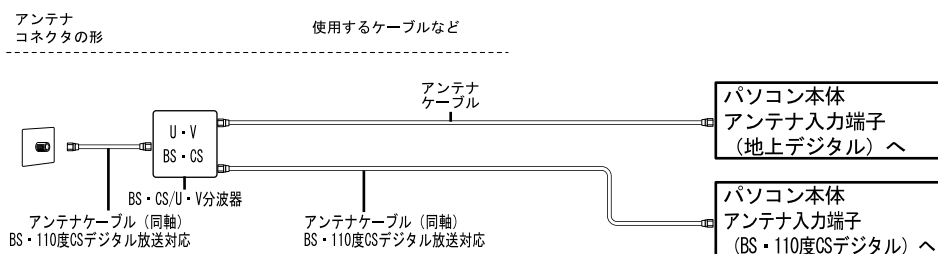
ケーブルテレビをご利用になっている場合は、受信契約をしているケーブルテレビ放送会社によって接続方法が異なります。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。
このパソコンでは、同一周波数パススルー方式と周波数変換パススルー方式に対応しています。

- BS・110度CSデジタル放送用のアンテナについて
  BS・110度CSデジタル放送を視聴するには、BS・110度CSデジタルアンテナを設置する必要があります。アンテナの向きの合わせ方については、アンテナのマニュアルをご覧ください。また、ケーブル、ブースター、分配器などをお使いになる場合は、周波数帯域に対応したもの（BS・110度CSデジタル放送に対応した製品）をお使いください。
  BS・110度CSデジタル放送は、従来のBSアンテナでも視聴できる場合がありますが、お使いの環境によって不安定になることがあります。そのような場合は、BS・110度CSデジタルアンテナをお使いください。また、BSデジタル放送のみ視聴する場合は、BSデジタル放送用アンテナもお使いいただけます。
  なお、スカイパーフェクTV！用のアンテナでは、110度CSデジタル放送を視聴することはできません。
  BS・110度CSデジタル放送用のアンテナは、アンテナ信号だけでなく、アンテナ電源もアンテナケーブル芯線を経由します。アース線とショートした状態にならないようにしてください。

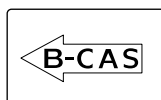
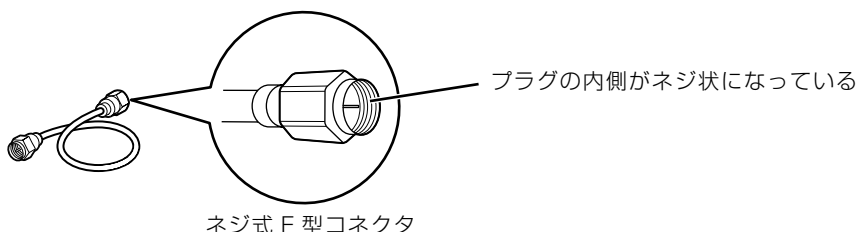
- BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナの電源について
  BS･110 度 CS デジタル放送用アンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をアンテナ電源といいます。ご購入時は「切」（アンテナ電源オフ）に設定されています。BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナをこのパソコン専用に用意している場合のみ、アンテナ電源を「入」（アンテナ電源オン）に設定してください。同じアンテナに接続されている他のデジタル機器からアンテナ電源を供給している場合は、パソコン側は「切」のまま（ご購入時の状態）にしてください。
  設定方法については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『FMV テレビ操作ガイド』
→「テレビを見る」→「テレビを見るための準備をする」→「テレビ視聴･録画用ソフトウェア「DigitalTVbox」を準備する」→「初期設定をする」

マンションなどの共同受信の場合

マンションなどで共同受信の場合は、地上アナログ放送と各種デジタル放送用アンテナが混合になっている場合があります。

必要なものを用意する

必ず用意してください

B-CAS（ビーキャス）カード

アンテナケーブル（別売）

アンテナケーブルは F 型コネクタプラグ付アンテナケーブルをご購入ください。
BS・110 度 CS デジタル放送を視聴する場合は、BS・110 度 CS デジタル放送対応の製品をご購入ください。
アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグ付アンテナケーブルの使用をお勧めします。
なお、ケーブルは適切な長さのものを用意してください。

重要 ネジ式でない F 型コネクタプラグ付アンテナケーブルをお使いの場合

・コネクタの形状（大きさ）によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。
・ネジ式でない F 型コネクタプラグ付きアンテナケーブルは、ネジ式に比べてノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

必要に応じて用意してください

アンテナ線の形状などによって、必要なものが異なります。ここでは、代表的なものを説明します。「接続例」（→P.47）を参考に、用途にあった製品をご購入ください。

分波器

1 本の線に混合されている電波を分ける機器です。
BS・110 度 CS デジタル放送を視聴する場合は、「BS・CS 出力側通電型」の製品をご購入ください。

分配器

1 本のアンテナ線を、複数の端子で使うために分配する機器です。
BS・110 度 CS デジタル放送を視聴する場合は、BS・110 度 CS デジタル放送対応の製品をご購入ください。

混合器

別々の電波を、1 本の線に混合するための機器です。
また、VHF［ブイエイチエフ］/UHF のアンテナ線と BS・CS のアンテナ線を混合できるものや、分波器として使えるものがあります。

ブースター

受信電波が弱い場合に電波を増幅させるための機器です。

アッテネーター

強すぎる電波を減衰して受信できるようにするものです。

アンテナケーブルをパソコン本体に接続する

視聴するテレビ放送のアンテナケーブルを接続してください。視聴しないテレビ放送のアンテナケーブルは接続する必要はありません。

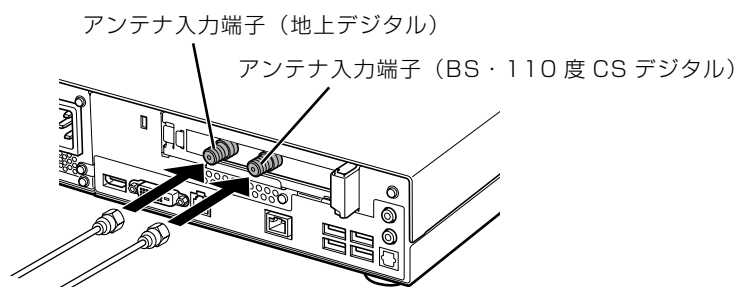
重要 **アンテナケーブルを接続するときの注意**

アンテナケーブルを接続するときは、コネクタの中心にある金属芯を折らないでください。

1 パソコンや接続されている機器の電源が入っている場合は、すべての電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜きます。

電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。
パソコン本体の電源の切り方については、「電源を切る」（→P.23）をご覧ください。

2 アンテナケーブルをパソコン本体のアンテナ入力端子に接続します。

■パソコン本体背面

（イラストは機種や状況により異なります）

Point **デジタル放送のデータ放送で双方向通信をするには**

デジタル放送のデータ放送で双方向通信をする場合は、インターネットや電話回線に接続する必要があります。その場合は、Windowsのセットアップが終わってから、接続してください。
インターネットに接続する場合または電話回線に接続する場合は、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『スタートガイド2　セットアップ編』
→「インターネットを始めるための準備をする」

参照 **電話回線に接続する場合**

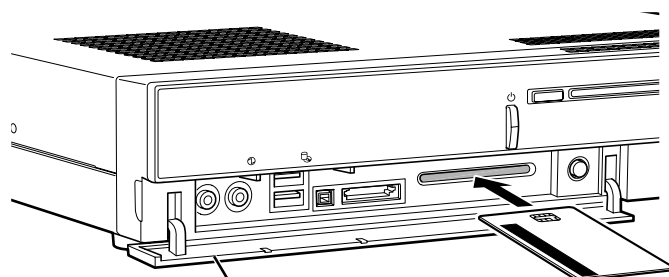
『画面で見るマニュアル』»「000570」で検索
→「内蔵モデムについて」

B-CAS カードをセットする

地上デジタル放送を視聴する場合は、B-CAS カードをセットしてください。

1 フラップの左端部分に指を添えてフラップを開け、B-CAS カードを B-CAS カードスロットにセットします。

「B-CAS」と記載されている面を下側にして、矢印の向きを B-CAS カードスロット側に向け、奥までしっかりとセットします。

■パソコン本体前面

フラップ

「B-CAS」と記載されている面を下側にして、まっすぐにセットします。

（イラストは機種や状況により異なります）

Point　B-CAS カードを取り外す場合

B-CAS カードは通常パソコン本体にセットしたままにしておきますが、取り外す場合は次の手順に従って操作してください。なお、周辺機器を取り付ける場合など、本体カバーを取り外すときは、B-CAS カードも取り外してください。

1. パソコン本体および周辺機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜きます。
   電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。
2. 手で B-CAS カードを引き抜きます。

B-CAS カードについて

B-CAS カードの説明書に記載されている内容をよくお読みください。
B-CAS カードは必ずパソコン本体にセットしてください。B-CAS カードをセットしていないと、地上デジタル放送を視聴することができません。
B-CAS カードについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『FMV テレビ操作ガイド』
→「テレビを見る」→「デジタル放送について」→「デジタル放送を受信するには」→「地上デジタル放送を受信するには」

ソフトウェアを準備する

このパソコンでテレビを見るためのソフトウェアの設定を行います。
このパソコンでテレビを見る方法については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『FMV テレビ操作ガイド』

リモコンを使う

ここでは、リモコンをお使いになる際の注意事項や乾電池の交換方法について説明しています。

重要 添付のリモコンを使用してください

・このパソコンに添付のリモコンを使用して操作してください。
・パソコンを操作する場合、リモコンの PC/TV スイッチを PC 側にスライドしてください。

リモコンについて

リモコンでは次の操作ができます。

- テレビを見る
- テレビを録画する
- DVD や Blu-ray Disc を見る
- 音楽を聞く
- 自動録画した番組を見る
- 自動録画する

詳しくは、次のマニュアルを参照してください。

参照 操作について

『ＦＭＶ テレビ操作ガイド』

『画面で見るマニュアル』
→「4.FMV 使いこなし事例集」

参照 リモコンの各部名称について

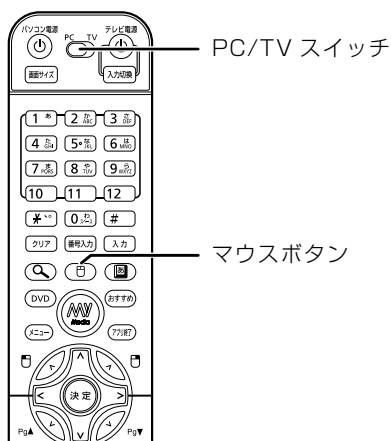
『画面で見るマニュアル』»「000320」で検索
→「各部の名称と働き：リモコン」

リモコンのマウスモードについて

ここでは、リモコンをマウスモードに切り替えるために必要な操作と、マウスモードでできることについて説明します。

リモコンをマウスモードに切り替える

リモコンをマウスモードに切り替える操作を説明します。

1 リモコンのPC/TVスイッチをPC側にスライドします。

2 マウスボタンを押します。

初めてマウスボタンを押してマウスモードに切り替えたときは、「マウスモード操作ガイド」ウィンドウが表示されます。

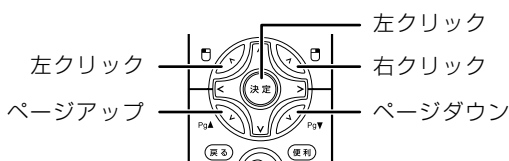
Point 元に戻すには

もう一度、マウスボタンを押してください。マウスボタンを押すたびにモードは切り替わります。切り替えたときのモードは、画面に表示される「カーソルモードに切り替えます」というメッセージで確認できます。

Point マウスモードの設定について

マウスボタンでマウスモードに設定しても、電源を切ったり、再起動やスリープから復帰した場合は、カーソルモードに戻ります。

マウスモードでできること

リモコンをマウスモードに切り替えて、次のボタンを押すとマウスポインタの移動やクリックなど、マウスと同じ操作ができます。ただし、マウスモードではドラッグはできません。

リモコンをお使いになる場合の注意

リモコンをお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

- リモコンをお使いになる場合には、リモコンマネージャーが起動している必要があります。画面右下の通知領域に (リモコンマネージャー) が表示されているか、確認してください。
- 信号が受けやすいように、リモコンをパソコン本体のリモコン受光部に向けてください。
  また、テレビを接続しているときにリモコンでテレビの操作をする場合は、リモコンをテレビのリモコン受光部に向けてください。
- パソコン本体やテレビのリモコン受光部とリモコンの間に障害物がない場所に設置してください。
  パソコン本体を AV ラックに収納する場合は、扉がないものにしてください。
- 直射日光などの強い光があたる場所での使用は避けてください。使用距離が短くなる場合があります。
- リモコンをハロゲンヒーターなどの近くでお使いになると、リモコンが正常に動作しないことがあります。これはハロゲンヒーターなどから放射される赤外線により、リモコンとパソコン本体やテレビのリモコン受光部との通信が妨害されるために起こる現象です。
  このようなときは、パソコン本体またはハロゲンヒーターなどの設置場所を変更してください。
- リモコンをプラズマテレビの近くでお使いになると、リモコンの使用可能範囲が通常の 5m よりも短くなることがあります。これはプラズマテレビの光がリモコン受光部に入ることにより、リモコンとパソコン本体のリモコン受光部との通信が妨害されるために起こる現象です。
  このようなときは、パソコン本体の設置場所や向きを変更してください。

参照 リモコンマネージャーについて

『画面で見るマニュアル』»「200890」で検索
→「リモコンマネージャー」

リモコンに乾電池を入れる

⚠警告

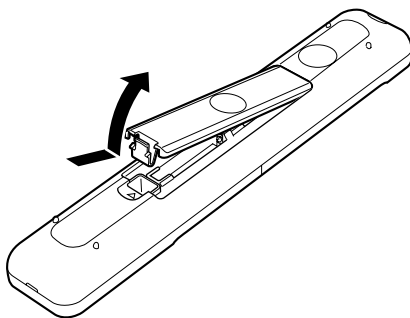
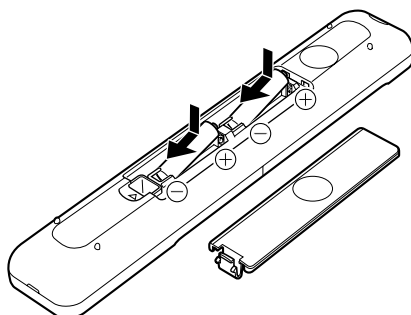
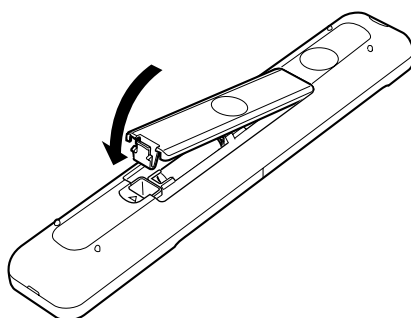
- 乾電池を機器に入れる場合は、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
  間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。
- 充電式電池はお使いにならないでください。
  充分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。
  また、故障の原因となる場合があります。

⚠注意

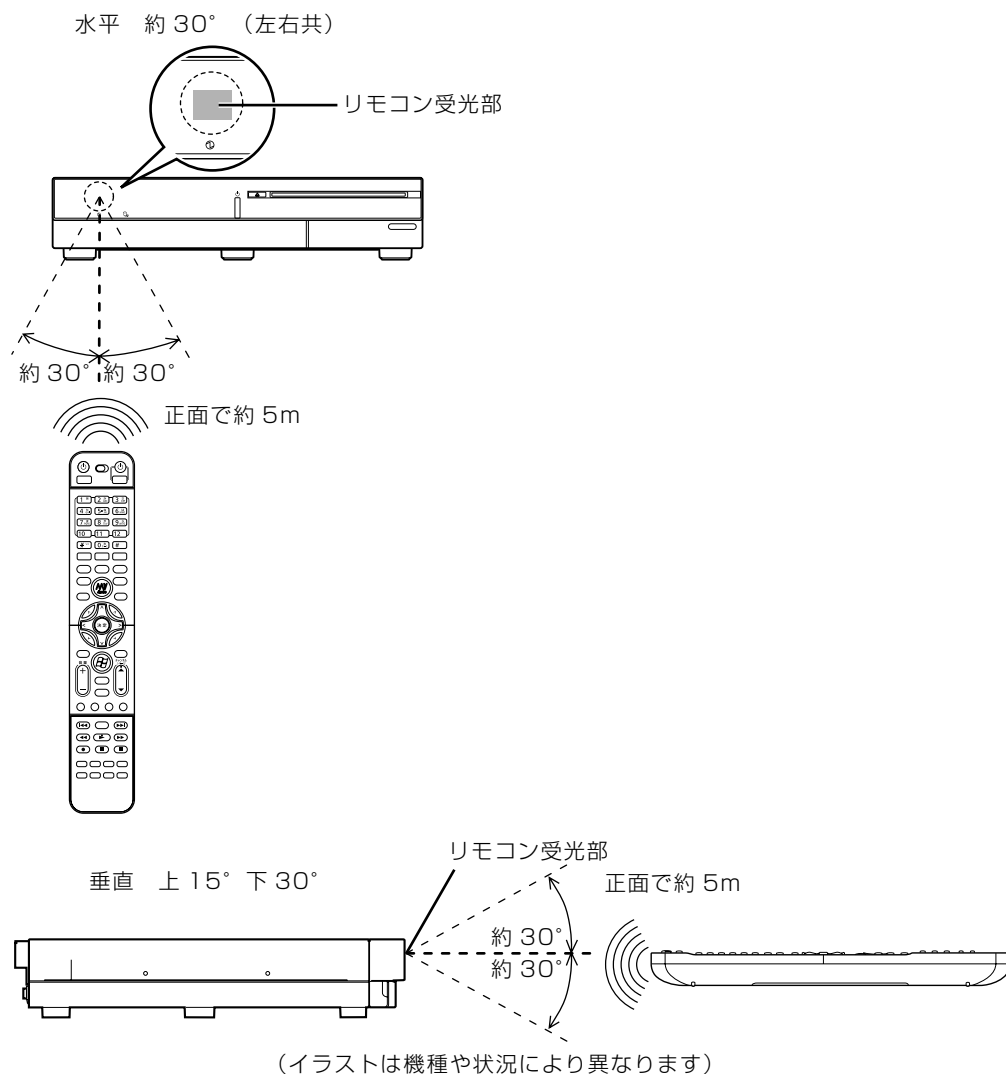
- 電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。
  故障の原因となることがあります。
- 使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液漏れなどの原因となることがあります。
- 使用済み乾電池を充電して使用しないでください。
  液漏れ、破裂の原因になります。

Point 添付されている乾電池は早めに交換してください

ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。

1 リモコンを裏返して電池ボックスのふたを開けます。

2 乾電池の＋（プラス）と－（マイナス）の向きを確かめてから添付のマンガン乾電池（2 本セット）を入れます。

3 電池ボックスのふたを閉めます。

パソコン本体のリモコン受光部使用可能範囲

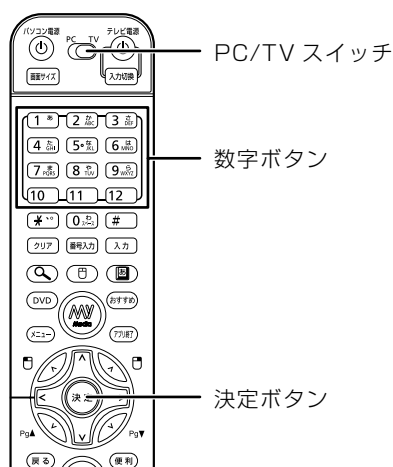
パソコン本体のリモコン受光部使用可能範囲は、パソコン本体を設置している環境によって異なります。次の図を参考に、パソコン本体のリモコン受光部が隠れないように設置してください。

（イラストは機種や状況により異なります）

市販のテレビでリモコンを使う

このパソコンに添付のリモコンは、HDMI［エイチディーエムアイ］入力端子を搭載したテレビのリモコンコードを送出できます。対応しているテレビのメーカー名と番号は、次のとおりです。

メーカー名	番号
シャープ株式会社	1
ソニー株式会社	2
松下電器産業株式会社	3
株式会社 東芝	4
株式会社 日立製作所	5
日本ビクター株式会社	6
三菱電機株式会社	7
パイオニア株式会社	8

ただし、お使いのテレビによっては、対応していない場合があります。

1 リモコンのPC/TVスイッチをTV側にスライドします。

2 決定ボタンを押しながら、数字ボタンでお使いのメーカーの番号を押します。

3 テレビのチャンネルを切り替えるなどして、リモコンが正しく動作することを確認します。

重要 リモコンの乾電池を交換した場合

リモコンの乾電池を取り出すと、設定が無効になります。もう一度、設定し直してください。

重要 正しく動作しない場合

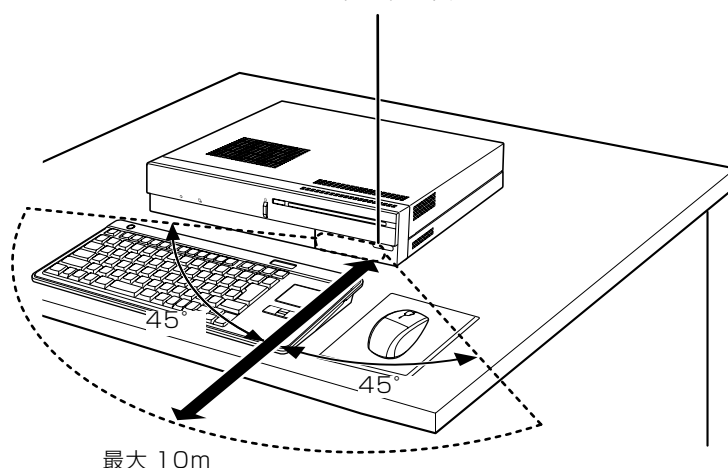
リモコンが正しく動作しない場合は、いったんすべてのボタンから指を離してから決定ボタンを押してください。その後、もう一度設定し直してください。

8 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使う

ここでは、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID を設定する方法などを説明します。

使用に適した配置

ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。
信号を受けるキーボード／マウスアンテナは、パソコン本体に搭載されています。
ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスは、次のような場所でお使いください。

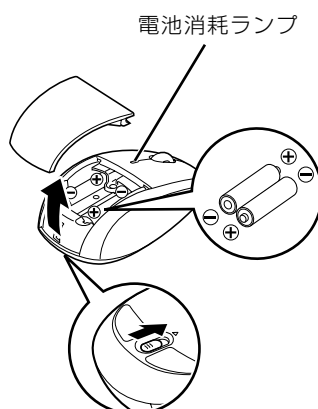
- 机の上など平らで安定した場所
- 操作に充分なスペースが取れる場所
- パソコン本体から最大 10m（3m 以内を推奨）、左右約 45 度の範囲

ワイヤレスマウスを準備する

このパソコンに添付されているワイヤレスマウスに初めて乾電池を入れる方法について説明します。

ワイヤレスマウスに乾電池を入れる

1 ワイヤレスマウスを、パソコン本体のキーボード／マウスアンテナから1m の範囲内に置きます。

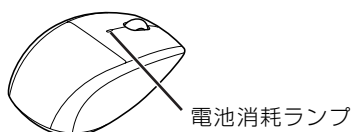
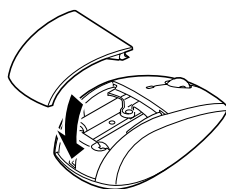
2 電池ボックスのふたを開け、添付のアルカリ乾電池（4本セット）を２本入れます。

乾電池を入れるときには、マウスのボタンを押さないように注意してください。正常に動作しなくなる場合があります。

乾電池を入れたときに電池消耗ランプが約 10 秒間緑色に点灯します。

Point 乾電池を入れるときの注意

- 必ずアルカリ乾電池を使用してください。アルカリ乾電池をお使いにならないと、電池寿命が極端に短くなります。
- ＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意して、表示どおりに入れてください。

Point 電池消耗ランプが緑色に点灯しない場合

ワイヤレスマウスに乾電池を入れても、電池消耗ランプが緑色に点灯しない場合は、何度か乾電池を入れ直してください。

3 電池ボックスのふたを閉めます。

これでマウスの ID 設定も自動的に完了し、マウスが使えるようになります。

Point 正常に動作しない場合

ワイヤレスマウスが使用できなかったり、誤動作をする場合は、「ID 設定をする」（→P.68）をご覧になり、ID の設定をやり直してください。

Point 乾電池の寿命について

・ご購入時に添付されている乾電池は、すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。
・乾電池を交換する目安は、1 日 2 時間の使用で 6ヶ月です。
ただし、お使いの状況によって大幅に変わります。1 日 2 時間連続して使用した場合は、電池寿命が約 45 日程度になります。

Point ワイヤレスマウスの ID 設定について

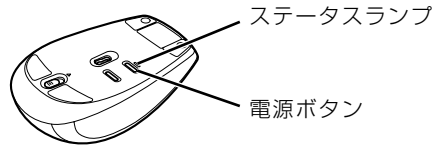
・通常お使いになる場合ワイヤレスマウスの ID は、一度設定が完了すれば再度設定し直す必要はありません。
・ワイヤレスマウスの ID は、パソコンと 1 対 1 で設定する必要があります。2 台以上のパソコンをお使いになる場合は、「ID 設定をする」（→P.68）をご覧になり、ID の設定をやり直してください。

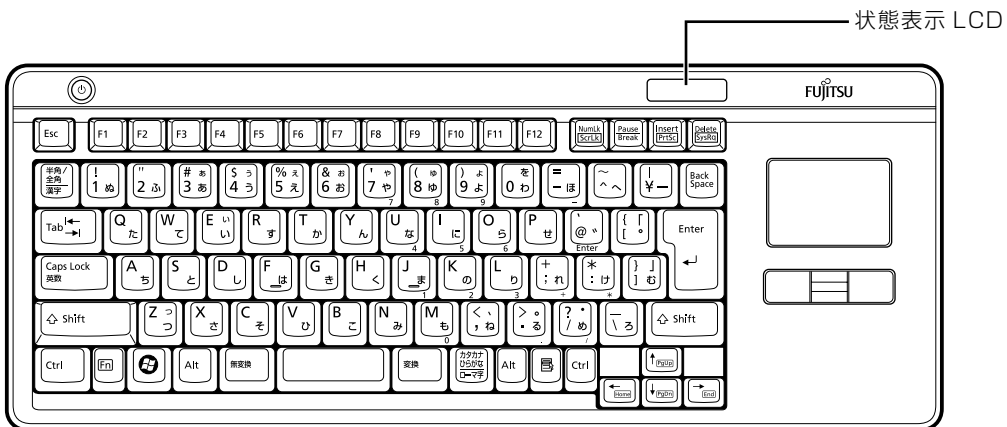
お使いになるときの注意事項

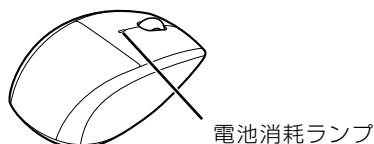
このパソコンに添付されているワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスを使うときの注意事項について説明します。

- 次のような環境では、周囲からの電波を受けて、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスがうまく動作しないことがあります。設置場所を変えるなど、通信の妨げとなる原因を取り除いてください。
  - ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの送信部とキーボード／マウスアンテナとの距離が離れすぎている場合
  - パソコン本体とワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの間に、電気・電子機器や金属製のものを置いている場合
  - パソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている場合
  - 周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している場合
  - パソコン本体周辺に金属製の物（スチール製の机、金属部分がある机）がある場合
  - 周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある場合
（パソコンを複数台でお使いの場合や、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合、または無線局の近隣でお使いの場合など）
  - パソコン本体を電子レンジの近くに置いている場合
  - ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用したパソコンを近くで使用している場合
- ワイヤレスキーボードは、電池の消耗を抑えるため、キーを押さない状態が約 10 分続くと、状態表示 LCD［エルシーディー］に何も表示されなくなり、スリープモードに入ります。スリープモードから復帰する際、最初に押したキーが無効になることがありますが、これは故障ではありません。もう一度、最初に押したキーを押してください。
- **必ず 1.5V のアルカリ乾電池をお使いください。**
マンガン乾電池、充電式電池などは、お使いにならないでください。充分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。また故障の原因となる場合があります。
- **ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。**
すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。
- **乾電池の寿命の目安は、毎日 2 時間の使用で約 6ヶ月です。**
ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。
乾電池の交換時には、市販の単 3 型アルカリ乾電池 2 本をご使用ください。
- **パソコンを操作していないときは、なるべく動かさないようにしてください。**
パソコン本体の電源が入っていなくても、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが動作していると乾電池が消費されます。また、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの上に物を載せたままにしないようにご注意ください。
- **長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。**
ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスを使用せずに放置していても、乾電池が消費されます。長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

ワイヤレスマウスの乾電池の消耗を抑えるためには　Column

ワイヤレスマウスを使用しないときは、ステータスランプが消灯するまで約 1 秒間電源ボタンを押し、電源を切っておくことをお勧めします。乾電池の消耗を抑えることができます。

- **ワイヤレスキーボードの乾電池の消耗状態は、ワイヤレスキーボードの状態表示 LCD に表示されるインジケータをご覧ください。消耗している場合はお早めに新しい乾電池に交換してください（表示は目安です）。**

  ワイヤレスキーボードの乾電池が完全に消耗している場合は、状態表示 LCD には何も表示されません。

- **ワイヤレスマウスの乾電池の消耗状態は、ワイヤレスマウスの電池消耗ランプをご覧ください。消耗している場合はお早めに新しい乾電池に交換してください（表示は目安です）。**

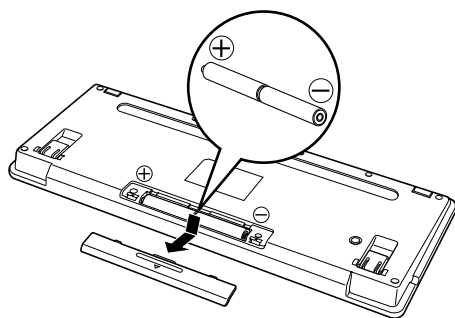
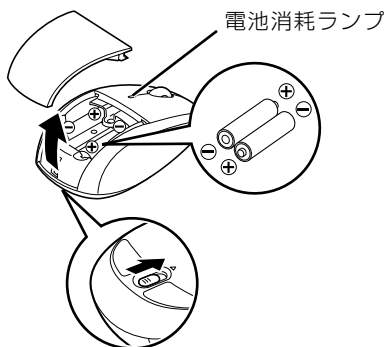
  ワイヤレスマウスの乾電池が消耗している場合は、電池消耗ランプが赤色に点滅します。

乾電池を交換する

⚠注意

- 電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。
  故障の原因となることがあります。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用せずに、2 本の新品乾電池と交換してください。
  乾電池の液漏れや破裂等により、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液漏れなどの原因となることがあります。
- 使用済み乾電池を充電して使用しないでください。
  液漏れ、破裂の原因になります。

1 ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウス（光学式）の電池ボックスのふたを開け、アルカリ乾電池を 2 本ずつ入れます。

ワイヤレスキーボードは、裏返して電池ボックスのふたを開けます。
乾電池を入れるときには、キーボードのキーやマウスのボタンを押さないように注意してください。正常に動作しなくなる場合があります。

■ワイヤレスキーボード

■ワイヤレスマウス（光学式）

ワイヤレスマウスは、乾電池を入れたときに電池消耗ランプが約 10 秒間緑色に点灯します。

2 電池ボックスのふたを閉めます。

Point 乾電池の使用推奨期限を確認してください

乾電池が使用推奨期限を過ぎていないか、確認してお使いください。

Point ワイヤレスキーボードに消耗した乾電池を入れた場合

状態表示 LCD の[電池アイコン]が約 10 秒間点滅した後消灯し、キーボードは使用できなくなります。新しい乾電池を入れ直してください。

ID 設定をする

このパソコンに添付されているワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスのID設定方法について説明します。ID 設定は、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが使えなくなった場合や、周囲や近隣で複数台のパソコンを使っていて誤動作する場合に行ってください。通常は設定の必要はありません。
ID は、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの電波の混信や誤動作を避けるため、対となっているパソコン本体との間でしかワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが動作しないように設定する識別子です。
また、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは、それぞれ固有の ID を使用しているため、別々に設定が必要です。

重要 ID 設定をするときの注意

・次のマニュアルをご覧になり、パソコンを設置している環境を確認してください。

参照

『安心してお使いいただくために』

参照

『スタートガイド1　設置編』

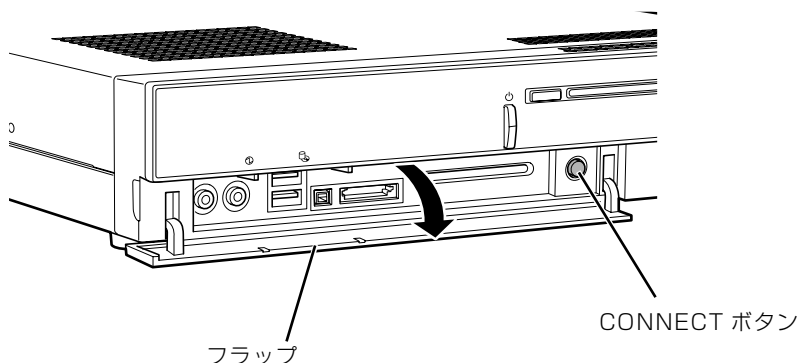
・パソコンの電源を入れた状態で設定してください。パソコンの電源が入っていないときや、省電力機能が働いているときは設定することはできません。
・乾電池の交換などで乾電池を抜いても、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID 設定値は保持されます。再設定する必要はありません。
・ID 設定を行う場合は、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウス両方の設定を行ってください。

Point 2 台以上のパソコンを設置する場合

2 台以上のパソコンを設置する場合は、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの ID 設定を、1 台ずつ設定してください。
・ワイヤレスキーボードの設定
1. 1 台目のパソコンの電源ケーブルをコンセントに差し込みます。
2. 1 台目のパソコンのキーボードを、パソコン本体のキーボード／マウスアンテナから 1m の範囲内に置きます。
3. キーボードの【Shift】を押します。
キーボードの状態表示 LCD のすべてのアイコンが数回点滅します。
4. 2 台目のパソコンの電源ケーブルをコンセントに差し込みます。
5. 2 台目のパソコンのキーボードに対して、手順 2 ～ 3 を行います。
設置するすべてのパソコンに対して、同じように設定してください。すべてのパソコンの設定が完了したら、キーボードが使えるようになります。
なお、キーボードが正常に操作できない場合は、「ワイヤレスキーボードの ID 設定をする」（→ P.69）をご覧になり、ID を設定し直してください。
・ワイヤレスマウスの設定
「ワイヤレスマウスの ID 設定をする」（→ P.71）をご覧になり、ID を設定してください。

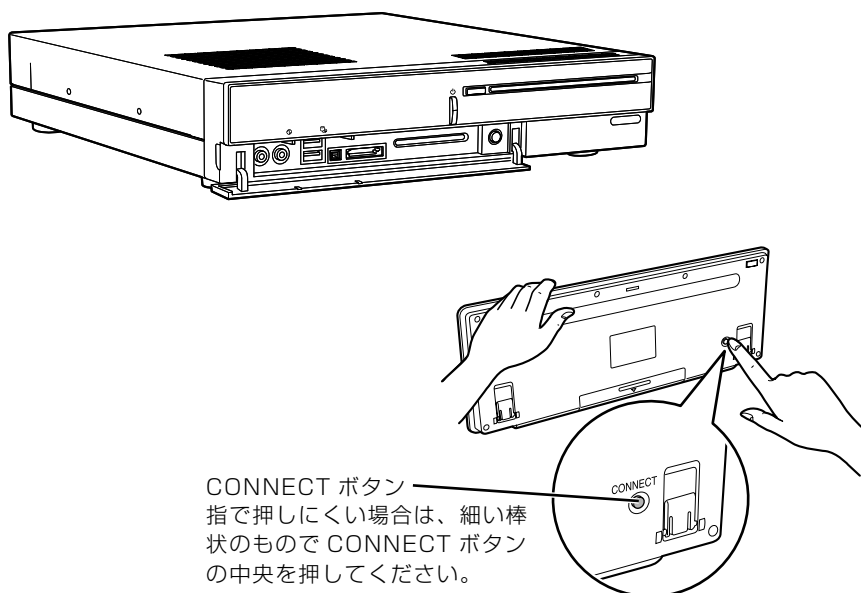
ワイヤレスキーボードの ID 設定をする

1 フラップの左端部分に指を添えてフラップを開け、CONNECT［コネクト］ボタンの位置を確認しておきます。

CONNECT ボタンはまだ押さないでください。

■パソコン本体前面

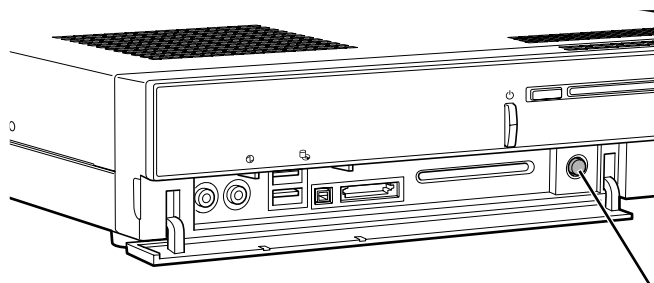
（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 ワイヤレスキーボード裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押し、すぐに離します。

CONNECT ボタンを押す際は、キーボードの他のキーを押さないようにご注意ください。

キーボード上面の状態表示 LCD のすべてのアイコンが点灯し、設定モードに入ります。

3 キーボードの CONNECT ボタンを押してから約 10 秒以内に、パソコン本体の CONNECT ボタンを 1 回押します。

CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

■パソコン本体前面

キーボード上面の状態表示 LCD が数回点滅した後、ID が自動的に設定されます。

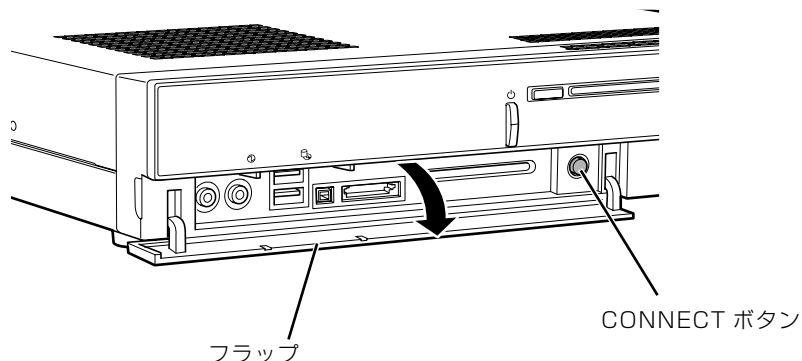
4 ワイヤレスキーボードを操作します。

ワイヤレスキーボードの などを押して正常に動作すれば設定完了です。キーボードが正常に動作しない場合は、一度乾電池を出し入れし、手順 2 からもう一度設定を行ってください。

続いて、ワイヤレスマウスの ID 設定を行いましょう。

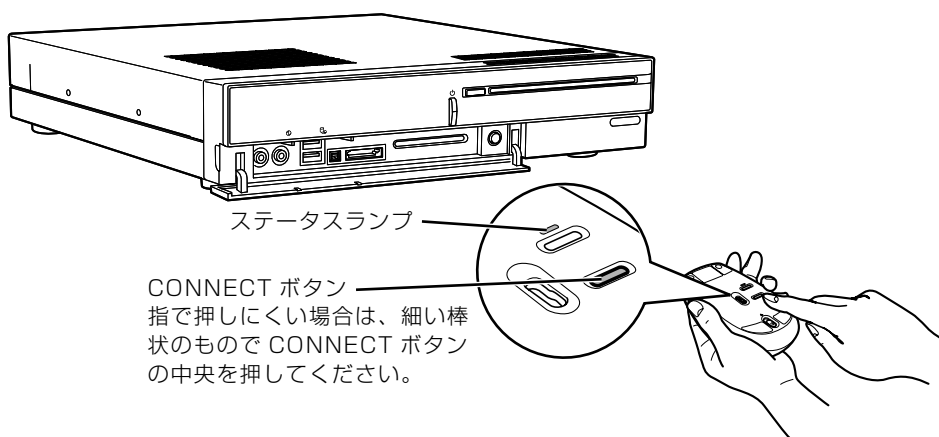
ワイヤレスマウスの ID 設定をする

1 フラップの左端部分に指を添えてフラップを開け、CONNECT ボタンの位置を確認しておきます。

CONNECT ボタンはまだ押さないでください。

■パソコン本体前面

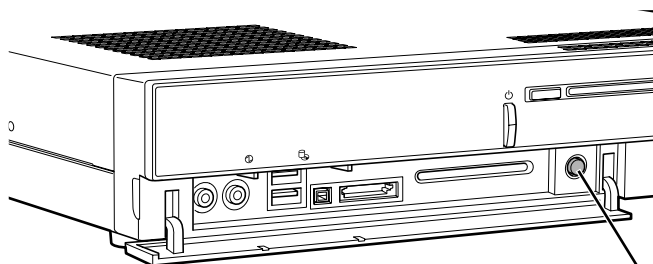
（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 ワイヤレスマウス裏面の CONNECT ボタンを指で 1 秒以上押します。

CONNECT ボタンを押す際は、マウスの他のボタンを押さないようにご注意ください。

マウスの裏面にあるステータスランプが緑色に点滅し、設定モードに入ります。

3 ワイヤレスマウスの CONNECT ボタンを押してから約 10 秒以内に、パソコン本体の CONNECT ボタンを 1 回押します。

CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

■パソコン本体前面

CONNECT ボタン

ワイヤレスマウス裏面のステータスランプの点滅が停止し、ID が自動的に設定されます。

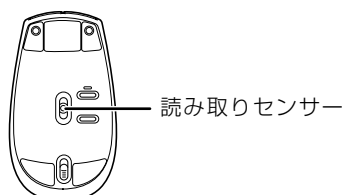
4 ワイヤレスマウスを操作します。

マウスを動かし、正常にマウスポインタが動けば設定完了です。

Point 正常に動作しない場合

・一度乾電池を出し入れし、手順 2 からもう一度設定を行ってください。
・CONNECT ボタンを押した後に、ステータスランプの点滅が続く場合は、ID の設定が正しくできていません。点滅が終わるまで約 15 秒間待ち、手順 2 からもう一度設定を行ってください。

光学式マウスについて

光学式マウスには、裏面に光学式読み取りセンサーが付いています。マウスを机の上などですべらせると、マウス裏面から出された赤外線の陰影を光学式センサーで検知し、画面のマウスポインタが動くようになっています。

Point **赤外線について**

マウスの移動検知に赤外線を使用しています。赤外線は目に見えない光のため、赤く光りません。

光学式マウスをお使いになる上での注意事項

光学式マウスは、机の上だけでなく、紙の上などでもお使いになることができますが、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。

- 鏡やガラスなど、反射しやすいもの
- 光沢があるもの
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの（木目調など）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

光学式センサーは机などと接触せずにマウスの動きを検知しているため、特にマウスパッドなどの必要はありませんが、マウス本体は机などと接触しているため、傷が付きやすい机やテーブルの上では、マウスパッドなどをお使いになることをお勧めします。
マウスパッドをお使いになる場合は、明るい色の無地のマウスパッドをお使いになることをお勧めします。光学式マウス対応のマウスパッドも市販されています。

パソコンの取り扱い

LAN（有線 LAN）機能を使う

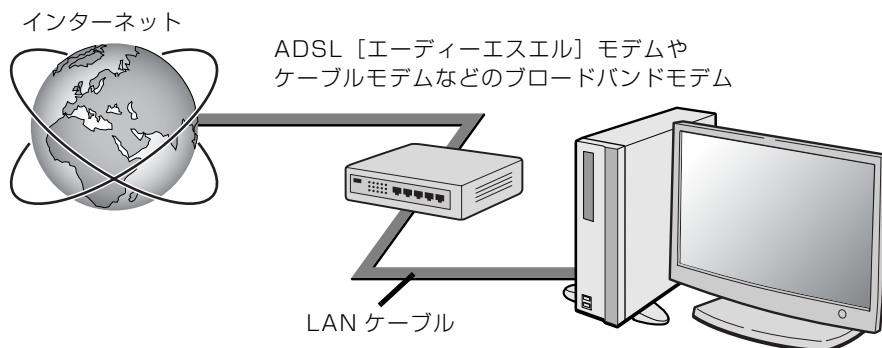
LAN［ラン］（有線 LAN）機能を使うための、LAN コネクタについて説明します。
ここでは、主にインターネットに接続する場合を例に説明します。

このパソコンの LAN 機能

このパソコンでは、次のものが標準で準備されています。

- LAN コネクタ（LAN ケーブル用）
  1000BASE-T［ベースティー］/100BASE-TX［ベースティーエックス］/10BASE-T 準拠

インターネットを使うときの接続例

次のイラストは、パソコンとブロードバンドモデムを LAN ケーブルで接続している一例です。ネットワークの形態によって使用する機器が異なりますので、ネットワークに合ったものをご購入ください。

ネットワークの種類やしくみについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照 **ネットワークの種類やしくみについて**

『画面で見るマニュアル』»「390010」で検索
→「ネットワークの種類やしくみ」

LAN（有線 LAN）をお使いになる場合

LAN（有線 LAN）をお使いになる場合に必要なものなどを説明します。
ここでは、ブロードバンドインターネットにパソコンを接続する例を説明します。

必要なものを用意する

このパソコンの他に、次のものが必要です。

- ブロードバンドモデム
  ADSL モデム、ケーブルモデムなど、インターネットの回線や、プロバイダにより異なります。
- ルーター
  異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークの中を流れるデータをきちんと目的の場所（パソコンやプリンタなど）に届けるための機器です。
  一般的には、LAN と外部のネットワーク（インターネット）を結ぶために使われます。
  複数台のパソコンを接続する場合は必要です。ブロードバンドモデムに搭載されている場合もあります。
  なお、1000BASE-T の通信を行うためには、1000BASE-T に対応したものを使用してください。
- ハブ
  ネットワーク上でケーブルを中継するための機器です。
  複数台のパソコンを接続する場合に必要です。ルーターに搭載されている場合もあります。
  1000BASE-T の通信を行うためには、1000BASE-T に対応したものを使用してください。
- LAN ケーブル（ストレートタイプ）
  お使いになるネットワークのスピードに合ったものが必要です。接続するネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、必要なものをご用意ください。
  1000BASE-T の通信を行うためには、エンハンストカテゴリ 5（カテゴリ 5E）以上の LAN ケーブルを使用してください。

LAN を使うための設定

LAN をお使いになるためには、必要な機器を LAN ケーブルで接続し、ネットワークの設定を行います。インターネットに接続する場合は、プロバイダより提供されるマニュアルに従って、機器の設定をしてください。

接続、設定の方法については、次のマニュアルでも説明しています。

参照 **有線 LAN の設定**

『画面で見るマニュアル』»「000100」で検索
→「LAN を使う」

無線 LAN 機能を使う

無線 LAN 搭載機種のみ

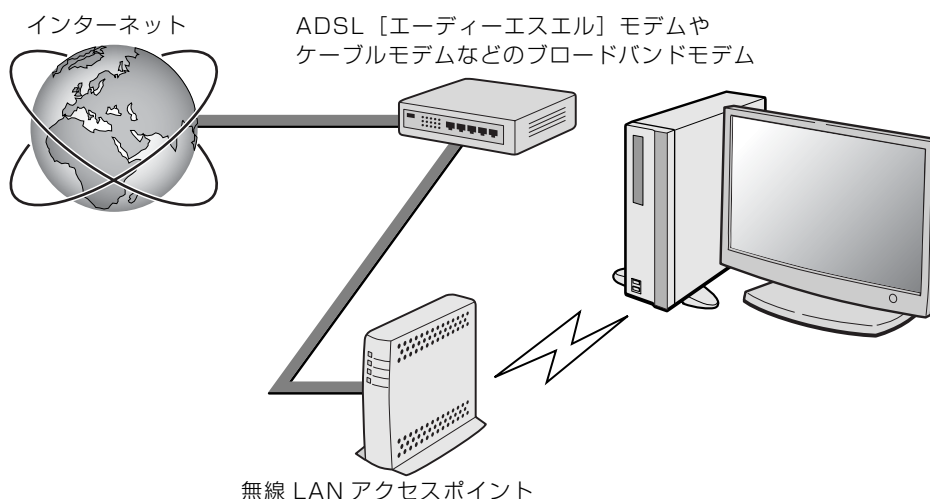
無線 LAN［ラン］機能について説明します。
ここでは、主にインターネットに接続する場合を例に説明します。

このパソコンの無線 LAN 機能

無線 LAN 搭載機種の場合、次の規格の無線 LAN(Wi-Fi®[ワイファイ]準拠)が搭載されています。

IEEE［アイトリプルイー］802.11a	IEEE802.11b	IEEE802.11g
−	○	○

インターネットを使うときの接続例

次のイラストは、ブロードバンドインターネットと接続している一例です。ネットワークの形態によって使用する機器が異なりますので、ネットワークに合ったものをご購入ください。

無線 LAN でインターネットに接続するには、無線 LAN アクセスポイントを利用する「インフラストラクチャ通信」という方式で通信します。
ブロードバンドモデムに電波を送受信する無線 LAN アクセスポイントを接続し、無線 LAN アクセスポイントとパソコンの間を、LAN ケーブルの代わりに電波で送受信します。

ネットワークの種類やしくみについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照 ネットワークの種類やしくみについて

『画面で見るマニュアル』»「390010」で検索
→「ネットワークの種類やしくみ」

無線 LAN をお使いになる場合

必要なものを用意する

無線 LAN を使うためには、このパソコンの他に次のものが必要です。

- 無線 LAN アクセスポイント
  LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して情報のやり取りを行う無線 LAN では、「無線 LAN アクセスポイント」と呼ばれる機器が必要となります。無線 LAN アクセスポイントには主に次のものがあります。
  - ワイヤレス LAN ステーション
  - ワイヤレスブロードバンドルーター

無線 LAN を使うための設定

無線 LAN を使うには、無線 LAN アクセスポイントとパソコンの設定を行います。
初めて設定する場合は、使用するネットワークの情報やデータの暗号化などを、無線 LAN アクセスポイントとパソコンの両方に設定します。
すでにネットワークで使われている無線 LAN アクセスポイントに接続する場合は、無線 LAN アクセスポイントと同じ設定になるように、パソコンを設定します。

無線 LAN については、次のマニュアルをご覧ください。

参照 無線 LAN の設定

『画面で見るマニュアル』»「001000」で検索
→「無線 LAN を使う」

参照 別売の無線 LAN カードなどを使う

『画面で見るマニュアル』»「001020」で検索
→「別売の無線 LAN アダプタを使う」

参照

『スタートガイド2　セットアップ編』
→「インターネットを始めるための準備をする」

市販のテレビとパソコンを連動する

ここでは、お使いになられている市販のテレビとこのパソコンが連動できることについて説明します。
リモコンは、市販のテレビに添付されているものをご使用ください。

Point このパソコンに対応しているテレビ

このパソコンに対応しているテレビについては、FMV の製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/teo/）の「最新の接続情報については、こちらをご覧ください。」→「動作確認済テレビ」をご覧ください。

市販のテレビとの連動機能を設定する

ここでは、市販のテレビとこのパソコンを連動させる設定方法について説明します。

1 電源ケーブルなどが正しく接続されていることを確認します。また、パソコンとテレビが、HDMI［エイチディーエムアイ］ケーブルで接続されていることを確認します。

接続方法については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『スタートガイド1　設置編』
→「市販のテレビ／ディスプレイを接続する」

2 テレビの電源オフ連動機能および電源オン連動機能を「有効」または「オン」に設定します。この機能は HDMI のコントロール信号を使った機能です。

ここでは、パナソニック製ビエラリンク対応「ビエラ」（PZ800 シリーズ）の場合を例に説明します。

1. 「ビエラ」に添付のリモコンで「メニュー」ボタンを押します。
2. カーソルボタンで、「設定する」→「初期設定」→「接続機器関連設定」→「ビエラリンク（HDMI）設定」の順に選択します。
3. カーソルボタンで「ビエラリンク（HDMI）制御」･「電源オフ連動」･「電源オン連動」を「する」に設定します。

設定メニューの構成や文字等については商品によって異なる場合があります。詳しくは、お使いのテレビに添付のマニュアルをご覧ください。

3 テレビの入力を、このパソコンが接続されている HDMI に切り替えます。

4 パソコンの電源を入れます。

HDMI に切り替えた後、パソコンの画面が表示された場合は、パソコンを再起動してください。

これで市販のテレビとパソコンを連動させる設定は終了です。

Point 市販のテレビに接続している、HDMI 入力端子の場所を変えた場合

市販のテレビに接続している、HDMI 入力端子の場所を変えた場合は、次の操作をしてください。
ここで説明している機能は、このパソコンとテレビを HDMI ケーブルで接続している場合にお使いになれます。

1. テレビの HDMI 入力を、このパソコンが接続されている HDMI 入力に切り替えます。
2. パソコンの電源を入れます。
   HDMI に切り替えた後、パソコンの画面が表示された場合は、パソコンを再起動してください。

Point 連動機能の設定を無効にする場合

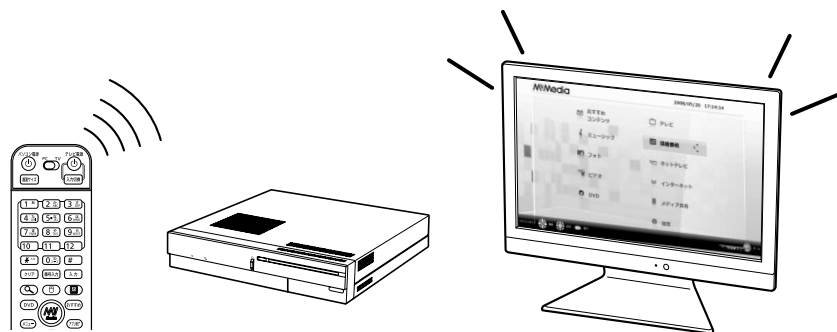
市販のテレビとこのパソコンを連動させる設定を無効にすると、パソコンに添付されているリモコンが正常に動作しない場合があります。リモコンが正常に動作しない場合は、次の手順に従って操作してください。

1. パソコン本体の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜きます。
   電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。
2. テレビのリンク制御・電源オフ連動および電源オン連動を「無効」「オフ」「しない」「いいえ」などに設定します。
   ここでは、パナソニック製ビエラリンク対応「ビエラ」(PZ800 シリーズ)の場合を例に説明します。
   1.「ビエラ」に添付のリモコンで「メニュー」ボタンを押します。
   2. カーソルボタンで、「設定する」→「初期設定」→「接続機器関連設定」→「ビエラリンク(HDMI)設定」の順に選択します。
   3. カーソルボタンで「ビエラリンク(HDMI)制御」・「電源オフ連動」・「電源オン連動」を「しない」に設定します。

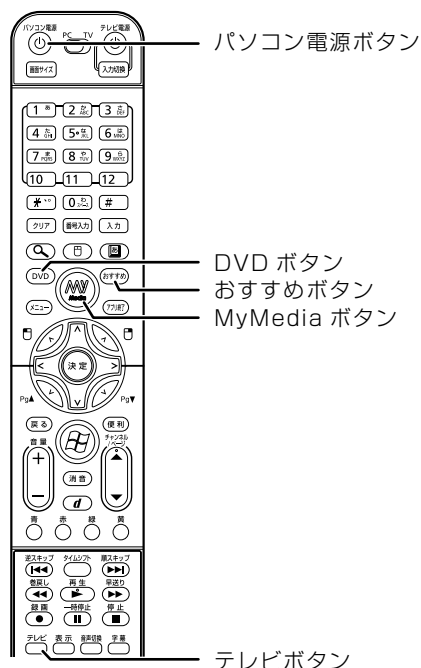
   設定メニューの構成や文字等については商品によって異なる場合があります。詳しくは、お使いのテレビに添付のマニュアルをご覧ください。
3. 電源ケーブルをコンセントに接続します。

なお、テレビの連携機能の設定を無効にすると、HDMI で接続している他の機器の動作に影響があります。詳しくは、市販のテレビのマニュアルをご覧ください。

「ワンタッチ画面表示」について

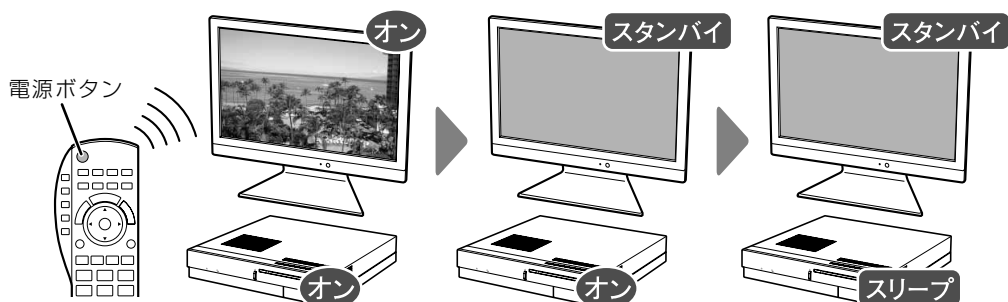
このパソコンに添付されているリモコンの「MyMedia［マイメディア］」などのボタンを押すと、市販のテレビとパソコンに電源が入りパソコン画面が表示されます。電源が入っている場合、自動的にパソコン画面が表示されます。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

「ワンタッチ画面表示」で使えるボタンは、次のとおりです。

- パソコン電源ボタン
- MyMedia ボタン
- おすすめボタン
- DVD ボタン
- テレビボタン

「電源オフ連動」について

ここでは、「電源オフ連動」の機能紹介と、「電源連動」を設定する方法について説明します。

「電源オフ連動」について

市販のテレビのリモコンで電源オフにすると、市販のテレビはスタンバイ状態になり、それに伴いこのパソコンも連動してスリープ状態になります。

（イラストは機種や状況により異なります）

「電源連動」を設定する

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「@ メニュー」→「@ メニュー」の順にクリックします。

「@ メニュー」ウィンドウが表示されます。

2 「@メニュー」上部の「名前でさがす」をクリックし、左側にあるカテゴリの中から「パソコンの設定」をクリックします。

3 「TEO Utility［テオユーティリティ］」をクリックします。

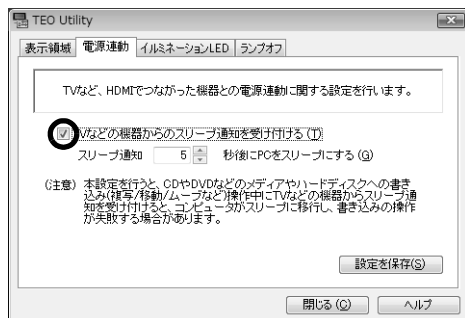
「TEO Utility」が起動します。

Point **「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合**

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「続行」をクリックしてください。「続行」が表示されずに「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックしてください。

4 「電源連動」タブをクリックします。

5 「TV などの機器からのスリープ通知を受け付ける」の□をクリックし、☑にします。

「スリープ通知」は、0 ～ 99 秒の間で設定ができます。

（画面は機種や状況により異なります）

Point　「TEO Utility - 警告」ウィンドウが表示された場合

「TEO Utility - 警告」ウィンドウが表示された場合は、「設定します」をクリックしてください。

6 「設定を保存」をクリックします。

7 「閉じる」をクリックします。

市販のテレビの電源を切る場合、ハードディスク／ CD アクセスランプの点灯中は、電源を切らないでください。CD や DVD および Blu-ray Disc などの書き込みを失敗したり、パソコンが正常に動作しないことがあります。

「テレビリモコン連携」について

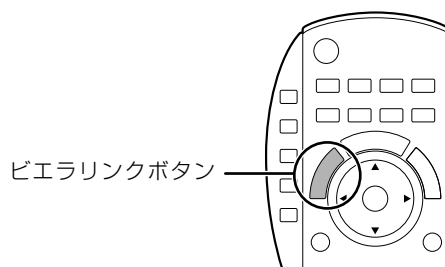
ここでは、市販のテレビのリモコンでこのパソコンの「MyMedia」を使用する方法について説明します。
市販のテレビのリモコンで使える機能は、おすすめのコンテンツ、ミュージック、フォト、ビデオ、録画番組、メディア共有、設定のみです。その他の機能は、このパソコンに添付のリモコンをお使いください。

Point　この機能が利用できるテレビ

パナソニック製テレビとシャープ製テレビの一部で利用できます（2008 年 6 月現在）。
詳しくは、FMV の製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/teo/）の「最新の接続情報については、こちらをご覧ください。」→「動作確認済テレビ」をご覧ください。

パナソニック製のテレビのリモコンからパソコンを操作する

ここでは、パナソニック製テレビ ビエラ PZ800 シリーズにこのパソコンの画面を表示して、ビエラに添付のリモコンで操作する方法を説明します。

1 ビエラのリモコンで「ビエラリンク」ボタンを押します。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 ビエラのテレビ画面の左側に表示されるメニューから、「パソコンを操作する」を選択します。

「パソコンを操作する」を選択すると、このパソコンの「MyMedia」の画面がビエラのテレビに表示され、「MyMedia」の一部の機能を楽しむことができます。

Point 「おすすめコンテンツ」を起動してから「MyMedia」の他の機能を起動する場合

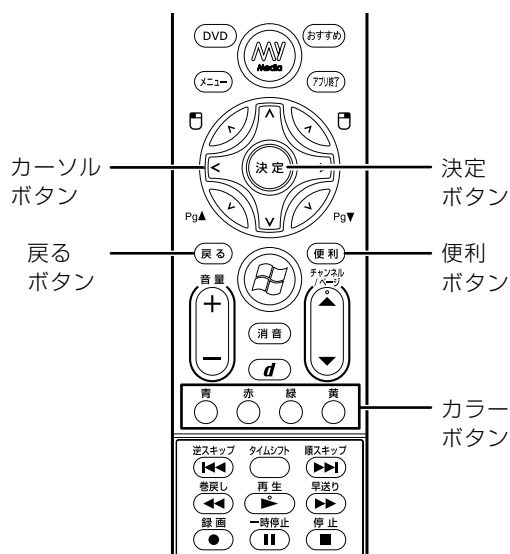
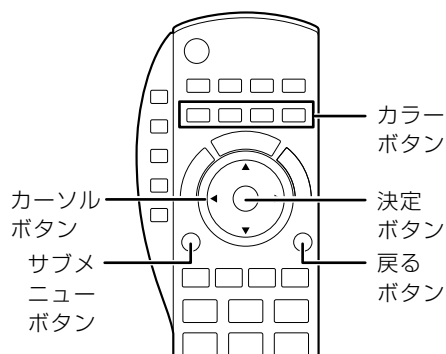
手順 1 からもう一度「MyMedia」の画面を表示してください。

リモコンのボタン操作について

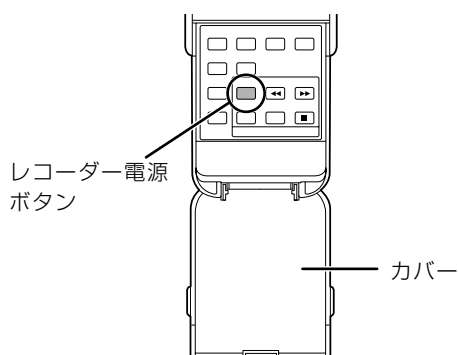
「MyMedia」の画面上に表示されるリモコンガイドは、このパソコンに添付されているリモコンのボタンです。ビエラのリモコンのボタンとは異なりますのでご注意ください。操作するときは、次の表で操作対応を確認してください。
なお、ビエラのリモコンにある「再生」ボタンや「停止」ボタンはご利用になれませんのでご注意ください。

パナソニック製テレビ ビエラ PZ800 シリーズのリモコンボタン操作対応表

このパソコンのリモコン	パナソニック製テレビ ビエラ PZ800 のリモコン
カーソルボタン（↑　↓　←　→）	カーソルボタン（▲　▼　◀　▶）
決定ボタン	決定ボタン
カラーボタン（青、赤、緑、黄）	カラーボタン（青、赤、緑、黄）
戻るボタン	戻るボタン
便利ボタン	サブメニューボタン

■このパソコンのリモコン

■パナソニック製テレビビエラ PZ800 のリモコン

シャープ製のテレビのリモコンからパソコンを操作する

ここでは、シャープ製ファミリンク対応テレビ AQUOS［アクオス］にこのパソコンの画面を表示して、AQUOS に添付のリモコンで操作する方法を説明します。

1 AQUOS のリモコンのカバーを開けて「レコーダー電源」ボタンを押します。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

このパソコンの「MyMedia」の画面が AQUOS のテレビに表示され、「MyMedia」の一部の機能を楽しむことができます。

Point 「おすすめコンテンツ」を起動してから「MyMedia」の他の機能を起動する場合

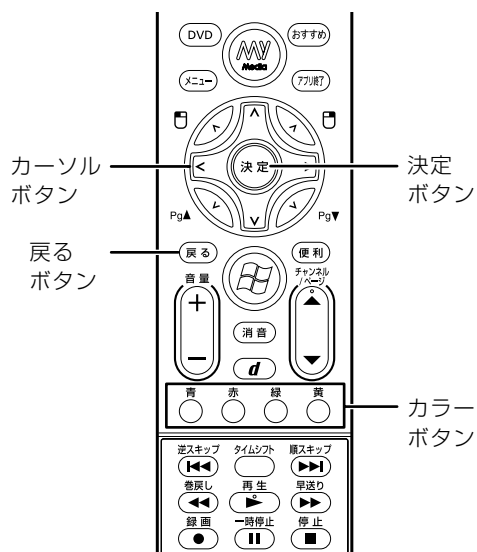
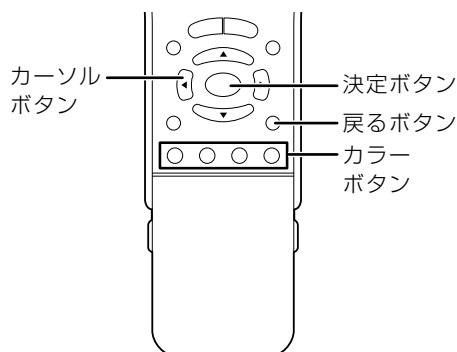
手順 1 からもう一度「MyMedia」の画面を表示してください。

リモコンのボタン操作について

「MyMedia」の画面上に表示されるリモコンガイドは、このパソコンに添付されているリモコンのボタンです。AQUOS のリモコンのボタンとは異なりますのでご注意ください。操作するときは、次の表で操作対応を確認してください。
なお、AQUOS のリモコンにある「再生」ボタンや「停止」ボタンはご利用になれませんのでご注意ください。

シャープ製テレビ AQUOS のリモコンボタン操作対応表

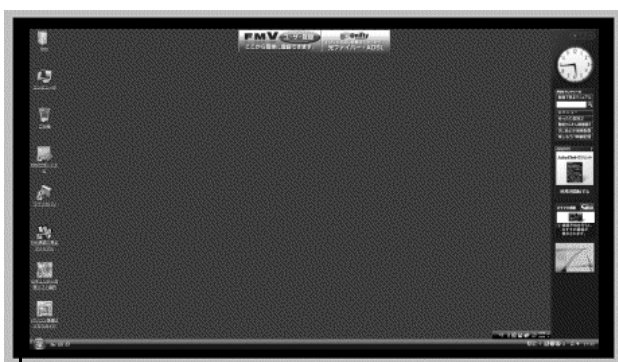
このパソコンのリモコン	シャープ製テレビ AQUOS のリモコン
カーソルボタン（↑　↓　←　→）	カーソルボタン（▲　▼　◀　▶）
決定ボタン	決定ボタン
カラーボタン（青、赤、緑、黄）	カラーボタン（青、赤、緑、黄）
戻るボタン	戻るボタン

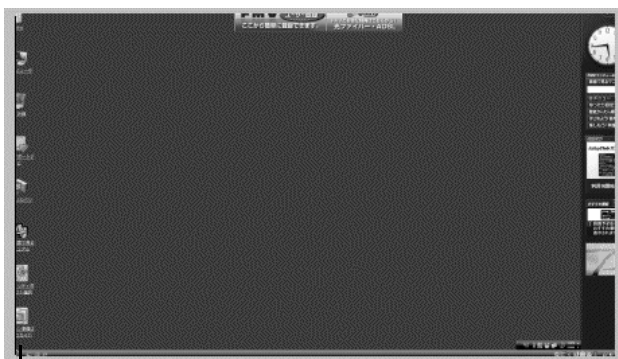
■このパソコンのリモコン　　**■シャープ製テレビ AQUOS のリモコン**

テレビ画面にあわせて表示する

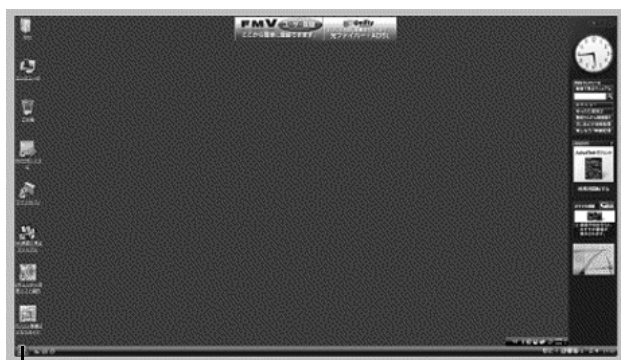
このパソコンに市販のテレビを接続した場合、テレビとパソコンの画面表示の仕様に違いがあるため、テレビ画面よりも小さく表示されたり、パソコンの画面の一部が切れて表示されたりすることがあります。
ここでは、テレビ画面にパソコンの画面を表示するための設定方法について説明します。

テレビ画面の表示について

このパソコンに市販のテレビを接続すると、パソコンの画面がテレビの表示領域よりはみ出したり、小さく表示されたりすることがあります。

- テレビ画面よりも小さく表示される場合

周りに黒い枠が表示されます。
（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

- テレビ画面からはみ出して表示される場合

パソコンの画面の一部が切れて表示されます。

• 拡大して画面にぴったり表示される場合

拡大して表示されます。

パソコンの画面がテレビに正しく表示されない場合、テレビ側の表示領域設定を変更することで、最適な表示に切り換わることがあります。テレビのマニュアルをご覧になり、設定を変更してください。
テレビ側で設定を変更できなかったり、設定を変更しても正しく表示できなかったりする場合は、「TEO Utility［テオユーティリティ］」で設定を変更してください。
「TEO Utility」では、「かんたん設定」と「手動設定」の 2 種類の方法で設定を変更できます。

• かんたん設定
  接続されているテレビにあわせて、最適な値に設定することができます。
• 手動設定
  設定項目ごとに値を設定することができます。細かく設定したい場合や、お使いのテレビが「かんたん設定」に対応していない場合にお使いください。

重要　画面右下の通知領域に (DigitalTVbox）が表示されている場合

画面右下の通知領域に (DigitalTVbox）が表示されているときは、「DigitalTVbox［デジタルテレビボックス］」が待機状態です。この状態でこの後の操作をすると、「DigitalTVbox」が解像度の変更を反映できないため、「DigitalTVbox」を起動できなくなります。
この後の操作を始める前に、「DigitalTVbox」を終了してください。

1. 画面右下の通知領域にある (DigitalTVbox）を右クリックし、表示されたメニューから「終了」をクリックします。

重要　接続を確認してください

設定を行う前に、このパソコンとテレビが HDMI［エイチディーエムアイ］ケーブルで接続されていることを確認してください。

「TEO Utility」を起動する

ここでは、「TEO Utility」を起動する手順を説明します。

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「@メニュー」→「@メニュー」の順にクリックします。

「@メニュー」が起動します。

2 「@メニュー」上部の「名前でさがす」をクリックし、左側にあるカテゴリの中から「パソコンの設定」をクリックします。

3 「TEO Utility」をクリックします。

「TEO Utility」が起動します。

Point 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「続行」をクリックしてください。「続行」が表示されずに「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックしてください。

Point 「パソコン準備ばっちりガイド」から起動する場合

1. デスクトップにある（パソコン準備ばっちりガイド）をクリックします。
   「パソコン準備ばっちりガイド」が起動します。
2. 「テレビ画面の調整」をクリックし、「実行する」をクリックします。
   「TEO Utility」が起動します。

4 「表示領域」タブをクリックします。

この後は設定方法にあわせて、「「かんたん設定」で設定する」（→P.90）または「「手動設定」で設定する」（→P.93）へ進んでください。

2 パソコンの取り扱い

「かんたん設定」で設定する

ここでは、「かんたん設定」で設定する手順を説明します。

1 「TEO Utility」を起動します。

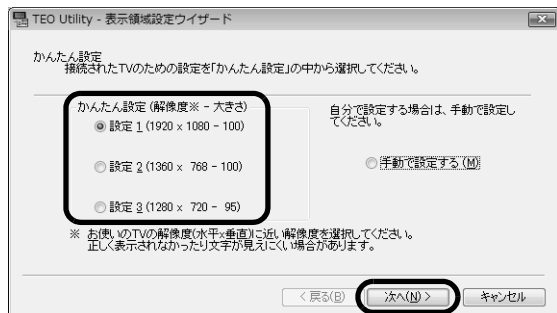
2 「かんたん設定を開始」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

Point 「設定がありませんでした」という画面が表示された場合

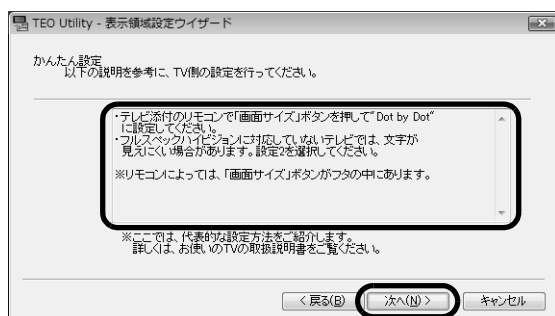
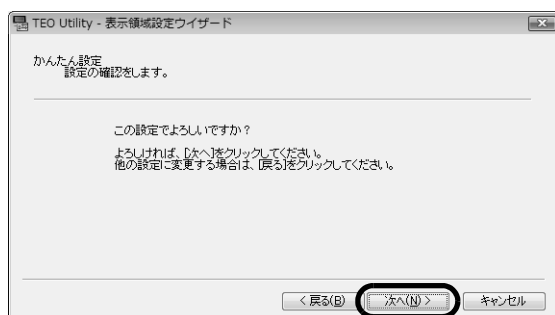
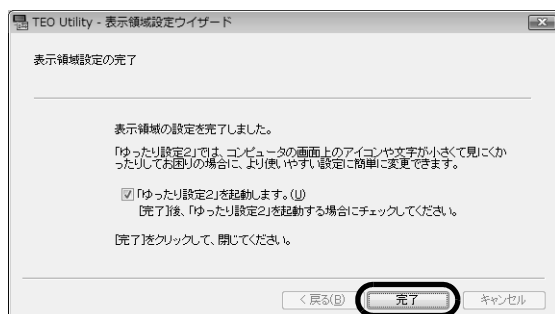
お使いのテレビが「かんたん設定」に対応していない場合は、「設定がありませんでした」という画面が表示されます。この場合は「次へ」をクリックし、「「手動設定」で設定する」（→P.93）の手順 3 へ進んでください。

3 「かんたん設定（解像度※ - 大きさ）」で設定したい値の ◎ をクリックして ◉ にし、「次へ」をクリックします。

「かんたん設定（解像度※ - 大きさ）」に表示される項目は、お使いのテレビにより異なります。

Point 一覧に設定したい値が表示されない場合

「手動で設定する」の ◎ をクリックして ◉ にし、「次へ」をクリックしてください。この後は、「「手動設定」で設定する」（→P.93）の手順 3 へ進んでください。

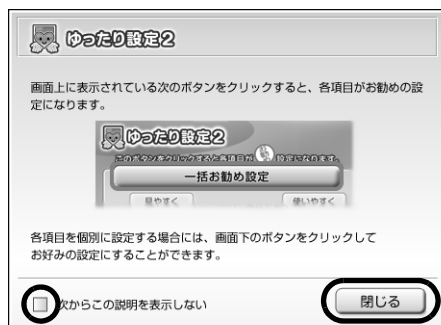
4 画面の指示に従ってテレビ側の設定をし、「次へ」をクリックします。

テレビのマニュアルもご覧になり、設定してください。

5 画面の表示を確認し、「次へ」をクリックします。

6 「完了」をクリックします。

7 「閉じる」をクリックします。

ここで設定した情報を確認したいときは、「詳細情報」をクリックしてください。「詳細情報」をクリックして表示された画面の内容は、保存することもできます。

Point 「ゆったり設定 2」が起動した場合

「ゆったり設定 2」が起動した場合は、次の手順で操作してください。

1. 「閉じる」をクリックします。
   すでに「次からこの説明を表示しない」の □ をクリックして ☑ にしている場合は、この画面は表示されません。

2. 「ゆったり設定 2」の画面で必要に応じて設定を変更し、✖（終了）をクリックします。

「ゆったり設定 2」については、次のマニュアルをご覧ください。

参照 ゆったり設定 2 について

『画面で見るマニュアル』»「210210」で検索
→「ゆったり設定 2」

これで設定が終了しました。

「手動設定」で設定する

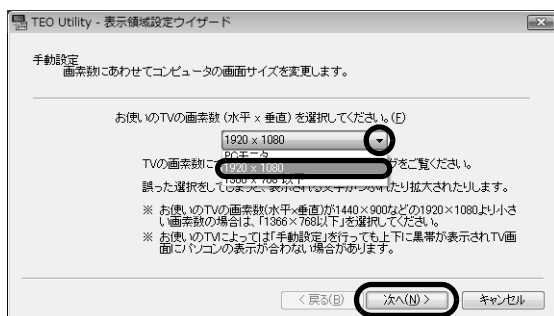
ここでは、「手動設定」で設定する手順を説明します。

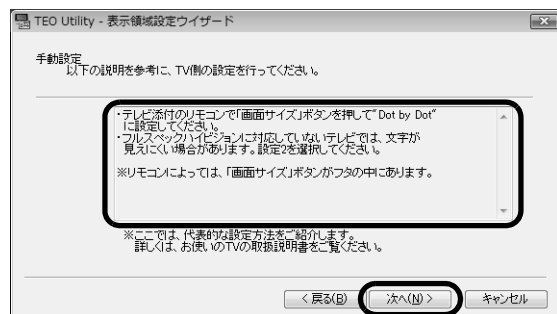
1 「TEO Utility」を起動します。

2 「手動設定を開始」をクリックします。

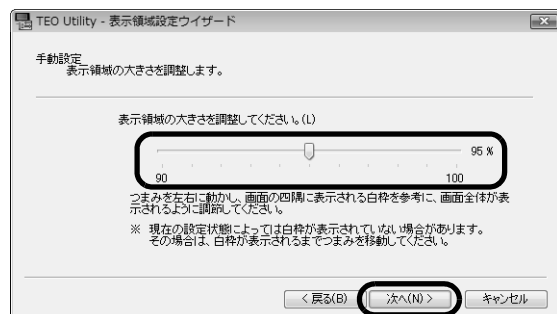
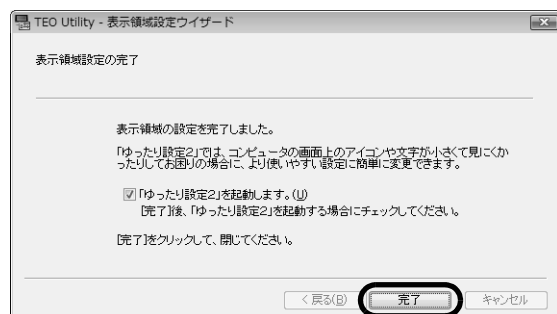
（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

3 「お使いの TV の画素数（水平×垂直）を選択してください。」の ▼ をクリックして一覧から画素数をクリックし、「次へ」をクリックします。

お使いのテレビの画素数については、テレビのマニュアルをご覧ください。

4 画面の指示に従ってテレビ側の設定をし、「次へ」をクリックします。

テレビのマニュアルもご覧になり、設定してください。

「手動設定」が表示された場合は手順５へ、「表示領域設定の完了」が表示された場合は手順６へ進んでください。

5 を左右にドラッグして表示領域を調整し、「次へ」をクリックします。

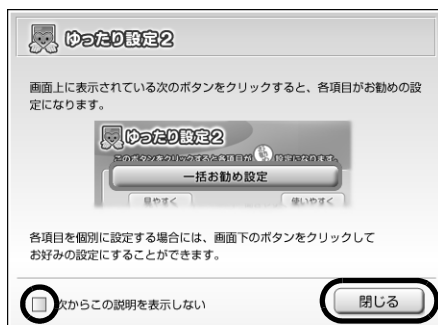
画面に枠が表示されます。その枠が収まるように調整してください。

6 「完了」をクリックします。

画面で見るマニュアル ｜ 添付の冊子マニュアル ▶このマニュアルの巻頭でご案内しています。

7「閉じる」をクリックします。

ここで設定した情報を確認したいときは、「詳細情報」をクリックしてください。「詳細情報」をクリックして表示された画面の内容は、保存することもできます。

Point「ゆったり設定 2」が起動した場合

「ゆったり設定 2」が起動した場合は、次の手順で操作してください。

1.「閉じる」をクリックします。
すでに「次からこの説明を表示しない」の □ をクリックして ☑ にしている場合は、この画面は表示されません。

2.「ゆったり設定 2」の画面で必要に応じて設定を変更し、✖（終了）をクリックします。

「ゆったり設定 2」については、次のマニュアルをご覧ください。

参照 ゆったり設定 2 について

『画面で見るマニュアル』»「210210」で検索
→「ゆったり設定 2」

これで設定が終了しました。

第3章

周辺機器の設置／設定／増設

周辺機器の使用上の注意やメモリの増やし方などを説明しています。目的に合わせてお読みください。

周辺機器をお使いになる場合

ここでは、メモリなどの周辺機器をお使いになる場合に知っておいていただきたいことについて説明します。

⚠警告

・周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器とは？

メモリ、プリンタ、デジタルカメラなどの装置のことです。パソコン本体内部に取り付けたり、パソコンの各コネクタに接続したりします。
周辺機器をパソコン本体内部に取り付ける場合は、パソコン本体カバーを取り外す必要があります。パソコン本体カバーの取り外し方と取り付け方については、「本体カバーを取り外す／取り付ける」（P.101）をご覧ください。また、画面で見るマニュアルでも紹介しています。

参照 本体カバーの取り外し方や取り付け方について

『画面で見るマニュアル』»「000670」で検索
→「本体カバーを取り外す／取り付ける」

周辺機器を取り付けると

メモリを取り付けてパソコンの処理能力を上げたり、プリンタを接続して印刷したりなど、パソコンでできることがさらに広がります。
また、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込んで、E メールに添付したりできます。

周辺機器を取り付けるには

本マニュアル内では、「メモリの増設／交換」（P.106）、「メモリーカードを使う」（P.40）などを記載しています。その他の周辺機器の取り付けについては、画面で見るマニュアルでも紹介しています。
お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

参照 周辺機器について

『画面で見るマニュアル』
→「5. パソコン本体の取り扱い」または「6. 周辺機器の接続」

「画面で見るマニュアル」で調べる

1 表示される画面の中から取り付けたい周辺機器をクリックします。

例えば、プリンタを接続する場合は、「6. 周辺機器の接続」→「プリンタを接続する」をクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

Point 手順を動画で見ることができます

手順の中に「動画を見る」というボタンがあるときは、ボタンをクリックすると、インターネットに接続して手順の動画をご覧いただけます。このとき、FMV ユーザー登録で発行された「ユーザー登録番号」と「パスワード」が必要です。ユーザー登録については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- **周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします**
  純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。
  純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。
- **周辺機器に添付のドライバがお使いの Windows に対応しているか確認してください**
  お使いになる周辺機器のドライバがお使いの Windows に対応していないと、その周辺機器はお使いになれません。必ずお使いの Windows に対応したものをご用意ください。
- **ドライバなどがフロッピーディスクで添付されている場合**
  周辺機器によっては、添付のドライバなどがフロッピーディスクで提供されているものがあります。その場合は、オプションのフロッピーディスクドライブ「FDD ユニット（USB）（FMFD-51S または FMFD-51SZ）」をご購入になり、ドライバをインストールしてください。

- **ACPI［エーシーピーアイ］に対応した周辺機器をお使いください**
  このパソコンは、ACPI（省電力に関する電源制御規格の 1 つ）によって電源制御を行っていますので、周辺機器も ACPI に対応している必要があります。
  ACPI に対応していない周辺機器をお使いの場合は、増設した機器やパソコンが正常に動作しなくなることがあります。周辺機器が ACPI に対応しているかどうかは、周辺機器メーカーにお問い合わせください。
  また、このパソコンの ACPI モードは、スリープ（ACPI S3）に設定されています。
- **一度に取り付ける周辺機器は 1 つだけにしてください**
  一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバのインストールなどが正常に行われないおそれがあります。1 つの周辺機器の取り付けが終了して、動作確認を行ってから、別の周辺機器を取り付けてください。
- **マイク端子／ヘッドホン端子／ラインイン端子／ラインアウト端子への接続について**
  次のような場合には、あらかじめ音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンは使用しないでください。雑音が発生する場合があります。
  - パソコン本体の電源を入れるとき、切るとき
  - マイク端子、ヘッドホン端子、ラインイン端子、およびラインアウト端子にケーブルを接続するとき
- **パソコンおよび接続されている機器の電源を切ってください**
  パソコンの電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。安全のため、マニュアル内に電源プラグを抜くように指示がある場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。パソコン本体の電源の切り方については、「電源を切る」（→P.23）をご覧ください。
- **電源を切った直後は作業をしないでください**
  電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってから作業を始めてください。
- **周辺機器の電源について**
  周辺機器の電源はパソコン本体の電源を入れる前に入れるものが一般的ですが、パソコン本体より後に電源を入れるものもあります。周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- **電源ユニットは分解しないでください**
  電源ユニットは、パソコン本体内部の背面側にある箱形の部品です。
- **内部のケーブル類や装置の扱いに注意してください**
  傷を付けたり、加工したりしないでください。また、ねじったり、極端に曲げたりしないでください。
- **静電気に注意してください**
  内蔵周辺機器は、基板や電子部品がむきだしになっています。これらは、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、一度大きな金属質のものに手を触れるなどして静電気を放電してください。
- **基板表面やはんだ付けの部分、コネクタ部分には手を触れないでください**
  金具の部分や、基板のふちを持つようにしてください。
- **パソコン本体前面に周辺機器を取り付ける場合、フラップは開いた状態でお使いください**
  メモリーカードをセットしたり、IEEE［アイトリプルイー］1394（DV）ケーブル、USB［ユーエスビー］ケーブルを接続した状態で無理に閉めようとすると、メモリーカードや周辺機器のケーブル、フラップが破損するおそれがあります。
- **ドライバーを用意してください**
  パソコン本体の本体カバーなどの取り外しには、プラスのドライバーが必要です。
  ネジの頭をつぶさないように、ネジのサイズに合ったドライバーをご用意ください。

本体カバーを取り外す／取り付ける

ここでは、メモリなどを取り付ける場合に必要な本体カバーの取り外し方と取り付け方について説明します。

⚠警告

・本体カバーをあける場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、しばらく経ってから本体カバーを開けてください。また、電話回線からモジュラーケーブルが接続されている場合、モジュラーケーブルも取り外してください。
電話回線から着信があった場合、または落雷が起きた場合に感電の原因となります。

・取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

・本体カバーおよび可動部をあける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。
また、作業が終わるまでは大人が機器から離れないようにしてください。
お子様が手を触れると、本体および本体内部の突起物でけがをしたり、故障の原因となります。

⚠注意

・本体カバーの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

・基板表面上の突起物には手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

重要 **周辺機器の取り付け手順を印刷しておいてください**

操作の途中で電源を切る必要のある周辺機器については、「画面で見るマニュアル」の該当ページの先頭に「このページは印刷しておくと便利です」と記載されています。操作を始める前に、「画面で見るマニュアル」の該当ページをプリンタで印刷してご覧ください。
メモリについては、「メモリの増設／交換」（→P.106）をご覧ください。

Point **本体カバーの取り外し手順／取り付け手順を動画で見ることができます**

サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）で、本体カバーの取り外し手順／取り付け手順の動画がご覧になれます。

本体カバーを取り外す

1 パソコン本体と接続されている周辺機器の電源を切ります。

パソコン本体の電源の切り方については、「電源を切る」(→P.23)をご覧ください。

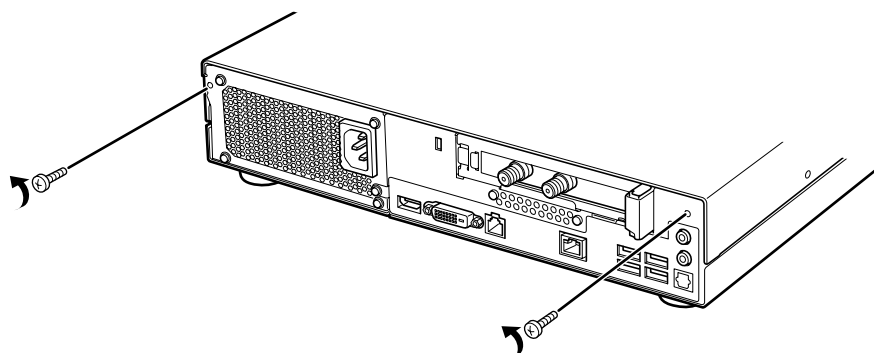
2 電源プラグをコンセントから抜きます。

電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってください。

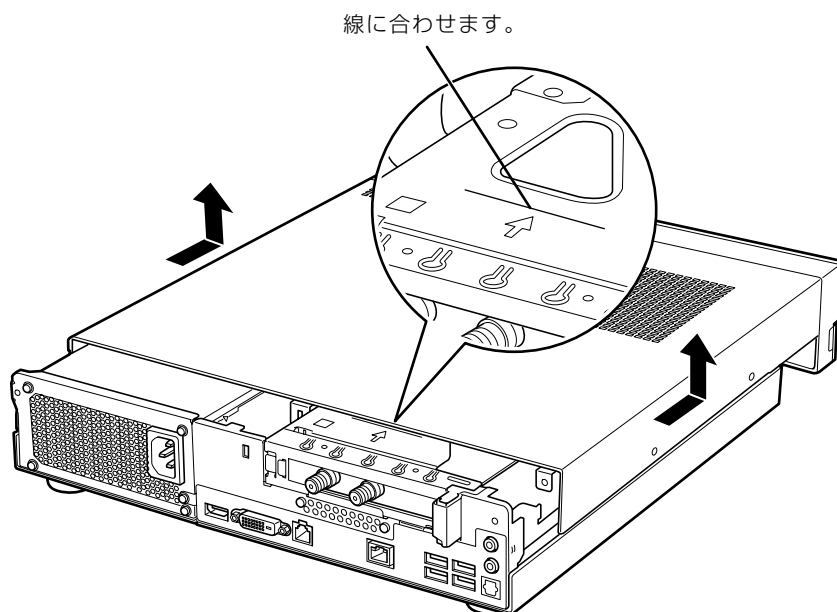
重要 パソコンに B-CAS［ビーキャス］カードがセットされている場合

パソコンにセットされている B-CAS カードを取り外してください。

3 パソコン本体に接続されている機器をすべて取り外します。

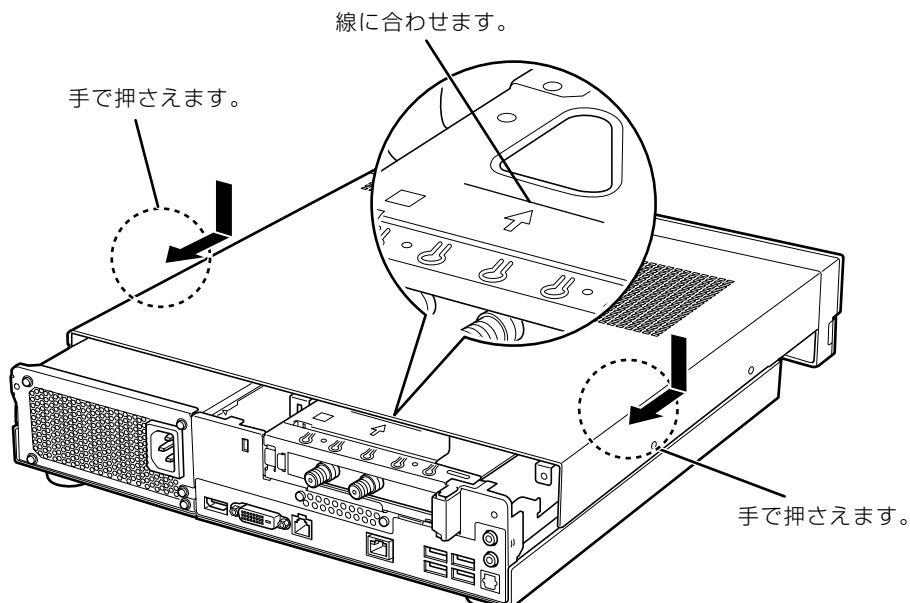
4 パソコン本体背面のネジ(2ヶ所)をプラスのドライバーで回して外します。

(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

5 本体カバーを矢印の方向に取り外します。

パソコン本体前面に向けてスライドさせた後、まっすぐ上に持ち上げてください。
お使いの機種により、本体カバーの取り外しが硬く感じる場合があります。

周辺機器の取り付け方は、お使いになる周辺機器によって異なります。本体カバーを取り外した後の周辺機器の取り付け方については、「画面で見るマニュアル」から印刷しておいた周辺機器の取り付け手順をご覧ください。

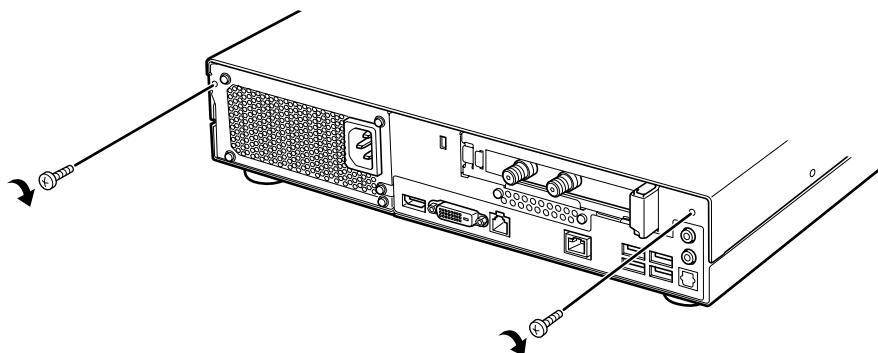
本体カバーを取り付ける

1 本体カバーを矢印の方向に取り付けます。

本体カバーをまっすぐに下ろし、パソコン本体背面に向けてつきあたるまでスライドさせ、最後までしっかりと押し込んでください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

重要 本体カバーを取り付けるときのご注意

本体カバーをスライドさせる際、パソコン本体と本体カバーの間に指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

2 パソコン本体背面のネジ（2ヶ所）をプラスのドライバーで回して取り付けます。

3 パソコン本体に接続されていた機器をすべて取り付けます。

重要 B-CAS カードをセットしてください

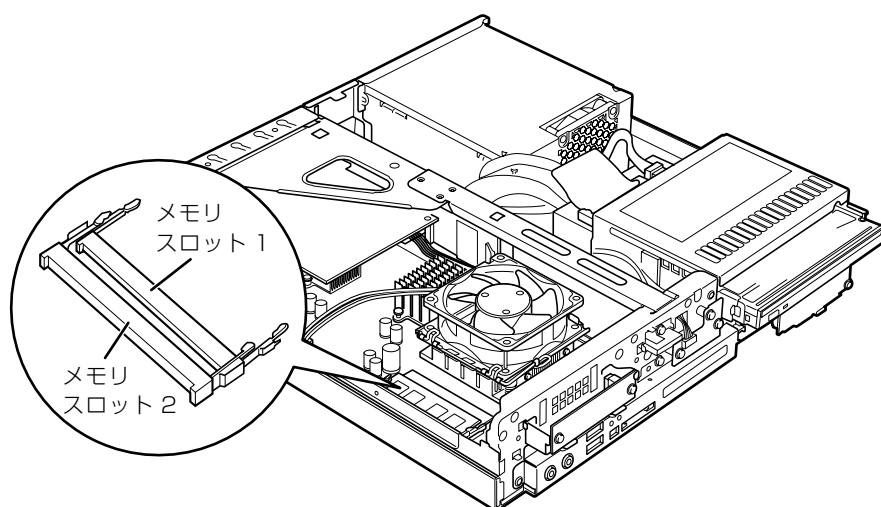
パソコンに B-CAS カードをセットしてください。B-CAS カードをセットする方法については、「B-CAS カードをセットする」（→ P.52）をご覧ください。

4 パソコン本体および接続されている機器の電源プラグを、コンセントに差し込みます。

メモリの増設／交換

メモリ容量を増やすことによって、パソコンの処理能力などを上げることができます。ここでは、メモリ容量を増やす方法について説明します。
機種によっては、ご購入時に最大容量のメモリが搭載されている場合があります。この場合、メモリ容量を増やすことはできません。詳しくは、「メモリの組み合わせ表」（→P.107）の表を確認してください。

メモリの取り付け場所

メモリは、パソコン本体内部のメモリスロットに取り付けます。

（イラストは機種や状況により異なります）

必要なものを用意する

メモリ（拡張 RAM［ラム］モジュール）

FMVDM2GKS9（2GB1 枚入り）のメモリが取り付けられます。
必ず 2 枚組で取り付けてください。

プラスのドライバー（ドライバーサイズ：2 番）

このパソコンのネジを取り外すときに使います。ネジの頭をつぶさないように、ネジのサイズ（M3）に合ったものをお使いください。他のドライバーを使うと、ネジの頭をつぶすおそれがあります。

メモリの組み合わせ表

次の表で、メモリの容量とメモリスロットの組み合わせを確認してください。
次の表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しない場合があります。

- TEO/A90N, TEO/A70N で 4GB のメモリを選択した方

総容量	メモリスロット 1	メモリスロット 2
4GB（ご購入時／最大）	2GB	2GB

- TEO/A90D, TEO/A70D をお使いの方、および TEO/A90N, TEO/A70N で 2GB のメモリを選択した方

総容量	メモリスロット 1	メモリスロット 2
2GB（ご購入時）	1GB	1GB
4GB（最大）	2GB〔注 1〕〔注 2〕	2GB〔注 1〕〔注 2〕

注 1： あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。
注 2： デュアルチャネルで動作させるには、弊社純正品の同じ容量のメモリを 2 枚 1 組で取り付けてください。

メモリの取り扱い上の注意

警告

・メモリの取り付けまたは交換を行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

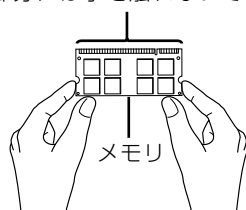
注意

・メモリの取り付けまたは交換を行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

・基板表面上の突起物には手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

・取り外したメモリは小さいお子様の手の届かないところに置いてください。
お子様が手を触れたり、口に入れると、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

メモリを取り付けるときの注意

- メモリを取り付けるときは、メモリの差し込み方向をお確かめのうえ、確実に差し込んでください。誤ってメモリを逆方向に差したり、差し込みが不完全だったりすると、故障の原因となることがあります。
- メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。
- メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。
- メモリの表面の端子や IC 部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。
- メモリは下図のように両手でふちを持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。

メモリを増やす

ここでは、メモリを増やす方法を説明します。
「メモリを取り付けるときの注意」（→P.108）をご覧になり、作業を進めてください。

Point　メモリを取り付ける手順を動画で見ることができます

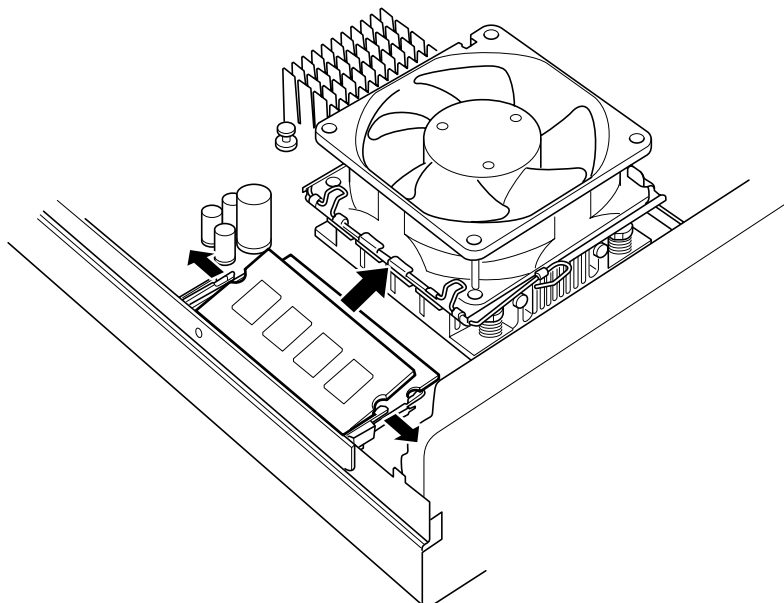
サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）で、メモリの取り付け手順の動画がご覧になれます。

1 「本体カバーを取り外す」（→P.102）をご覧になり、本体カバーを取り外します。

2 メモリの取り付け場所とメモリ容量の組み合わせを確認します。

メモリの取り付け場所については、「メモリの取り付け場所」（→P.106）をご覧ください。
メモリの容量と組み合わせについては、「メモリの組み合わせ表」（→P.107）をご覧ください。

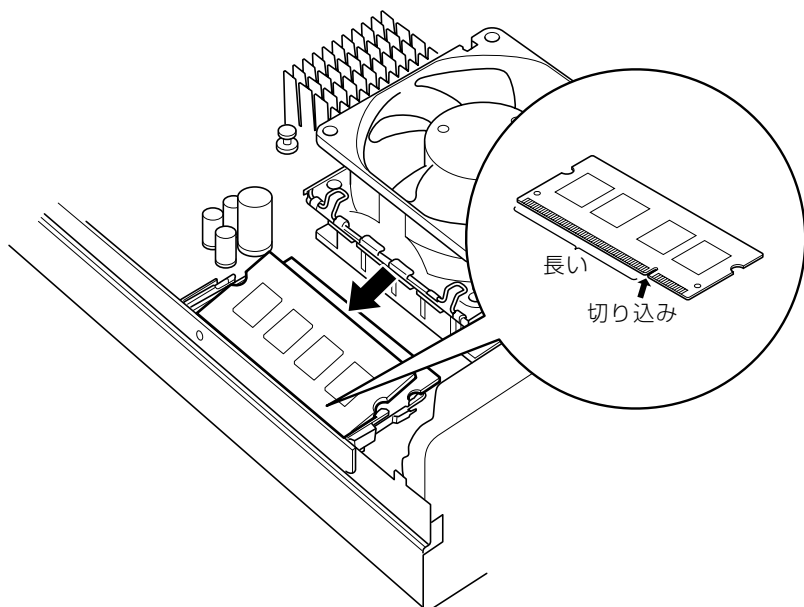
3 メモリを取り外します。

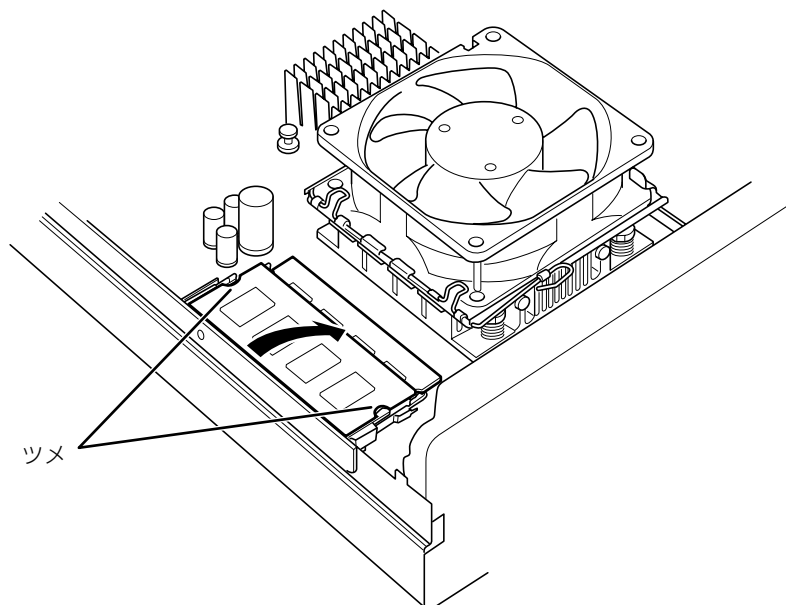
メモリを押さえている両側のツメを左右に開くと、メモリが少し斜めに持ち上がるので、両手でメモリのふちを持って斜め上の方向に引っ張り、スロットから取り外します。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

重要 メモリを取り外すときの注意

- メモリスロットの両側のツメを外側に開くときに、指をはさまないようにご注意ください。
- ツメを勢いよく外側へ開くと、メモリが飛び出し、故障の原因となることがありますので、ご注意ください。

4 新しいメモリをメモリスロットに差し込みます。メモリスロット 1、メモリスロット 2 の順に差し込みます。

端子に切り込みが入っている部分から端までの距離が長いほうをパソコン本体背面側に向けて、周囲の部品に当たらないように注意しながら、メモリスロットの正面からまっすぐに差し込んでください。メモリの端子が隠れるぐらい奥までしっかりとメモリスロットに差し込むようにしてください。

5 「パチン」と音がするまで下に倒します。

メモリを押さえている両側のツメが、きちんとはまったことを確認してください。

6 「本体カバーを取り付ける」（→P.104）をご覧になり、本体カバーを取り付けます。

続いて、メモリが正しく取り付けられたかメモリ容量を確認しましょう（→P.112）。

メモリ容量を確認する

メモリを取り付けた後、増やしたメモリが使える状態になっているかを確認してください。
必ず、本体カバーを取り付けてから確認作業を行ってください。

1 パソコン本体の電源を入れます。

「電源を入れる」（→P.20）をご覧ください。

Point Windows が正常に起動しない場合

メモリが正しく取り付けられていないと、パソコンの電源を入れたとき画面に何も表示されない場合があります。
その場合は、パソコン本体の電源ボタンの中央を 4 秒以上押し続けてパソコンの電源を切り、電源プラグを抜いた後、メモリを取り付け直してください。

2 （スタート）→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「システム」の順にクリックします。

3 丸で囲んだ部分の数値が、増やしたメモリの分だけ増えているかを確認します。

（画面は機種や状況により異なります）

4 をクリックします。

メモリ容量の数値が増えていなかった場合は、次のことを確認してください。

- 増やしたメモリがこのパソコンで使える種類のものか
  「必要なものを用意する」（➡P.106）

- メモリがメモリスロットにきちんと差し込まれているか
  「メモリを増やす」（➡P.108）

- 正しいスロットに取り付けられているか
  「メモリの取り付け場所」（➡P.106）

- メモリを正しく組み合わせているか
  「メモリの組み合わせ表」（➡P.107）

第4章

お手入れ

パソコン本体の日ごろのお手入れ方法について説明しています。

4

FMV のお手入れ

ここでは、FMV を快適にお使いいただくための、日ごろのお手入れについて説明します。

⚠警告

・お手入れをする場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

・清掃の際、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

パソコン本体および添付品のお手入れ

重要 次のものは使わないでください

シンナーやベンジンなどの揮発性の強いものや、化学ぞうきん、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は絶対に使わないでください。
アルコール成分を含んだ市販のクリーナーは使わないでください。

重要 乾電池は取り出してください

マウスやキーボード、リモコンのお手入れを行うときは、あらかじめ乾電池を取り出してください。

パソコン本体の通風孔、およびパソコン本体内部にほこりがたまらないように、定期的に清掃してください。
パソコン本体の通風孔やパソコン本体内部は、掃除機を使ってほこりを吸い取ってください。
パソコン本体やディスプレイ（ディスプレイが添付されている機種）、マウス、キーボード、リモコンなどの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水または中性洗剤を含ませた布を固く絞って、拭き取ってください。中性洗剤を使って拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って、中性洗剤を拭き取ってください。また拭き取るときは、パソコン本体やディスプレイ（ディスプレイが添付されている機種）、マウス、キーボード、リモコンに水が入らないよう充分注意してください。
キーボードのキーとキーの間のほこりなどを取る場合は、ゴミを吹き飛ばすのではなく、筆のような先の柔らかいものを使ってゴミを取ってください。ゴミを吹き飛ばすと、キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。また、掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。

液晶ディスプレイのお手入れ

液晶ディスプレイが添付されている機種のみ

- 液晶ディスプレイの汚れは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイの画面部分は、水および中性洗剤を使わないでください。
- 化学ぞうきんや市販クリーナーは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。
  - アルカリ性成分を含んだもの
  - 界面活性剤を含んだもの
  - アルコール成分を含んだもの
  - シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - 研磨剤を含んだもの

詳しくは、次のマニュアルをご覧ください。

参照 **液晶ディスプレイのお手入れについて**

『画面で見るマニュアル』»「000500」で検索
→「液晶ディスプレイ」

CD/DVD ドライブのお手入れ

市販のクリーニングディスクやレンズクリーナーを使うと、逆にゴミを集めてしまい、CD/DVDドライブのレンズが汚れてしまう場合があります。故障の原因になりますので絶対に使わないでください。
うまく読み取れない場合には、ディスクの指紋、ほこりなどの汚れを拭き取ることで改善されることがあります。
拭き取り方法はディスクの種類により異なります。詳しくはディスクの説明書／レーベル等をご覧ください。

パソコン本体内部や通風孔のお手入れ

パソコン本体の通風孔や内部にほこりがたまると、故障の原因となります。
ほこりの堆積量は、お客様の環境によって異なります。次の清掃方法に従って、1ヶ月に 1 度程度掃除してください。

必要なものを用意する

- 掃除機
- 綿手袋
- プラスのドライバー（ドライバーサイズ：2 番）

清掃方法

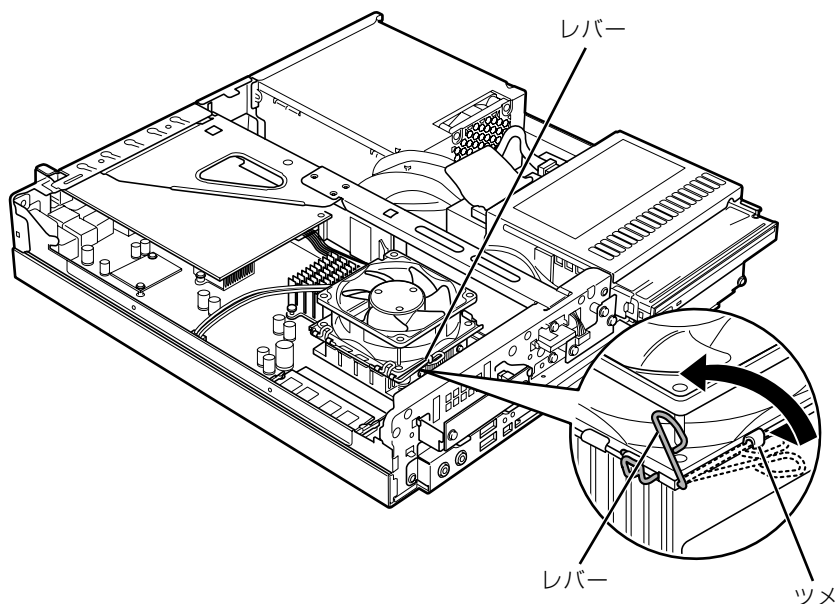
パソコン本体のお手入れをするときの注意

- 充分に換気してください。
  清掃時には、ほこりなどを口や鼻から吸い込まないように、窓を開けたり、換気扇を回したりするなどして、充分に換気してください。
- 本体カバーや CPU［シーピーユー］ファンを取り外すときは、指をはさまないように気をつけてください。また、CPU 付近は高温になりますので、電源を切った後、10 分以上経ってから作業をしてください。やけどをするおそれがあります。

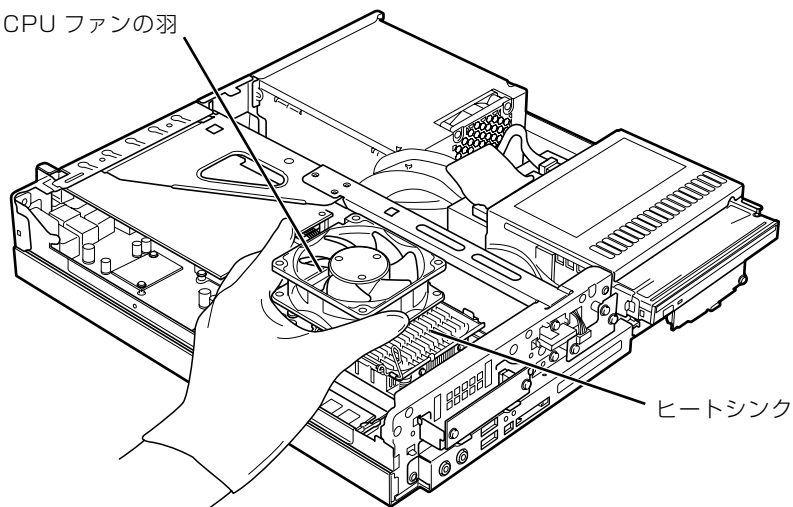
- パソコン本体内部の部品には触れないでください。
  故障の原因となりますので、CPU ファンの羽およびその他のパソコン本体内部の部品には極力手を触れないでください。
  また、掃除機の吸引口をパソコン本体内部の部品に当てないでください。
- 洗剤は使用しないでください。
- エアダスターなどの清掃用スプレー（可燃物質を含むもの）を使用しないでください。
- 清掃時に破損した場合、保証期間にかかわらず修理は有償となります。取り扱いについては、充分ご注意ください。
- 静電気を放電してください。
  パソコン本体内部は、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、掃除機の吸引口や人体にたまった静電気によって破壊される場合があります。
  パソコン本体内部のお手入れをする前に、一度金属質のものに手を触れたり金属質のものに掃除機の吸引口先端を触れさせたりして、静電気を放電してください。

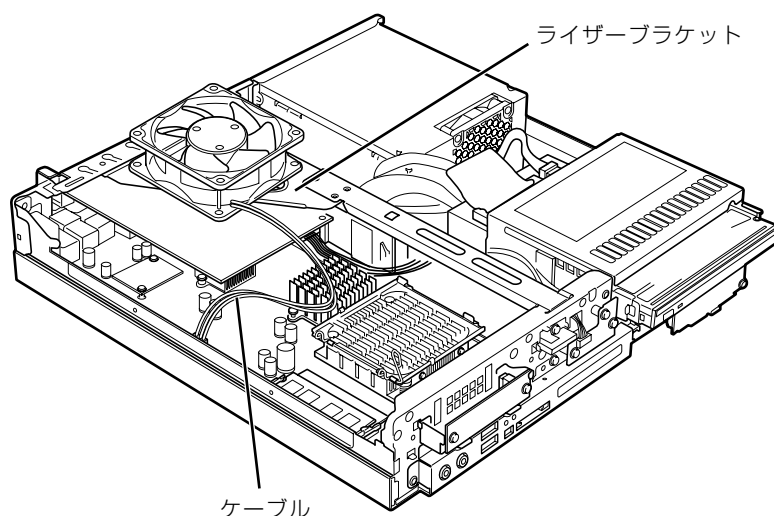
1 「本体カバーを取り外す」（→P.102）をご覧になり、本体カバーを取り外します。

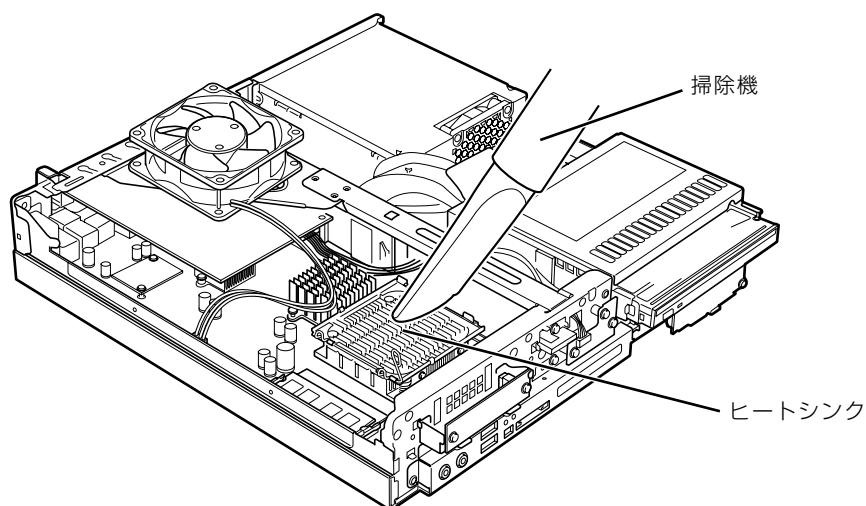
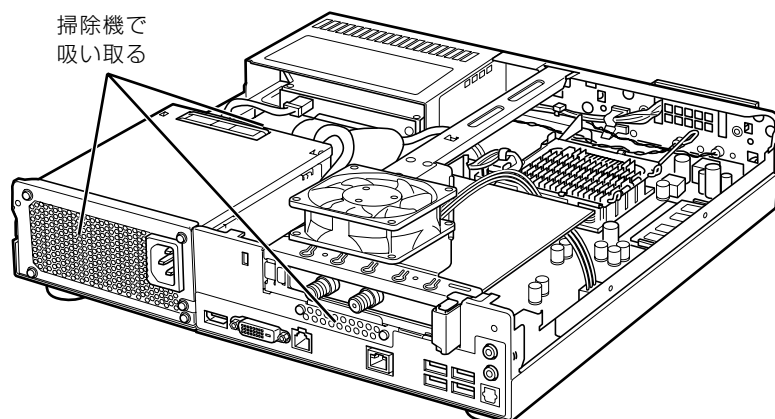
2 CPU ファンのレバーを外します。

レバーを下に押してツメから外し、上に持ち上げます。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

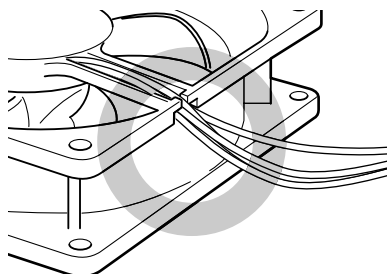
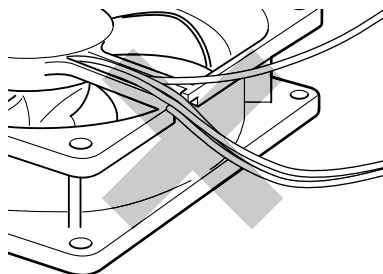
3 CPU ファンの外枠フレームを持って、CPU ファンをヒートシンクから取り外します。

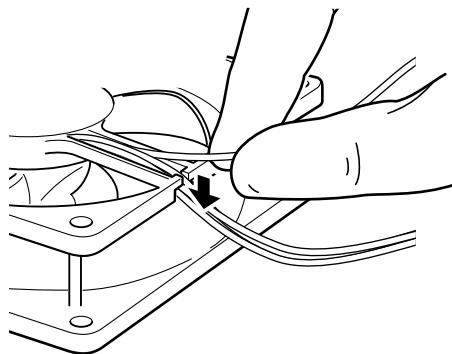
CPU ファンを持つ際は、CPU ファンの羽に触れないようにしてください。

4 取り外したCPUファンを、ライザーブラケット部に載せます。

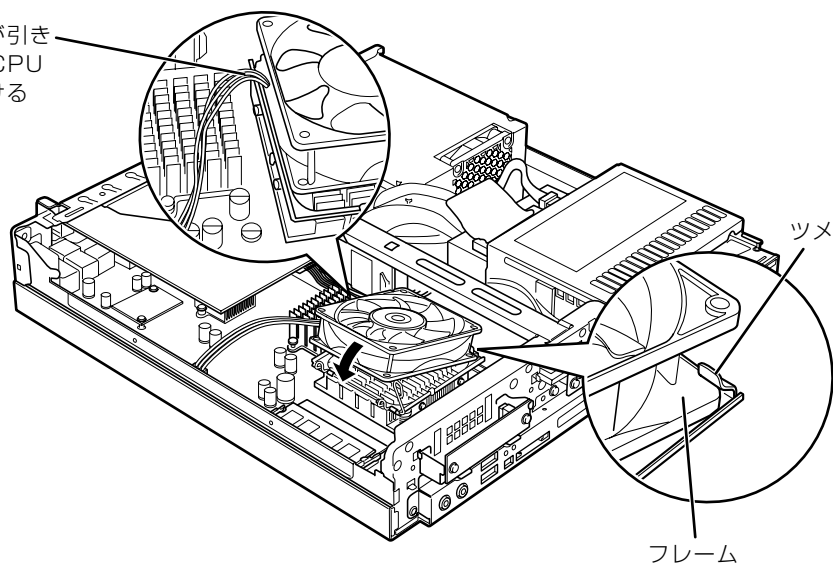
CPUファンのケーブルが抜けないように注意してください。強く引っ張るとケーブルが抜けてしまいます。

5 掃除機でヒートシンク上のほこりを直接吸い取ります。

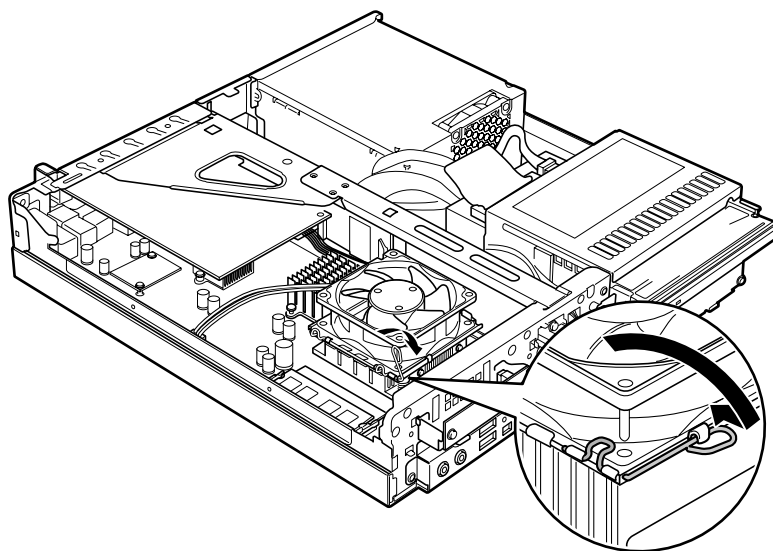
ヒートシンクに掃除機の吸引口を強くぶつけたり、綿棒や爪楊枝を使ってほこりを取ったりしないでください。ヒートシンクが変形する可能性があります。

続いて、システムファンの通風孔や電源ユニット、ヒートシンク周辺のほこりを掃除機で吸い取ります。

重要 周辺の電気部品に触れないでください

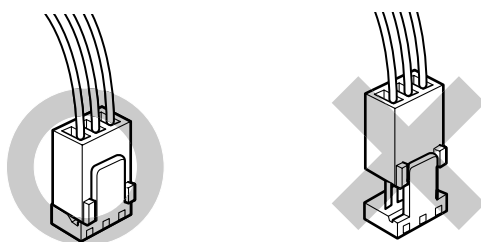
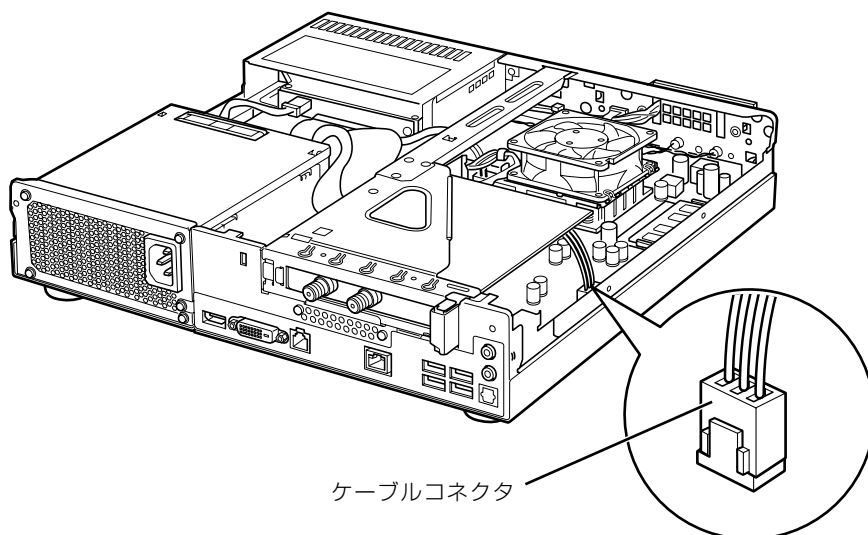
故障の原因となりますので、ヒートシンク周辺の電気部品には触れないようにご注意ください。

6 CPU ファンのラベルがある面を表側に向け、CPU ファンのケーブルが切り欠け部分から外れていないことを確認します。

ケーブルが切り欠け部分に入っている

ケーブルが切り欠け部分から外れている

少しでも外れている場合は、外れているケーブルを切り欠けの中に入れてください。

7 CPU ファンを、ヒートシンクの上に置きます。

ラベルがある面を裏側に向け、ヒートシンクのツメ（2ヶ所）に CPU ファンのフレームを差し込んでから取り付けてください。
なお、CPU ファンを取り付ける際にケーブルをはさんでいないことを確認してください。

8 CPU ファンのレバーを下に倒し、CPU ファンを固定します。

レバーで CPU ファンをしっかりと押さえてから、レバーをツメに掛けます。

9 CPU ファンのケーブルコネクタが外れていないことを確認します。

少しでも外れている場合は、「ケーブルコネクタが外れている場合」（P.124）をご覧になり、しっかり取り付けてください。

奥までしっかりと挿入されている　　コネクタが半抜けになっている

10 「本体カバーを取り付ける」（P.104）をご覧になり、本体カバーを取り付けます。

11 パソコン本体の電源を入れ、Windows が起動することを確認してください。

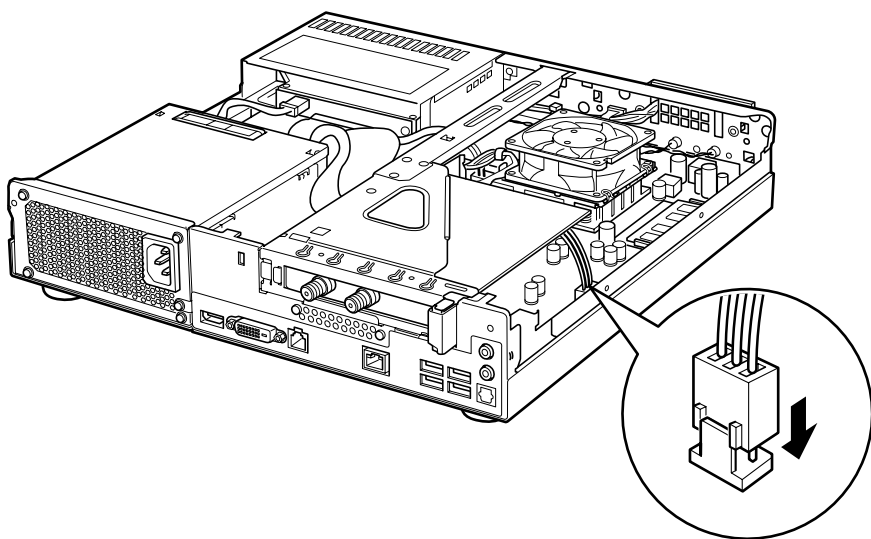
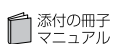
「電源を入れる」（P.20）をご覧ください。

Point Windows が起動せずにメッセージが表示されたり、パソコン本体から異常な音が発生したりしたときは

CPU ファンのケーブルコネクタが外れていたり半抜けになっていると、パソコンの電源を入れたときに、画面にメッセージが表示されることがあります。また、CPU ファンがしっかりと固定されていない場合は、パソコン本体から異常な音が発生することがあります。
このような場合は、パソコン本体の電源ボタンの中央を 4 秒以上押し続けてパソコンの電源を切り、本体カバーを取り外してください。その後、CPU ファンやケーブルコネクタがしっかりと固定されていることを確認してください。
それでもメッセージが表示されたり、異常な音が発生し続けたりする場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

ケーブルコネクタが外れている場合

ヒートシンクのお手入れをしている途中で CPU ファンのケーブルコネクタが少しでも外れてしまった場合は、しっかり取り付けてください。

1 CPU ファンのケーブルコネクタの向きに注意して、まっすぐ奥まで挿入します。

この後は、「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」（→P.118）の手順 10 へ進んでください。

「お手入れナビ」について

このパソコンには、パソコン本体のお手入れ時期を通知するソフトウェア「お手入れナビ」がインストールされています。「お手入れナビ」は、定期的にパソコン本体のお手入れ時期を通知したり、パソコン本体内部や通風孔などにほこりがたまっている可能性があるときにお手入れ時期を通知したりします。なお、このパソコンご購入時には、定期的な通知が無効になっています。

ここでは、次の内容について説明します。

- 定期的なお手入れ時期の通知を有効にする方法
- 「お手入れナビ」が表示するメッセージと、メッセージが表示されたときの対処方法

なお、ほこりの堆積量は、お使いの環境によって異なります。「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」（→P.118）をご覧になり、1ヶ月に 1 度程度掃除してください。

定期的なお手入れ時期の通知を有効にする

パソコンの使用時間が 2000 時間（1 日 8 時間使用の場合に 250 日）を超えるごとに、「お手入れナビ」からお手入れ時期がきたことを通知する場合は、次の操作をしてください。

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「お手入れナビ」→「お手入れナビの設定」の順にクリックします。

「お手入れナビの設定」ウィンドウが表示されます。

2 「定期的なお手入れ時期をお知らせする」の ◎ をクリックして ◉ にし、「OK」をクリックします。

4

お手入れ

「お手入れナビ」が表示するメッセージ

• 画面右下にある通知領域にが、表示された場合
は、定期的なお手入れ時期がきた場合に表示されます。

1 作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。

2 画面右下の通知領域にあるをクリックします。

3 画面右下の「大切なお知らせです。こちらをクリックして、詳細をお確かめください。」をクリックします。

「大切なお知らせ」ウィンドウが表示されます。

4 「今すぐお手入れを開始する」の をクリックして にし、「次へ」をクリックします。

「お手入れの手順」ウィンドウが表示されます。

5 画面のメッセージをよく読んでから、「今すぐ清掃をする」をクリックします。

パソコン本体の電源が切れます。「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」（➔P.118）をご覧になり、パソコン本体のお手入れをしてください。

• 警告メッセージが表示された場合
パソコン本体内部や通風孔にほこりがたまっている可能性がある場合や、パソコン本体内部の冷却ファンが正しく動作していない場合に、警告メッセージが表示されます。
- パソコンの内部や通風孔にほこりが詰まっている可能性があります。
- パソコンの空冷用ファンが正しく動作していません。

警告メッセージが表示された場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了してから、画面の指示に従って操作してください。

第5章

仕様一覧

パソコン本体の仕様を記載しています。
製品名称（品名）は、梱包箱に貼り付けられている保証書でご確認ください。

次の表は各機種ごとの特徴を示しています。詳しい仕様については、次ページからの仕様一覧をご覧ください。

製品名称（品名）	ディスプレイ	リモコン	テレビチューナー			無線LAN	モデム
			アナログ	地上デジタル	BS・CSデジタル		
TEO/A90D	なし	○	×	○	○	○	○
TEO/A90N	なし／19型ワイド	○	×	○	○	△	○
TEO/A70D	なし	○	×	○	○	○	○
TEO/A70N	なし／19型ワイド	○	×	○	○	△	○

○：添付または搭載、△：機能を選択した場合に添付または搭載、×：非添付または非搭載

仕様一覧

パソコン本体の仕様

製品名称		FMV-TEO/A90D	FMV-TEO/A70D
CPU		AMD Turion™ X2 デュアルコア・モバイル・プロセッサ RM-70	
		2GHz	
キャッシュメモリ		1 次：64KB 命令× 2 + 64KB データ× 2、2 次：1MB（CPU 内蔵）	
チップセット		AMD M780G チップセット	
システム・バス		3600MHz（HyperTransport™ 3.0）	
メインメモリ		標準 2GB（PC2-5300 デュアルチャネル DDR2 SDRAM SO-DIMM） ECC なし 最大 4GB 注 1	
メモリスロット		× 2（空きスロットなし）	
表示機能	グラフィックアクセラレータ	ATI Radeon™ HD 3200 グラフィックス+ UVD テクノロジ（チップセットに内蔵）	
表示機能	ビデオメモリ	256MB（メインメモリと共用、ATI HyperMemory™） + 64MB ローカルフレームバッファ 注 2	
表示機能	ディスプレイ	−	
表示機能	解像度／発色数	HDMI 接続時：最大 1920 × 1080 ドット／最大 1677 万色 注 4 DVI 接続時：最大 1920 × 1200 ドット／最大 1677 万色 注 4	
フロッピーディスクドライブ 注 5		FDD ユニット（USB）（別売）	
ハードディスクドライブ 注 6		750GB（シリアル ATA/300）注 7	500GB（シリアル ATA/300）注 7
CD/DVD ドライブ		Blu-ray Disc ドライブ （スーパーマルチドライブ機能対応）注 8	スーパーマルチドライブ 注 8
オーディオ機能	オーディオコントローラ	チップセット内蔵　＋　High Definition Audio コーデック	
オーディオ機能	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数　最大 192kHz、24 ビットステレオ（再生時）注 9 サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビットステレオ（録音時）注 9 同時録音再生対応	
オーディオ機能	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート	
通信機能	モデム	最大 56kbps（データ、V.90 規格準拠）注 10	
通信機能	LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠 注 11	
通信機能	無線 LAN 注 12 ／規格	IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）注 13	
通信機能	無線 LAN 注 12 ／内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式	
テレビ機能	テレビチューナー／地上デジタル 注 14	受信チャンネル：000 ～ 999ch	
テレビ機能	テレビチューナー／BS デジタル 注 15	受信チャンネル：000 ～ 999ch	
テレビ機能	テレビチューナー／110度CSデジタル 注 15	受信チャンネル：000 ～ 999ch	
テレビ機能	B-CAS カードスロット	あり	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（→P.132）をご覧ください。

製品名称		FMV-TEO/A90D	FMV-TEO/A70D
インターフェース	SD メモリーカード／メモリースティック注 16	× 1 スロット	
	ディスプレイ	デジタルディスプレイ（DVI-D 準拠）24 ピン注 17	
	USB 注 18	USB2.0 準拠× 6（前面× 2、背面× 4）	
	IEEE1394（DV）	4 ピン× 1（S400）	
	モデム	RJ-11 × 1（LINE × 1）	
	LAN	RJ-45 × 1	
	テレビ	アンテナ入力（地上デジタル）× 1、アンテナ入力（BS・110 度 CS デジタル）× 1	
	HDMI	× 1	
	オーディオ	マイク：φ3.5mm ミニジャック（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）10kΩ 以上（DC）2kΩ 以上）、ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）、光デジタルオーディオ出力：角形、ラインイン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック	
拡張スロット数		PCI Express x1 × 1 （ハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CS デジタル放送用）× 2 搭載）	
電源／周波数		AC100V　50/60Hz（入力波形は正弦波のみサポート）	
消費電力注 19	電源 OFF 時注 20	3W 以下	
	動作時	通常約 49W、最大 114W、 スリープ時約 3W	通常約 46W、最大 114W、 スリープ時約 3W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率注 21		j 区分 0.0023（AA）注 22	j 区分 0.0022（AA）注 22
外形寸法		W340 × D357.5 × H65mm（突起部含まず）	
質量		約 6.6kg	
盗難防止用ロック取り付け穴		あり	
温湿度条件		温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／ 湿度 20 ～ 90%RH（非動作時）（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）	
プレインストール OS 注 23		Windows Vista Home Premium 正規版（DirectX 10 対応）	
サポート OS 注 23		Windows Vista Ultimate 正規版、Windows Vista Home Premium 正規版	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（→ P.132）をご覧ください。

製品名称	FMV-TEO/A90N	FMV-TEO/A70N
CPU	AMD Turion™ X2 デュアルコア・モバイル・プロセッサ RM-70	
	2GHz	
キャッシュメモリ	1 次：64KB 命令× 2 + 64KB データ× 2、2 次：1MB（CPU 内蔵）	
チップセット	AMD M780G チップセット	
システム・バス	3600MHz（HyperTransport™ 3.0）	
メインメモリ★	標準 2GB ／ 4GB （PC2-5300 デュアルチャネル DDR2 SDRAM SO-DIMM）ECC なし 最大 4GB [注1]	
メモリスロット	×2（空きスロットなし）	
表示機能 グラフィックアクセラレータ	ATI Radeon™ HD 3200 グラフィックス＋ UVD テクノロジ（チップセットに内蔵）	
表示機能 ビデオメモリ	256MB（メインメモリと共用、ATI HyperMemory™） ＋ 64MB ローカルフレームバッファ[注2]	
表示機能 ディスプレイ[注3]★	19 型ワイド液晶（スピーカー内蔵、HDCP 対応）／なし	
表示機能 解像度／発色数	HDMI 接続時：最大 1920 × 1080 ドット／最大 1677 万色[注4] DVI 接続時：最大 1920 × 1200 ドット／最大 1677 万色[注4] 19 型ワイド液晶接続時：最大 1440 × 900 ドット／最大 1677 万色[注4]	
フロッピーディスクドライブ[注5]	FDD ユニット（USB）（別売）	
ハードディスクドライブ[注6]★	500GB ／ 750GB ／ 1TB（シリアル ATA/300）[注7]	
CD/DVD ドライブ	Blu-ray Disc ドライブ （スーパーマルチドライブ機能対応）[注8]	スーパーマルチドライブ[注8]
オーディオ機能 オーディオコントローラ	チップセット内蔵　＋　High Definition Audio コーデック	
オーディオ機能 PCM 録音再生機能	サンプリング周波数　最大 192kHz、24 ビットステレオ（再生時）[注9] サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビットステレオ（録音時）[注9] 同時録音再生対応	
オーディオ機能 MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート	
通信機能 モデム	最大 56kbps（データ、V.90 規格準拠）[注10]	
通信機能 LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠[注11]	
通信機能 無線 LAN[注12]★ 規格	IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）[注13] ／なし	
通信機能 無線 LAN[注12]★ 内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式	
テレビ機能 テレビチューナー 地上デジタル[注14]	受信チャンネル：000 ～ 999ch	
テレビ機能 テレビチューナー BS デジタル[注15]	受信チャンネル：000 ～ 999ch	
テレビ機能 テレビチューナー 110度CSデジタル[注15]	受信チャンネル：000 ～ 999ch	
テレビ機能 B-CAS カードスロット	あり	

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。
★　ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（→ P.132）をご覧ください。

製品名称		FMV-TEO/A90N	FMV-TEO/A70N
インターフェース	SD メモリーカード／メモリースティック[注16]	× 1 スロット	
	ディスプレイ	デジタルディスプレイ（DVI-D 準拠）24 ピン[注17]	
	USB[注18]	USB2.0 準拠× 6（前面× 2、背面× 4）	
	IEEE1394（DV）	4 ピン× 1（S400）	
	モデム	RJ-11 × 1（LINE × 1）	
	LAN	RJ-45 × 1	
	テレビ	アンテナ入力（地上デジタル）× 1、アンテナ入力（BS・110 度 CS デジタル）× 1	
	HDMI	× 1	
	オーディオ	マイク：φ3.5mm ミニジャック（入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）10kΩ 以上（DC）2kΩ 以上）、ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック（出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）、光デジタルオーディオ出力：角形、ラインイン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック	
拡張スロット数		PCI Express x1 × 1 （ハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CS デジタル放送用）× 2 搭載）	
電源／周波数		AC100V　50/60Hz（入力波形は正弦波のみサポート）	
消費電力[注19]	電源 OFF 時[注20]	3W 以下	
	動作時	通常約 44W、最大 114W、 スリープ時約 3W ディスプレイ消費電力：19 型ワイド液晶　最大 38W	
省エネ法に基づくエネルギー消費効率[注21]		j 区分 0.0021（AA）[注22]	
外形寸法		W340 × D357.5 × H65mm（突起部含まず）	
質量		約 6.6kg	
盗難防止用ロック取り付け穴		あり	
温湿度条件		温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／ 湿度 20 ～ 90%RH（非動作時）（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）	
プレインストール OS[注23]		Windows Vista Home Premium 正規版（DirectX 10 対応）	
サポート OS[注23]		Windows Vista Ultimate 正規版、Windows Vista Home Premium 正規版	

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。
★　ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（→ P.132）をご覧ください。

仕様一覧の注記について

注１：・メモリについては、667MHz の周波数で動作します。
・このパソコンに取り付けるメモリは、PC2-5300 対応（DDR2）のものをお使いください。
・このパソコンでは、メモリ容量が 2GB（1GB × 2）および 4GB（2GB × 2）の場合のみ、デュアルチャネルで動作します。
・ご購入時の設定では、合計で 2GB を超えるメモリを搭載した場合、完全メモリダンプを使用できません。
・最大メモリ容量にするには、メモリスロットにあらかじめ搭載済みのメモリを取り外して、別売の増設メモリを取り付ける必要があります。ただし、システムの画面上ではメモリ容量が 4.00GB と表示されても、システムが使用可能な領域は最大約 3GB になります。なお、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。

注２：ATI HyperMemory™ テクノロジにより、メインメモリの一部をビデオメモリとして使用します。その容量はメインメモリの容量により変動します。

注３：・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
・このパソコンで使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

注４：グラフィックアクセラレータの出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表現されます。

接続端子	映像出力フォーマット／デスクトップ解像度				
HDMI出力端子	映像出力フォーマット	1080p（1125p）60 ヘルツ	1080i（1125i）30 ヘルツ	720（750p）60 ヘルツ	1360×768ドット[注] 60 ヘルツ
	デスクトップ解像度	1920×1080ドット	1920×1080ドット	1280×720ドット	1360×768ドット

注：HDMI の標準解像度ではありません。お使いのテレビによっては表示されません。

接続端子	表示解像度
DVI-D 出力端子	1920 × 1200 ドット[注]、1600 × 1200 ドット、1440 × 900 ドット[注]、1360 × 768 ドット[注]、1280 × 1024 ドット、1024 × 768 ドット、800 × 600 ドット

注：本解像度をサポートしたディスプレイでのみお使いになれます。
お使いのディスプレイによっては正しく表示されない場合があります。

・HDMI 出力端子に接続している場合、接続しているテレビにあわせて適切な解像度に設定することができます。設定方法については、「テレビ画面にあわせて表示する」（P.87）をご覧ください。
・DVI-D 出力端子に接続する場合、HDCP に対応していないディスプレイを接続すると、「WinDVD™ for FUJITSU」や「DigitalTVbox」、「BD-MovieAlbum」（Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）はご利用になれません。

注５：・このパソコンには、フロッピーディスクドライブは搭載されていません。オプション品のフロッピーディスクドライブ「FDD ユニット（USB）（FMFD-51S または FMFD-51SZ）」をお買い求めの上、お使いください。
なお、フロッピーディスクドライブの接続と取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
・フロッピーディスクドライブ「FDD ユニット（USB）（FMFD-51S または FMFD-51SZ)」を接続すると、デスクトップの（コンピュータ）内にドライブが表示され、フロッピーディスクドライブとして使うことができます。
・フロッピーディスクドライブ「FDD ユニット（USB）（FMFD-51S または FMFD-51SZ)」では、次のフロッピーディスクは使用できません。
　・OASYS 文書フロッピィ
　・640KB でフォーマットしたフロッピーディスク
・フロッピーディスクドライブ「FDD ユニット（USB）（FMFD-51S または FMFD-51SZ)」では、次のフロッピーディスクは、データの読み書きはできますが、フォーマットはできません。
　・1.25MB でフォーマットしたフロッピーディスク
　・1.23MB でフォーマットしたフロッピーディスク
　・720KB でフォーマットしたフロッピーディスク

注６：このマニュアルに記載のディスク容量は、1MB=1000^2byte、1GB=1000^3byte 換算によるものです。
Windows 上で 1MB=1024^2byte、1GB=1024^3byte 換算で表示される容量は、このマニュアルに記載のディスク容量より少なくなります。

注７：このパソコンは Windows RE 領域に約 1GB の領域が占有されています。
また、リカバリ領域にも約 12GB の領域が占有されています。
そのため、「コンピュータ」のハードディスクの総容量は、マニュアルの記載よりも約 13GB 少なく表示されます。
なお、ハードディスクの区画の数や種別を変更したり、外付けドライブを接続した状態では、「トラブル解決ナビ」が正常に動作しなくなります。ご了承ください。

注８　:　ドライブの主な仕様は次の通りです。
なお、各数値は仕様上の最大限であり、使用メディアや動作環境によって異なる場合があります。
・ディスクによってはご利用になれない場合もあります。
・書き込み／書き換え速度は、ドライブの性能値です。
・書き込み／書き換え速度に対応したディスクが必要になりますが、対応ディスクは販売されていない場合があります。
・読み出し、書き込み速度はディスクや動作環境によって異なる場合があります。

Blu-ray Disc ドライブ（スーパーマルチドライブ機能対応）

CD/DVD	読出速度（最大）	書込速度（最大）	書換速度（最大）
CD-ROM	24 倍速	−	−
CD-R	24 倍速	8 倍速	−
CD-RW	24 倍速	8 倍速	8 倍速
DVD-ROM	8 倍速	−	−
DVD-R	8 倍速	8 倍速	−
DVD-R DL	6 倍速	2 倍速	−
DVD-RW	6 倍速	4 倍速	4 倍速
DVD+R	8 倍速	8 倍速	−
DVD+R DL	6 倍速（8.5GB）	2.4 倍速（8.5GB）	−
DVD+RW	6 倍速	4 倍速	4 倍速
DVD-RAM	5 倍速（4.7GB/9.4GB）	5 倍速（4.7GB/9.4GB）	5 倍速（4.7GB/9.4GB）
BD-ROM	2 倍速	−	−
BD-R	2 倍速	2 倍速	−
BD-R DL	1.6 倍速	1 倍速	−
BD-RE	2 倍速	2 倍速	2 倍速
BD-RE DL	1.6 倍速	1 倍速	1 倍速

スーパーマルチドライブ

CD/DVD	読出速度（最大）	書込速度（最大）	書換速度（最大）
CD-ROM	24 倍速	−	−
CD-R	24 倍速	24 倍速	−
CD-RW	24 倍速	10 倍速	10 倍速
DVD-ROM	8 倍速	−	−
DVD-R	8 倍速	8 倍速	−
DVD-R DL	6 倍速	4 倍速	−
DVD-RW	6 倍速	6 倍速	6 倍速
DVD+R	8 倍速	8 倍速	−
DVD+R DL	6 倍速（8.5GB）	4 倍速（8.5GB）	−
DVD+RW	8 倍速	8 倍速	8 倍速
DVD-RAM	5 倍速（4.7GB/9.4GB）	5 倍速（4.7GB/9.4GB）	5 倍速（4.7GB/9.4GB）

注９　:　使用できるサンプリングレートは、ソフトウェアによって異なります。
注 10 :　・56000bps は、V.90 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。
詳しくは、次のマニュアルをご覧ください。
『画面で見るマニュアル』»「000830」で検索
→「内蔵モデム」
・本モデムは、電気通信事業法による技術基準適合認定を取得しています。
回線認定番号：A05-0413001
注 11 :　このパソコンには 1000BASE-T の LAN が搭載されています。
このパソコンの LAN 機能は、100BASE-TX の次期規格として規定される 1000BASE-T に対応し、1Gbps（1000Mbps）の高速なデータ通信をサポートします。
また、従来の 100BASE-TX、10BASE-T もサポートしているため、通信速度の自動認識を行い、既存のローカル・エリア・ネットワーク（LAN）にそのまま接続することができます。
注 12 :　無線 LAN の仕様については、次のマニュアルをご覧ください。
『画面で見るマニュアル』»「002000」で検索
→「無線 LAN の仕様」
注 13 :　Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の総合接続性テストに合格していることを示します。
注 14 :　・ペイパービューのチャンネルはサポートしていません。
・同一周波数パススルー方式と周波数変換パススルー方式に対応しています。トランスモジュレーション方式には対応していません。
注 15 :　ペイパービューのチャンネルはサポートしていません。

注 16： ・SD メモリーカードとメモリースティックの同時使用はできません。
・すべての SD メモリーカードやメモリースティックの動作を保証するものではありません。
・メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック Duo などのメモリースティックでは、マジックゲート機能が必要なデータの記録／再生はできません。
・SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カード、SDHC カードは、著作権保護機能（CPRM）に対応しています。
・マルチメディアカード（MMC）やセキュアマルチメディアカードには対応していません。
・miniSD カード、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo、または microSD カードをお使いの場合は、アダプタが必要になります。必ずアダプタにセットしてからお使いください。

注 17： ・このパソコンは HDCP に対応しています。
・すべてのディスプレイの接続について保証するものではありません。

注 18： すべての USB 対応周辺機器について動作するものではありません。

注 19： 出荷時の構成による測定値です。

注 20： 電源 OFF 時の消費電力を回避するには、パソコンの電源プラグをコンセントから抜いてください。ディスプレイの電源プラグもコンセントから抜いてください。

注 21： エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

注 22： ・2007 年度基準で表示しています。
・カッコ内のアルファベットは、「A は 100%以上 200%未満、AA は 200%以上 500%未満、AAA は 500%以上」の省エネルギー基準達成率であることを示しています。

注 23： 日本語 32 ビット版。

その他の仕様

LCD 内蔵スピーカー

液晶ディスプレイが添付されている機種のみ

定格入力	1W/ch
出力音圧レベル	79.5dB/W（1m）
再生周波数	480Hz ～ 20kHz

LAN 機能

次の表は、有線 LAN の仕様です。無線 LAN の仕様については、次のマニュアルをご覧ください。

参照 無線 LAN の仕様について

『画面で見るマニュアル』»「002000」で検索
→「無線 LAN の仕様」

LAN コントローラ	Marvell 社製 88E8055
送受信バッファ用 RAM	送受信　各 4kbyte
外部インターフェース	ISO8802-3 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
伝送媒体	ツイストペアケーブル注 1（1Gbps：カテゴリ 5E 以上、100Mbps：カテゴリ 5 以上、10Mbps：カテゴリ 3 以上）
伝送方式	ベースバンド
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度	1Gbps、100Mbps、10Mbps
配線形態	スター型
セグメント最大長	100m
最大ノード数／セグメント	ハブユニット注 2 による

注 1 ：・1000Mbps は 1000BASE-T の理論上の最高速度であり、実際の通信速度はお使いの機器やネットワーク環境により変化します。
・1000Mbps の通信を行うためには、1000BASE-T に対応したハブが必要となります。また、LAN ケーブルには、1000BASE-T に対応したエンハンスドカテゴリ 5（カテゴリ 5E）以上の LAN ケーブルを使用してください。お使いのケーブルによっては、正しく動作しない場合があります。その場合はケーブルメーカーにお問い合わせください。
注 2 ： ハブユニットとは、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T のコンセントレータです。

LAN はネットワークのスピードに自動で対応します。ハブユニットの変更などでネットワークのスピードが変更される場合、スピードに対応した適切なデータグレードのケーブルを必ずお使いください。

ハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CS デジタル放送用）

コネクタ	アンテナ入力端子：F 型コネクタ× 2
RF 入力端子	75ΩF 型コネクタ
BS アンテナ電源供給	右旋円偏波時：DC15V、最大 4W
受信周波数	地上デジタル：90 ～ 770MHz BS・110 度 CS デジタル：1032 ～ 2071MHz

リモコン

通信方式		赤外線方式
使用可能距離		正面で約 5m
乾電池の寿命の目安		約 6ヶ月（マンガン乾電池使用時）
使用可能範囲（受光部はパソコン本体に内蔵）	水平	左：約 30° ／右：約 30°
	垂直	上：約 30° ／下：約 30°
使用電池		単 4 形乾電池 2 本

フラットポイント付ワイヤレスキーボード（無線方式）

キー配列	87 キー＋パソコン電源ボタン
インターフェース	RF（無線）方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大 10m（3m 以内を推奨）、左右約 45 度（ただし、設置環境により短くなる場合があります）
使用電池	単 3 形アルカリ乾電池 2 本
乾電池の寿命の目安	毎日 2 時間の使用で約 6ヶ月 （ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります）
外形寸法（W × D × H）	約 387mm ×約 151mm ×約 28mm（チルト未使用時）
質量	約 615g（乾電池含まず）

ワイヤレスマウス（光学式）

セレクトスイッチ動作形式	2 押ボタン、1 ホイール（左右チルト動作付）
インターフェース	RF（無線）方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大 10m（3m 以内を推奨）、左右約 45 度 （ただし、設置環境により短くなる場合があります）
使用電池	単 3 形アルカリ乾電池 2 本
乾電池の寿命の目安	毎日 2 時間の使用で約 6ヶ月 （ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります）
外形寸法（W × D × H）	約 65mm × 約 114mm × 約 40mm
質量	約 80g（電池含まず）

索引

た行

な行

は行

ま行

ら行

FMV-TEO/A90D, TEO/A90N, TEO/A70D, TEO/A70N

ＦＭＶ取扱ガイド

B5FJ-7891-01-00

発 行 日　2008 年 6 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
Printed in Japan

㋐ 0806-1

http://azby.fmworld.net/

FMVユーザーズクラブAzbyClub（登録・年会費無料）

FUJITSU

本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の
審査基準(2007年度版)を満たしています。
詳細は、Webサイト http://www.pc3r.jp を
ご覧ください。

大豆インキで印刷しています。

T4988618604192

このマニュアルは再生紙を使用し、リサイクルに配慮して製本されています。
不要になった際は、回収・リサイクルに出してください。